

最高最善の魔王を目指すRTA

びんころ

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

最高最善最速の魔王を目指すRTAはーじまーるよー

「はじめから」を押しした瞬間から計測を開始し、「ごとき」を倒した瞬間にタイムマーストップ。誰も走っていないから世界記録です。

目次

おまけ	Part 22	Part 21	Part 20	Part 19	Part 18	Part 17	Part 16	Part 15	Part 14	Part 13	Part 12	Part 11	Part 10	Part 9	Part 8	Part 7	Part 6	Part 5	Part 4	Part 3	Part 2	Part 1	
162	152	145	139	131	125	119	113	107	101	94	84	77	72	65	59	52	45	38	32	24	15	8	1

Part 1

「貴方に、忠誠を、誓おう！」と叫んで我が魔王の家臣になりたい人生だったRTAはーじまーるよー。

計測開始はタイトル画面の「はじめから」を押したタイミングから。名前は常磐^{我が魔王}ソウゴで確定していますので、特に気にする必要はないです。S O U G O にはいけません。それをすると裏ルートのお前^{平成}たちの平成^アつて醜^おくないか？^じ』に確定してしまいます。

とりあえず、周回プレイを始めましょう。前回の記録はどこじやらほい……。

あ、OPが始まりましたね。他のゲームだったならOPは飛ばすのですが、私はこれでもウオズの端くれ。もちろん、我が魔王のひとりぼっちの登下校の勇姿の確認、そして親の説教よりも聞いた『普通の高校生、常磐ソウゴ。彼には魔王にして時の王者』は言います。

このゲームでRTAを走る人は少ないのですが、その理由がこの『RTAをする上ではスキップ出来る会話をスキップするべきなのに、スキップしないほうが前提条件の確認がしやすい』というもの。スキップできるのにはならないという場面が多いことで溜まるイライラを許容できないカルシウム不足が多いことです。

あ、ほら。今我が魔王が一人で階段を降りて帰っているのが目に見えましたね。まず、ここが最初のリセット案件でした。この時点で『常磐ソウゴが明光院ゲイツ、あるいはツクヨミと行動を共にしている』という状況だったなら、ごときはタイムジャッカーを廃業しているのでまず間違いなくラスボスにはなってくれません。

スキップの後、確認できるようになるにはもう少し後まで進めないといけなかったので、こちらの方が早く確認できるということ。ここからはジオウに変身できるようになるまでの間スキップを多用しながら、その間に本RTAについて説明をしておきます。

本RTAは、数多く存在するルートの中から^{スウォールツ}“ごとき”抹殺ルート、又の名をテレビ版エンドに向かいます。縛りと言えような縛りはありません。が、さすがに前回のデータをそっくりそのまま使うの

はなんだかおかしい気がしますので、我が魔王の至言たる「時計の針は一周すると戻っているように見えるけど、確かに進んでいる」理論を使わせていただいて、俗にいう成長補正以外は使わない方向性で始めます。

TV版エンドといえばいくつものランダム要素をくぐり抜けないとたどり着けないラストということ、観れた人はまさしく猛者だと思われています。けれど同時にTV版でたどり着いたエンドでもあるので、内容そのものは知っている人は多いでしょう。知らない人のためにも説明すると、ラスボスは“ごとき”。我が魔王二人から“ごとき”と認定される程度の器しかない、どこかの世界の王族です。このルートではアナザーデイケイドとなった彼を倒すのが目的なので。

おっと、もうそろそろ最初のイベントですね。

スキップしたところについても解説しますと、学校を終えて帰宅した我が魔王は、親切な預言者から色々忠告を受けた後、未来人こと明光院ゲイツが乗るロボに襲われ、別の未来人ことツクヨミくんに助けられる形で江戸時代や恐竜が生きていた頃の年代に来たのですが、追いかけて来たゲイツくんにも襲われたりもして最終的にたどり着いたのは2017年。仮面ライダービルドの歴史。

ここからが最初のイベントで、そこで出会った桐生戦兎、万丈龍我の2名に連れられて『彼らが仮面ライダーであること』と『自分が未来人であること』を共通認識として持つ必要があります。

……はい、持ちましたね。これが終わり次第、ツクヨミに気絶させられて現代に戻るとアナザービルドが出現しています。そうなればもうこちらのもの。最短最速の王者になるため、次以降の話のためにゲイツくんとの縁を作りながらアナザービルドの撃破に走ります。

……あ、おじさんの話は聞き逃してはいけません。我が魔王に魔王としての在り方をしろしめしてくれる最高最善のおじさんですからね。『時計の針は巻き戻すことはできても人生はそうはいかない』……うーん、至言です。

さて、今からするべきはアナザービルドの一回目の撃破。そして、

ゲイツくんから逃げることです。ここでゲイツくんを粉砕してしまうと、その時点でバッドエンドルートに突入するので、決して戦ってはけません。こちらが負ければゲームオーバーです。

ウオズ
私が出て来ました。ずるい。私も我が魔王に傳いてジクウドライブ
バー渡したい。

そんな本音は置いておくとして、我が魔王は使い方をご存知なのでジクウドライブを使ってチャチャツと変身してしまいます。この変身ポーズは仮面ライダーの各形態、その初変身に関してだけは決してスキップを使うことができないので、未だ歴戦の戦士になる前の未熟な頃の我が魔王の勇姿を共にご覧ください。

——ライダータイム

(黒ウオズ、視聴中)

——仮面ライダー、ジオウ

ああああああああああつ (発狂)

!!!!!!

……ふう、少し落ち着きました。

やはり、我が魔王の初変身の啖呵は心地いいですね。

さて、ここからは私のプレイヤースキルが問われる番。基本的に、各種のアナザードライダーには初戦の際には『能力を知られていない』というアドバンテージから来るバフがかかるのですが、アナザードの初戦に限っては『仮面ライダージオウの初の戦い』ということはこちらにバフがかかります。チュートリアルと違ってくなくても構いません。

アナザードビルドとの戦いは、基本的に気をつけるべきことはありません。あえていうなら、戦闘のチュートリアルをパッと終わらせることだけです。本編内にいるウオズが『祝え!』を始めてから、『まさに生誕の瞬間である』を言い終えるまでにチュートリアルを確認できなかったらリセット案件。ちなみにアナザードとの戦闘時間は1分を切らなかつたらリセットで、ここまでで4分以上かかっていた

ら、それもそれでリセット案件です。アナザービルドの初戦までは5分以内に終わらせるのが基本、と覚えておきましょう。他のルートでも、基本皆ここまででは一緒ですからね。

戦闘開始です。

まずはバスケット選手だったというアナザービルドの変身者の特質を生かした炎のバスケットボールを避けます。右、左、右、右、ダンクシュートは一步前に出てローリングで避けると同時にコマンドを入力することでジカンギレードを召喚。銃モードにしたジカンギレードでアナザービルドを撃ち落します。これに成功したら落ちるまでの時間でフイニッシュタイムの用意です。本家本元のように飛び上がって斜め下に向かって蹴りを放つなんてことをする必要はありません。ジオウライドウォッチをジカンギレードに装填して、カウントダウンが開始されると同時に飛び上がります。これを一定フレーム以内に成功すると、落ちてくるアナザービルドとすれ違った瞬間に勝手に斬ってくれるので、それでおしまいです。

吹き飛んだアナザライダーは爆発四散しますが、今のままでは倒せません。ここは一旦放置して、他のイベントを進めましょう。

ちなみに、ここまでの時間は4分32秒。自己ベストよりも3秒遅いです。

おっと、ゲイツくんがやってきましたね。この頃のゲイツくんはまだ歴戦の戦士の風格を漂わせていました。なんであんなヒロイン呼ばわりされるような事態になったのか。

ゲイツくんがゴーストアーマーを使ったことを確認次第、我が魔王にはバイクを使って逃げてもらいます。体力の確認を終えたなら途中の曲がり角のところでバイクから飛び降りながら隠れます。地面に叩きつけられるような形になるので、体力の管理はしっかりとしておきましょう。

公式から推奨されているのは3度目の曲がり角での飛び降りです。曲がり角は通り過ぎた数だけ難易度が下がるのですが、3つ目から4つ目の曲がり角にたどり着くまでの時間が結構長いのです。ですが、そんなことは知ったことではありません。我が魔王の持つ胆力を信

じて1つ目の曲がり角でバイクをウオツチに戻しながら飛び降り、そして隠れます。そうすればゲイツくんが勝手に追いかけてどこかに行ってくれるのでそのまま帰りましょう。

さて、その最中に会おうことになるウオズ。彼は我が魔王の唯一にして絶対の味方。決してQuartzernerなる組織とは関係ありません。Over Quartzernerルートにでも入らない限りは絶対的な味方ですので、特に怪しむ必要もなく、魔王らしくこき使ってあげるとしましょう。

ここに入るタイムジャッカーについての説明。なんかわかっている気がするので、特に気にする必要はなくスキップです。ウオズからの説明をスキップすると、説明が終わる場所であるクジゴジ堂からの操作になります。ここで2018年のビルドの元へとショートカット……をするわけにはいきません。ゲイツくんへの好感度を稼ぐ必要があります。好感度が必要となる場面はゲイツくんに関しては非常に多く、そのどれもが失敗するとオーマジオウに直結する可能性が高いのです。一旦はゲイツくんを庇い、アナザービルドは倒せないというウオズの発言を確認しましょう。ここで庇うことで、『人を庇う我が魔王と50年後にいる我が魔王』の乖離が始まりますので、ゲイツくんの好感度を上げやすくなります。

ビルドの元へ向かう最中、特にやることはないので他の面々についても説明しておこうと思います。

まずは、このルートにおける重要人物であるゲイツくん。彼の好感度が足りないと言われないと裏ルートの一つ、『救世主ゲイツリバイブ』に確定してしまいます。そのため、本RTAでは彼の動向をしっかりとチェックしておきましょう。

二人目はウオズ。我が魔王のために身を粉にして働く忠義者です。大魔王たる我が魔王とその家臣、ゲイツ、ウオズ、彼らの相互の好感度が重要となる地点がありますので、そこまでにしっかりと稼いでいくとしましょう。とはいえ、ウオズに関してはクオーツアー印の歴史改変耐性がありますので、そこまで気を使う必要はないです。前回の周の好感度はきつちりと受け継いでいるということですね。

ここからは我が魔王ではなくゲイツくんの操作に入ります。我が魔王が *n a s c i t a* にたどり着いた後は速やかにゲイツくんを選択手交代。ここでアナザービルドをゲイツくんで撃破します。我が魔王とは操作が多少変化するのでそこは気をつけてください。開始と同時にタイムバーストを入力。発動すればアナザービルドから当たりに来てくれるので、狙う必要はないです。一刻も早く放ってください。

ゲイツくんがアナザービルドを爆発させたなら、そこで我が魔王に操作を変更。桐生戦兎からビルドウォッチを受け取って、ゲイツくんと合流してから2017年に向かいます。間違ってもゲイツくんを放置してはいけません（一敗）。

2017年に移動を終えました。そこにはビルドとクロースがアナザービルドと戦っているではありませんか。さすがは我が魔王が受け継ぐべきレジェンド。平成ライダー達の王である我が魔王のためにその場に縫い止めているとは、感服せざるをえません。

なので、戦いが始まったら最初からビルドアーマーになりました。う。彼らの頑張りに報いるためにはRTAで世界記録を出す以外にありません。ウォズが祝辞を述べるのはスキップできないというのはよく知られていることですが、実はこの間にも我が魔王だけは動かすことができます。正確には、画面が祝辞を終えて元に戻ったタイミングで、その間に操作していた部分が全て反映され終わった後になるというだけなのですがね。

ですがこれはRTA。利用できる短縮は全て利用すべき。その思いで先ほどの我が魔王とアナザービルドの立ち位置を想起、そしてコマンド入力でフィニッシュタイムです。罷り間違っても他のライダーに当てることのないように。ゲイツくんに当てたら下手すれば死にます。

はい、アナザービルドの撃破を完了しました。

ここからはもう特に次のアナザーライダー出現まで好感度などの変化は発生しません。その間に我が魔王のパラメータを上昇させておきます。

上げられる項目は話術、カリスマ、身体能力の三種類。今回は身体能力とカリスマを重点的に、話術に関してはそれら両方を3上げたところで1上げる程度の割合で。

これは話術を上げることによって先で出てくる一部の敵に関しては味方に引き入れられるようになってしまうことが原因です。仲間のできるのはウール、オーラ、加古川飛流の3名。特に最後のやつに関しては仲間にした瞬間にルート崩壊が起こります。『最低最悪／最高最善のジオウ』エンドにたどり着いてしまいますのでね。

加古川をルート最終決定までに殺すことができたなら、その状況に陥ってもテレビ版エンドも可能なのですが、加古川を死なせるまでにかかる時間を考えるとやはりロスになってしまいますので、そもそも仲間にならないルートをたどらせませす。

では、今回はここまでとなります。ご視聴、ありがとうございました。

Part 2

我が魔王を不思議系だと思えていなかったこのころの自分を殴り倒したいRTA、はーじまーるよー。

さて、前回はアナザービルドを倒したところで終了でした。アナザービルドを倒したことで第1章的などころが終わり、総決算ということでもステータスの上昇。ここから次のアナザーライダーのところまで“猶予”という名前の無駄な時間ができるのでありますが、今回に関しては翌日です。そこまで気にすることはありません。

ゲイツくんからバターナイフを受け取り、二人も学校についてくるということをおじさんから聞きます。これによつて我が魔王のストレス具合が溜まつたりしますが、そこまで戦闘には影響を及ぼしません。昼休みになると同時に屋上に直行……なんてことをしてはいけません。我が魔王の成績が振るわないようで、クラス担任から呼び出されているのでそちらに先に向かいましょう。……おのれ、下郎。我が魔王を留年させるだど？ 貴様程度が留年をさせることが許されるはずもない高貴なお方だということその身に知らしめてやろうか？

そんなこんなで窓に張り付いていたり、なぜかどのトイレの個室に入るのかわかっていたりしたゲイツくんとツクヨミくんの二人から逃げるようにして体育館の倉庫に入れば、この周回における唯一のネームドクラスメイトこと小和田と出会います。彼がアナザーエグゼイドに襲われることで二日目が始まります。

戦闘開始

アナザーエグゼイドは機動が面倒なライダーです。初戦闘補正も加わり、この時点で倒すのはほとんど不可能。チョコブロックを出してきた場合、勝率は0%です。何せ、戦っている場所が体育館倉庫。ごく稀に戦闘音に気がついた教師がやってくる可能性もありますが、正直に言つて役に立ちません。如月弦太郎でもない限りは。

ここは無視してもいいランダムポイントの一つです。如月弦太郎がジオウのいる学園に赴任している場合、生徒を守るために戦った我

が魔王を信じてくれてライドウォッチを渡してくれます。そうならば一気にアナザーフォーゼ、アナザーファイズの部分の短縮をはかることができ、非常にうまあじなのですが。……今回は特にそういうこともないですね。まあ、起こらないのが基本なのでチャートには組み込んでません。

話を戻してアナザーエグゼイドについてですが、基本的にはツクヨミが情報してくれるので問題はありません。今回も、ほら。小和田を病院に搬送すれば、小和田が持っていたゲーム機からアナザーエグゼイドが出てきたこともあって絶対にクリアできないゲームについて教えてくれました。難易度ではなく、邪魔されるのでクリアできないってなかなか非道なゲームですよ。

ちなみですが、ここで身体能力が一定の値を超えていた場合は我が魔王がクリアできてしまいます。そうなった場合、『前回の周から受け継ぐ』をしていない限りは絶対に眠りから目覚めることはなくあります。この時点ではどう足掻いてもゲイツくんの好感度が足りないのので助けるはずがない、ということですね。

3回ほど失敗すればその時点でフラグが立ちますので、ツクヨミくん、『我が魔王はゲームが苦手』という情報を植え付けましょう。そうするとゲイツくんが我が魔王がオーマジオウにならないようにするために諦めさせようとしています。それによつてゲーマーに頼むという発想が出てくるのでそこから移動を開始しましょう。ちなみに、我が魔王が一人で思いつくルートもないことではないのですが、その場合はシビアなゲイツくんの好感度管理に失敗する可能性が高くなり、リセット案件になりかねないのでやめておきます。

ここで少し待つことで、我が魔王が天才ゲーマーMという存在について知ることができました。ありがとう、ツクヨミくん。君はまさに我が魔王のために働いてくれる忠臣。代わりに裏切つたとしても殺すのは一番最後にしておこう。私は、我が魔王の王道を邪魔するものを許すつもりはないよ。

さて、思いついたところで聖都大学附属病院に行きましょう……と言いたいところですが、やはりこの時点での我が魔王は天才ゲーマー

Mが医者であることを知りません。なので、まずはゲームを探し……ん？

——やあ、我が魔王

あああああああ?!!?!?!?!?

ウオズがいきなり出現しました。前回の周回からの好感度を稼いでいるからか、誰も倒れていないにも関わらず現れてあれがアナザーエグゼイドであることと、天才ゲームMが仮面ライダーエグゼイドであること、さらには彼が聖都大学附属病院に勤務していることまで教えてくれました。まさかの短縮ポイントです。このままガバなく行けたならば世界記録をきつと更新できるでしょう。

……というわけで、ゲイツくんの愚痴を聞きながら聖都大学附属病院にまでやってきました。ここで必要なのは鏡飛彩との接点を作ること。彼から天才ゲームMの残したドイツ語のコナミコマンドを受け取って、それをゲームで実行します。

……はい、成功しましたね。今からはアナザーエグゼイドとの2度目の戦闘の開始です。ただし、この時点でセーブをしておきましょう。アナザーエグゼイドとの戦闘直後にリセットポイントがやってきます。

アナザーエグゼイドの戦法は基本前回と変わりません。

ただし、今回はステージが広いのでチョコブロックによる移動の制限がそこまで大きくないこと。ゲイツくんがNPCとして参戦してくれること。戦闘開始までのフレームで特殊コマンドを入力することで最初からゲイツくんがドライブアーマーを纏った状態で始められること、などなど。難易度は前回に比べて一気に下がります。

ドライブアーマーのホイールがアナザーエグゼイドの動きを封じてくれているので、とりあえずビルドアーマーで一気に決めましょう。別に通常ジオウで様子見する必要はないです。行くぞー！（デッデッデデデ）

はい、終わりました。さて、ここで現れるのはハイパー無慈悲こと

宝生永夢ですが、彼はアナザーエグゼイドの変身者を助けようとするわけです。このタイミンングでの変身は4パターン。マイティアクションX、マイティブラザーズXX、マキシマムマイティX、ハイパームテキです。

もしも永夢がマキシマムマイティ以上を出したらリセットです。この戦いは別に敗北しても問題ないのですが、倒してしまった方がかかる時間は少なく、ブラザーズが今の状態でまともに戦える限度です。

さて、今回は……

——《ハイパームテキ》

はい、リセットです。マキシマムマイティならまだ勝ち目は0ではないですが、これは無敵なので一切のダメージを与えることができません。相手のAIがうまくいことこちらをボコつてくれるのを祈るのもありますが、それをするぐらいならリセットした方が早いです。

アナザーエグゼイドとの再戦からスタート。ここから始めるのは、アナザーエグゼイドとの戦闘終了時点で永夢の変身するフォームが確定してしまうからです。確率としては全て均等。もはや祈るしかありません。

——《マイティブラザーズXX》

今度は成功。できることならマイティアクションXを引きたくかつたところですが、これでも問題はないです。ゲイツさんに片方を押し付けて、その間にもう片方を撃破しましょう。そうすればその時点でタイムジャッカーが介入してくれるので、普通に時間いっぱいまで戦うよりも短縮になります。

アナザーエグゼイドの復活によって仮面ライダーエグゼイドが消滅しました。あとは永夢からエグゼイドウオッチを受け取るだけです。ここで重要なのは『アナザーエグゼイドが狙う共通点をすでに理解している』ということ。聡明な我が魔王は彼らの共通点からすでにドナーのためだと気がついているので、そのことを永夢に告げます。それと同時に、アナザーエグゼイドの息子に関しても救う手段があることを伝えれば協力をしてくれることは間違いありません。あとは

アナザーエグゼイドを倒すだけです。2016年に飛びましょう。

——やあ、我が魔王（にゅっ）

うわあああああ!?! また生えて来たあああああ!?!

まさかの2度目のウオズです。タイムマジンの中_で生えて来ました。一体いつから乗り込んでいたんでしょう。……どうやら内容としてはアナザーライダーの撃退方法についてらしいです。あーそういうことね、大体わかった（破壊者ボイス）。こいつ、Quartz erやめて来たな？ 幾ら何でも我が魔王に手取り足取り教えすぎです。これはまさに従者の鑑。

——おい、ジオウ。

……？ どうやらゲイツくんがタイムマジン間の通信機能を使つて来たようです。このイベントは試走の際にはなかったような……。

——俺にエグゼイドウォッチを渡せ。

——貴様が魔王になる以上、ライダーの力を継承させるわけにはいかん。俺が使う。

このゲイツくん、実はツンデレじゃな（確信）。

魔王になるには全てのライダーの力を継承する必要がある。でも、アナザーライダーを倒すにはライダーの力を使わないといけない。なら、自分が使うことで魔王への進行を止めようというわけです。ちなみにゲイツくんにのみ実装されている隠しパラメータである秋山蓮ポイントを溜めると、ちよくちよくこんなツンデレ発言をしてくれます。普段ならニヤニヤしたり、ほっこりしたりとすべき会話で、今回もその類なのでしょうが、RTAにおいてはただの邪魔な会話です。しかも初出現だからスキップできない。

前回から引き継がれた潜在的な好感度がどうやら高すぎたようです。一定回数までは好感度が下がる選択肢でも好感度が下がらないというものなのですが、ルート分岐以外では普通の好感度として加算されるので、ちよくちよくこういったことが発生します。後の走者たちはこのこともちゃんとチャートに組み込んでおきましょう。

とりあえず、どうにかしてゲイツくんを丸めこみます。そうですね……ゲイツくんなら我が魔王がオーマジオウになると確信した瞬間に殺してくれるだろうという信頼を見せておきましょう。オーマジオウに対する殺意と、それでも未だに我が魔王を見守るに留めているという優しさを信用しましょう。ちなみに移動時間にちよつと調べてみたところ、ゲイツくんの好感度が高すぎてウオズの好感度が低いともうすでにゲイツくん排除による『孤高の魔王、オーマジオウ』ルートに入ることになるみたいです。調査不足でした。

ちなみに最初のウオズによる永夢の情報の入手による短縮は、エグゼイドのリセット、ゲイツくんの会話、2回目のウオズによるアナザライダーの法則で消えました。むしろロスです。それでも数秒程度の違いしかないのは最初のウオズがフラインプレーすぎる短縮率を誇ったからです。

アナザーエグゼイドとの戦いは特に気にすることは無いです。変身は基本短縮します。タイムマジーンの中でウオズに祝ってもらって、ゲイツくんに「うるさい！」と叱られておきましょう。

2016年に到着次第、タイムマジーンでアナザーエグゼイドを轢き殺します。そのまま飛び降りるようにしてクリティカルタイムブ레이크。鮮やかすぎる手際に全未来人が泣きました。潜り抜けたりするような裏技じみた躲し方なんて持っていないので、無論当然のように一撃必殺です。タイムマジーン、ありがとう。

これでエグゼイド編は終了です。ちなみに、すでにオーズライドウオッチを手に行っていることを条件にこの時点でアナザーオーズ編も攻略することは可能なのですが、それをしてしまうと知らないはずのアナザーオーズについて知っているということとゲイツくんの不信感を招いてしまいます。そうすると次回のアナザーフォーゼ・アナ

ザーファイズ編、それとアナザーウィザード編がちよつとだけゲイツくんの説得に時間を食うことになるのでやめておきましょう。

確かめてみたところ、後者で1分近いロスが発生しました。……アナザーライダー二人分を終わらせるよりもゲイツくんの説得に時間がかかるって、我が魔王の話術は一体どこまで落ちぶれているのか……。

さて、本RTAでは一度も姿を見せていないアナザーライダー製造機ことタイムジャッカーですが、シナリオ上はスキップしている最中にちゃんと出ています。次回で紫半袖アイス奢りごときおじさんが出てくることで全員揃います。揃ってしまえば最後、これまで以上の頻度で時止めによる邪魔が入ることになります。これもジオウの強化形態が手に入るまでの辛抱です。我慢しましょう。

では、今回はここまでです。ご視聴、ありがとうございました。

Part 3

もうちょっと同一人物に二体以上のアナザーウォッチを埋め込むってパターンを増やして欲しかったRTA、はーじまーるよー。

さて、今回の最初のイベントは我が魔王の偉大なるおじさんに話しかけることです。おじさんに話しかけると『時計屋の仕事』イベントが発生して順一郎おじさんがオーデイオ付き時計を直して欲しいという依頼を受けたことがわかります。別にこれはそこまで大きな意味があるわけではないのですが、言ってしまうえば安全策です。もしもチャートの路線変更^{ガバ}がおきた場合、最終決戦の時にグランドジオウウォッチが直っていないと大変ですからね。

それを終えたら、ツクヨミくんに話しかけて次のアナザライダ絡みの事件についての情報をもらいます。今回の事件はアナザーフォーゼとアナザーファイズ。事件現場となる天ノ川学園高校にまで向かう最中に、今回のアナザライダーの事件についての詳しい説明を受けます。

とはいえ、こんなわかりきった会話の内容を流すのはどうかと思いますので、我が魔王にはオーマジオウの能力で平行世界にいる『ツクヨミくんの話聞いた我が魔王』から知識を得てもらって、『いつ事件が起きるのかわからない』とでも言っておいてタイムマジンで30分前に戻りながら高校にまで向かってもらいました。

なぜかゲイツくんたちが持っていたこの高校の制服に着替えたなら、三人仲良く学校の中を探索しましょう。まず最初に探すべきは「天秤座の18歳」です。事件の被害者の共通点がそれなのだということがわかってるので、未だ授業中の高校の中に侵入してから、保健室の先生をファイズフォンXで眠らせてハッキングして、探し出します。探し方は『三年生の天秤座』です。これなら、この学園で『18歳の天秤座』という条件をいつ満たしてもおかしくない相手を探せますからね。あとはおまけで今月が誕生日であることを入力しておけば完璧です。

はい、まずはすでに誕生日を迎えて18歳になっている天秤座の少

女を探します。これに関しては一人だけなので、結構簡単なお仕事。山吹カリンという少女は、ランダム配置……に見せかけて実は大体の確率で屋上にいます。ただし、屋上に行つてはいけません。それをした場合、草加雅人に出会つてしまつてアナザーライダーまでやつてくる混戦模様となり我が魔王が変身するより先に死んでしまう可能性があります。

なので、全てのアナザーライダーに共通する『なぜか人通りの少ない場所によく飛び降りる』という習性を利用して、先にそちらで構えておきましょう。ゲイツくん達には別行動を言い渡しておきます。実際、三人固まつて探すのは非効率ですから。

アナザーフォーゼを待つ間は特にやることもありません。倍速にしてアナザーフォーゼがやつてくるのを待つのもいいのですが……。

みなさまのためらい（ねっとり）

今のうちに草加雅人について説明しておきます。

彼は仮面ライダーファイズとともに戦つた、とても有名な『首が折れる音』を自らの体で奏でた人です。もう少し体を鍛えてその音を鳴らしていたなら仮面ライダー響鬼と同じシステムでの変身も可能だったのではないのでしょうか。自らの首が折れることで清めの音を首から鳴らす鬼……多分、名前は屍鬼しきとかそんな感じでしょうか。……嫌ですね。

まあ、そんな感じで『ファイズが存在する限りは死んでしまう仮面ライダー』な彼ですが、ファイズの歴史が消えてしまったことで生存しています。彼が山吹カリンを殺そうとしてアナザーフォーゼが助けに入るとするのがテレビ版で皆さんが見慣れている光景でしょう。というか、すでに放課後になつたわけですけど、あんな風に顔を隠した不審者が簡単に入れてしまうこの学校の警備はどうなつているんでしょうか。もしかして、これまでの警備は学園の教師達が変身し

たゾディアーツ（仮面ライダーフォーゼの敵）が担っていたのでしょうか。それならきつと、中に入ろうとする馬鹿はいないでしょうし。さて、そんな説明をしているうちにアナザーフォーゼが我が魔王に倒されるために目の前に降り立ってくれました。

これで話は簡単です。ウオッチを手に入れていない以上、勝ち目など存在しないわけですが、相手を全力でボコってしまったえば勝手にランチャーで退いてくれます。豪華すぎる煙幕ですね。ゲイツくんが来るよりも先に倒してしましましょう。

『ビルド！』

逃げられないようにビルドアーマーの数式キックを叩きつけ……つて、おや？

——お前ら、何やってる！

え、いや、ちよつと待つて。

——うちの生徒に、手を出すんじやねえ！

なんで、如月弦太朗がいるんですかあああああ
え、ちよ、本当に待つてください。幾ら何でもこのランダムイベント
トはいりませんよ!?!?!?!?!?

……ここまで驚いた以上、説明を省くわけにも行きません。これはランダムイベントの一種で如月弦太朗が『捕まった皆を探す』ではなく、苦渋の決断で『被害者の共通点から犯人を待ち伏せして行方不明者の居場所を吐かせる』という選択肢をとったパターンです。

皆様がテレビ版での登場を望んでいた彼ですが、実はゲームでは厄ネタと言わざるを得ません。なぜなら彼が来た場合、戦闘ステージに第三勢力として彼が乱入します。彼の性格からして、生徒を守ろうとするのは当然ですからね。むしろ守ろうとしないのなら弦太郎じゃない、ということと不満がある人も出るでしょうから、ここまでは別に何も問題ないです。

問題なのは、彼がただの人間だということです。ランチャードどころか、仮面ライダーのスペックから放たれる攻撃を一撃でも喰らえば即死、そしてこちらの味方ユニットというわけでもないでこちらにも攻撃を仕掛けて来る。こちらは彼の説得をしながら、アナザーフォーゼを退かせるということが必要になるのです。つまり、時空が歪んでから出てくれるならまだしも、そうでない以上はただのお邪魔虫です。

これは、どっちだ……! !

どっちの方がロスが少なくなる……? !

迷っている時間はありません。逢魔降臨曆にもこんな事態は想定されていません。テレビ版の俳優さんの人気の度合いに応じてイベント出現の確率も変わっています。特にフォーゼ、ドライブ、W、クウガに関してはトロコンRTAにおける四天王と言われているところです。試走でも誰一人として一度も出ませんでした。

……結局、選んだのはそのままの戦闘続行です。焦りからか、不幸にも白塗りの曲線グラフを出してしまいましたが別に必殺技の性能には関係ありません。一撃で粉砕しましょう。

はい、どうにか粉砕することに成功しました。山吹カリンも姿を消してしまいましたが、代わりに如月弦太郎とは会うことができましたので、彼からフォーゼライドウオッチをもらうことにしましょう。仮面ライダー部に連れて行ってもらうって、彼の生徒に紹介をされました。そうすると、ライダーへの変身を見せて欲しいと言われるので、快く答えましょう。ゲイツくんには怒られますが。

そうすることによってライドウオッチを如月弦太郎に見せることに成功しました。それによって、如月弦太郎からフォーゼライドウオッチをもらえました。ついでに、如月弦太郎の恩師であり、仮面ライダー部の顧問をやっていた大杉先生も様子を見にやってきました。

……実は、大杉先生とはそこまで会話をしない方がいいのです。なぜなら、このタイミングで話しすぎると『我が魔王たちがこの学園の生徒ではない』ということがバレてしまう可能性が高くなるから。如月弦太郎はその辺り結構ゆるいのですが、この先生、歴史が消え去っ

たにもかかわらず仮面ライダー部の顧問をしていたので、実はその辺りちゃんとしているのです。もちろんアマゾンズライドウオッチを使用してDie set down! する……なんてわけにもいかないのですぐに撤退しましょう。

もう、今の状況で現代でできることはツクヨミくんに山吹カリンの護衛を頼むことだけ。我が魔王は家臣たるゲイツくんを引き連れて2011年に。変身はタイムマジーン内部で済ませておきましょう。フォーゼの継承を忠臣であるわた……ウオズに祝ってもらおうのですが、実は戦闘中にアーマータイムをしようとするとアナザーフォーゼに邪魔されて、ウオズがアシストユニットとして戦闘に参加してくれません。が、今回に関しては無視していいです。ウオズはとても強いのですが、彼の行動で我が魔王の動きを邪魔するわけにも行きません。

ここは、我が魔王の勇姿に感涙してもらいましょう。

——祝え！ 全ライダーの力を受け継ぎ、時空を超え、過去と未来をしろしめす時の王者

(ゆつくりウオズ感涙中)

——その名も仮面ライダージオウ フォーゼアーマー

(ゆつくりウオズ、マフラーにて涙を拭く)

——またひとつ、ライダーの力を継承した瞬間である

(継承という言葉で騙しているこの時代の8頭身ウオズに怒りを抱く)

ウオズがタイムマジーンの内部にとてもよく響くイケボで祝ってくれています。タイムマジーン内部でできることなんて多くないので聞いてあげましょう。これはもはや仮面ライダージオウのアイデンティティーですからね。

到着と同時にアナザーフォーゼ戦スタートです。敵バフ一覧に『^{アナザーフェイス}???'』があるのでまだ倒しきれません。しかし、アナザーフォーゼを倒すことによってアナザーフェイスの存在を知ることができます。

ここの戦いの勝利条件はそれなので、手っ取り早く宇宙ロケットきりもみキックを放ちましょう。ランチャー、ロケット、ドリル、その他諸々のアストロスイッチの効果を使われると対処が難しいのです。

ちなみに、クリア後に解禁される『最強フォームまでの力を手に入れたアナザールライダーとの戦い』では、アナザールフォーゼがトップランクに難しいです。今回の戦いではほとんど使って来ないのですが、アストロスイッチも全解禁されていますから。他のトップランクがアナザールテクニエグゼイド、アナザールビルドジーニアス、アナザールコンプリートデイケイドな時点で、大体お察しというやつです。

……はい、アナザールフォーイズのことを確認できましたね。これで、もうこの時代に用はありません。一旦引き返しましょう。そうすれば、乾巧が出現してツクヨミくんたちを守ってくれています。……ところで、ゲイツくんは何をしに来たのでしょうか。全く役に立ちませんでした。……。とりあえず、彼にもアナザールフォーイズのことを認識してもらっていることが重要です。

アナザールフォーイズが出て来たことで、2011年から事件が起きたのかを再確認する必要性が出て来ました。

なので、我が魔王は新しいレジェンドである仮面ライダーフォーイズ・乾巧とともに山吹カリンの護衛、ゲイツくんとツクヨミくんは事件の再調査をすることに。

ここからはどうしても時間がかかる単純作業です。正直、進めている私からしても暇です。

なので。

みなさまのため にい (ねっとり)

アナザールフォーゼ・フォーイズ編におけるリセットポイントについて先に説明しておこうと思います。

今回のリセットポイントはフォーイズ・フォーゼを別れて倒す時。ゲ

イツくんの好感度に左右されます。リアル・タイム・エモーションシステム……RTEを採用しているこのゲームでは、選択肢を選ぶことで変化する好感度だけではなく、普段の行動でもちよくちよく微量とはいえ変化を起こしていますので、選択肢以外のところも気を使う必要がありますのですが……好感度を確認できるのは選択肢を選んだ時のみなのです。なので、『もうこれ以上上げるとはできないから、絶対に分岐できない』とリセットを先に選ぶことはできません。

今回の一件である程度の好感度がないと、イツくんの中で『ジオウの好きに動かされる』ことと『山吹カリンの願いを聞届ける』ことを天秤にかけた時に前者を嫌がってしまえばその時点でリセット。そのための好感度の確認も中途ではできない。今回でイツくんの好感度を大幅に稼げる部分がないのでエグゼイド編からのリセットとなってしまう。それはあまりにも時間のロスが大きすぎるので、再走案件となってしまうのです。

こんな説明をしている間に山吹カリンが実は既に死んでいるということが発覚しました。彼女が死んだのは2003年です。15年ほど見た目が全く変わらなかった二人は一体どこで生活していたのか。それについてはわかりませんが、我が魔王も彼女が人間として当たり前前の行動をとっていないことに気がつきます。デリカシーのない発言で怒らせてしまいました。ここでは彼女を単独行動させなければイツくんとの合流に時間がかかってしまいます。仕方ないので今日から18歳の天秤座少女を探してみよう。今は制服を着ていないので、見つかるかとちよつとだけ面倒なことになりますので、スニーキングです。ちなみに、如月弦太郎がランダムイベントとして発生していた場合、たまにここでやってきたりしますが、これはただのロスなので来ないように祈りましょう。ついでに今のうちにセーブです。探せば、その最中に山吹カリンが彼女を守ろうとして外に出ることになり、草加がカリンを殺そうとしてそこを乾巧が助ける形で皆集まります。

あ……

イツくんと合流できました。

ええ、合流できましたとも。

なので、リセットです。

ゲイツさんと天秤座の少女と出会う前に合流してしまうと、そこで走りながらの情報交換になるのですが、その分わずかに遅れることになり（首が折れる音）が鳴ってしまいます。そうなると乾巧がショックを受けてファイズウォッチを手に入れるまでのロスになるので、今のうちに修正です。

……よし、今度はちゃんとできましたね。乾巧がアナザーフォーゼの邪魔をして、草加雅人を助け出しました。ファイズファンなら感涙もののこのシーンですが、無言でスキップします。このRTAで重要なのはゲイツくんがちゃんと我が魔王に乗せられてくれるかだけですから。

ゲイツくんが『貸し出さなきや継承終了しないはず』という甘い考えで2003年に向かってくれたなら、こちらも事情を聞いてから2011年に向かいましょう。二つの時代でアナザーフォーゼとアナザーファイズを同時に撃破するという熱いシーンがテレビ版では流れましたが、こつちではもつと熱いです。我が魔王、あるいはゲイツくんのどちらを操作するのか選べるのですが、戦い終了と同時にもう片方も決着が自動でつきます。

アナザーライダーこと佐久間くんの周りに透明なアナザーファイズの外殻が、そしてさらにそれを包むように透明なアナザーフォーゼの外殻が形成されていて、別々の時代の佐久間を半分ずつ画面中央に置いた状態で斜めから二人が同時にライダーキックをしてくれます。が、今回はそのイベントシーンを見たいわけではないのでスキップです。突撃と同時にタイムマシーンで轢いて、そのまま飛び降り様にライダーキックでバトルは終了です。我が魔王の最大の武器はきつとタイムマシーンですね。

——俺たちが、お前たちを救う！

ああ……（恍惚）。

我が魔王はやはり格好いい。

これはもう、我が魔王を奉る会を作ったほうがいいのでは？

え、ゲイツくん？ そつちに関しては何にとつてはいいのでしょうか？

二人のアナザーライダーを消滅させたことで、山吹カリンは消滅しますが、この感動の別れは別にどうでもいいです。気にする必要はありません。これで今回のイベントも終了ですので、次回のライダーに備えてステータスの割り振りをおきましよう。

では、今回はここまでとなります。ご視聴、ありがとうございました。

Part 4

そろそろピンポイントに助言していくおじさんへの疑いが強まってきたRTA、はーじまーるよー。

アナザーファイズ・フォーゼを撃破した前回ですが、今章は正直やる気が出てきません。我が魔王の見せ場がそこまでないからです。ですので、我が魔王の勇姿を見るためにもこの章はパパッと終わらせてしましましょう。ウィザードアーマーを装着するゲイツくんが好きな方は、自分の手でプレイしてみてください。

今回もまずは順一郎おじさんに話しかけます。これによってビデオデッキ修復フラグが立ちました。おじさんの時計屋としての技能を最大まで上げることが安全策なのですが、今回に関しては安全策など関係なく必ず話しかけないといけません。何せ、アナザーウィザードは事件なんて何一つとして起こしてはいませんから。

話しかけたらウィザード早瀬について教えてもらえますので、ゲイツくんたちと一緒に見にいきましょう。ちなみにこのタイミングでゲイツくんの好感度が個別ルートに突入できるレベルだと、口では仕方ないと言いながらも友人と一緒に出かけるといふノリで結構ノリノリでやってきてくれます。

さて、そんなツンデレくんですが、今回はそんなに好感度が高くないので本心からいやいやな状態です。会場に着くと観覧のためのチケットを買う必要が出てくるのですが、そのタイミングでウオズが出てきます。たとえばゲイツくんと殺しあったりしていても『最近、彼らと近すぎないかい?』と言ってくれるので、お前の目は節穴か、とオブラートに包んで言っておきましょう。我が魔王を騙している今のウオズに慈悲はないです。クオーツアートを裏切ったことが確定したら謝ることも視野に入れておいてください。

ウィザード早瀬のマジックショーを目撃していれば、彼がアナザードライダーの力を使用しているのではないかということをゲイツくんが口にくれました。こういう時、我が魔王の知識を補ってくれるゲイツくんは優しいですね。

さて、マジックショーも終わったところでウィザード早瀬に会いにいきましょう。ゲイツくんが勝手に襲いかかって彼がアナザーウィザードだということをはつきりとさせてくれます。そのままゲイツくんを操作してのアナザーウィザードとの戦闘開始ですね。

今回の戦闘時間はだいたい10秒。時間以内に決めるには前回からの持ち越しリバイブが必須と言ってもいいですが、今回はないので10秒間逃げ回るだけです。通常ウィザードとは違って指輪の付け替えがいらぬチートなアナザーウィザードですが、中身はただの一般人なのでそこまで強くはないため、逃げ回るのはそこまで苦労しないと思います。10秒経過で操作キャラが我が魔王に強制変更からのゲイツくんを止めることになります。やっぱり殺してはいけませんので殺さないようにしましょう。やっていいのは腕や足の骨を折る所までです。それなら戦闘終了と同時に自動的に治つてますので。……実は彼もウィザードゲイツだったりするのでしょいか？

ゲイツくんを止めることに成功したら、アナザーウィザードは逃げ出します。発見する手段がない以上は、先に、ここで詰め寄ってくるゲイツくんの説得を行いましょう。

——あの人、何も悪いことやってなかったよね？

——ウィザードオツチもないんだから倒せないし、ここで下手に問い詰めて逆上されて他の人たちを襲ったら、そっちの方が取り返しがつかないと思うんだけど。

正論です。さすがは我が魔王。相手の為人がまるでわからない以上、彼のこれまでの行動でしか推し量ることはできません。そして、今の状況下では『アナザーライダーであるかもしれない』ということと、『襲われた人がいない』という二つだけが我が魔王の知っていることです。

無論、ゲイツくんの『アナザーライダーを放置するわけにもいかない』というのも真理ではありますが、だからと言って『無策に襲いかかる』というのはまた悪手。今回ばかりは我が魔王に分があります。

……。

——お優しいことだな。

ああ、ダメですね。好感度と話術が足りていれば、ゲイツくんと一緒に行動することも可能だったのですが、今回は好感度が足りていません。ゲイツくんが我が魔王の忠臣となって『俺たちの王に続けー』と言ってくれるレベルなら話術の多少のロスも問題ないことは確認できていますが、今回はご縁がなかったということでご我が魔王の護衛の騎士団長にはなれません。

一人で突っ走るゲイツくんよりも先に、アナザーウィザードを見つけられるように頑張りましょう(全敗)。……もちろん、今回も見つかるなんて不可能でした。実際にはゲームシステム上ちゃんと見つけられるはずなんですけどね。

というわけで、代わりにウオズを使いましょう。彼ならアナザーウィザードの居場所を知っている……はずなのですが、出てきません。スウォルツ落下攻撃からゲイツくんを助ける以上しようがないことだとは思いますが、我が魔王の出頭命令に逆らうなんて臣下としてはどうかと思いますね。……まあ、私の言えたことではありませんが。

しばらくの間我が魔王を操作していると、強制的に操作対象が変更になります。無論、変更先はゲイツくん。アナザーウィザードを攻撃しましょう。もう、容赦する必要はないです。初手クリムゾンスマッシュは常識ですね。

この戦いの終了と同時に、合流した我が魔王との対話、さらにそこからツクヨミくんが眠ってしまい役立たずになってしまいました。ゲイツくんとの間にも亀裂が入ってしまった我が魔王ですがそれはそれ。王様たるもの、別に友達なんていりません。ほら、そこにウオズっていうちようどいい仲間候補がいるでしょう？

まあ、そんな冗談は置いておくとしてまずは去ろうとするアナザーウィザードを煽りましょう。

——あんたさ、どうして人を襲うの？

——それも、あんたの将来を祈って送り出そうとしているこの人たちを。

とはいえ、答えてくれるはずありません。なので、人の心がわからない我が魔王に完璧な一言を言ってもらいます。

——別に、あの社長さんが好きだったのについてわけでもないよね。

——だって、それだったらただの逆恨みにしかならないし。

——告白して、返事を待っている最中に他の男と付き合い始めたならともかく。

——告白すらしてないあんたには、怒る権利なんてないから。

……さすがは我が魔王。完璧な煽りです（↑言わせた本人）。人の心がわからぬまま、人の心を無意識に逆撫でする。これもまた、孤独な覇道を歩む王者に相応しい振る舞いです。なぜなら、自分の心を逆撫でする可能性の高い相手になんて行こうとは思いませんしねあつはっは。

さて、凶星を突かれて怒ったアナザーウィザードですが、こちらに攻撃を仕掛けるよりも先にタイムジャッカーによって連れて行かれました。それにしても、タイムジャッカーは基本的に自分たちの手で殺そうとすることがないですよ。彼らは基本的に王を擁立するのが目的なので、我が魔王と戦って無駄に力を消費する理由はない、ということでしょうか。スウォルツのように地味ながらも確実に殺そうとして来ない理由まではわかりませんが。

とりあえず、ツクヨミくんをこんなところに放置したままというわけにはいきません。一旦戻るとしましょう。幸いにも、我が魔王が煽ってくれたおかげで相手がどうしてこんなことをしているのかの理由については大体わかりましたからね。

ゲイツくんと今現在わかっている情報を交換です。ついでにウオ

ズも呼びましょう。彼からアナザーライダーとレジェンドの関係性について聞いておくことが重要ですから。

はい、もうとつくの昔に知っていたアナザーライダーについての情報を聞き出すことに成功しました。なのでここからは二面作戦です。あのマジックハウスの結婚する二人を病室にひとまとめにしておいて、イチラブさせましょう。それをこつそりと影から覗く我が魔王が、攻め込んできたアナザーウィザードを撃墜します。その間にゲイツくんが先に目撃したらしきウィザードウオッチを持つ人物……仁藤攻介になるか操真晴人になるかはわかりませんが、それを探し出し、ウオッチを回収。アナザーウィザードを撃破するという我が魔王が用意したチャートに従うとしましょう。

ちなみに、ここでウオズが説明するときに見たことないほどに楽しそうなのですが、彼がいずれクオーツアーという馬脚を現すことを忘れないでください。彼を許してはいけません。

ちなみに、今回はウィザードの変身者は出てきません。出てくるなら、もうとつくに出ています。アナザーウィザードが出現した時のために先にジクウドライバーを腰に装着。D' 3スロット、D' 9スロットにそれぞれライドウオッチを装着して、あとはライドオンリユーザーを押して回転させればビルドアーマーへと直接変身できるようにしておきます。

はい、きました。変身と同時にビルドウオッチのボルテックタイムブレイクです。下手に魔法を使わせると、それだけでロスになりかねませんので、腕を挟み込んで魔法を使えなくしてしましましょう。

オーケー、直撃しました。これでアナザーウィザードの体力ゲージがゼロになりました。それにより、空中に浮いた状態だったアナザーウィザードの変身は解除され、そのまま人間の姿で地面に落ちていきます。なのに死にません。そこに関しては安心してください。

さて、ゲイツくんに交代です。

ここまで一度もレジェンドとは遭遇していませんが、この状況になって初めて今回のレジェンドがわかります。

この状況でウィザードが出るか、それともビーストが出るか。

他にもコヨミ、あるいは警察に捕まることで大門凜子が出てきたり。

最悪の場合、ドーナツ売ってたおっちゃんになります。

——シャバドウビタッチヘンション

今回、ウィザードの変身者が出ないと言ったな、あれは嘘です。

……うるさい方が来ましたね。ただ、これはこれでよかったかもしれません。彼がいたのはドーナツ屋さん。操真晴人だった場合は、場所は移動できる範囲にあるドーナツ屋さんの全てが候補であり、仁藤の場合もまたキャンプできそうな場所全てが候補になります。なので、ゲイツくんを操作して探すのは現実的ではありません。ただの口スです。

更に言えば、我が魔王の方を操作した場合はアナザーウィザードを倒したタイミングでゲイツくんに強制的に操作を変更させられます。そこでウィザードウォッチをもらうのですが、仁藤の場合は戦闘をする必要があります、操真晴人の場合は普通にくれます。希望を守ることを約束して、ウィザードウォッチを使用しましょう。

——この魔法の力、誰かの希望を守るために使ってくれ。

もらったらゲイツくんには過去に行ってもらいます。

過去に行く最中にウィザードアーマーに変身しながら、到着次第まずはアナザーウィザードになっている早瀬に絶望を突きつけてあげましょう。お嬢さんたちが結婚するという^{現実}絶望を。

——お前がしないといけないことは、あの場所を存続させることじゃない。

——魔法に縋ってわずかに時を延ばしたところで、いずれ破綻は訪れる。

——お前は、小さな勇気を持つことが必要だったんだ。

——好きな相手に告白する勇気を。

……突きつける予定だったのに、なぜか熱血なことを言っていない。
す。

この場合、ちよつとだけ面倒なことになります。わずかな勇気が本当の魔法なんだと教えているゲイツくんですが、日和った彼にはそんな言葉は届きません。むしろ、確実にゲイツくんに怒りを抱きます。

ここで全力で怒ってくれたらアナザーウィザードドラゴンを召喚して体内の魔力を使い果たした置物になってくれたのですが、今回は少々怒った程度です。残念。

タイムマジンで轢き殺すことも魔法ブロックがある以上は難しく、しようがないので普通に戦闘をしましょう。

今回の相手はアナザーウィザード。こちらのゲイツくんにできることはそうたいしたことではないです。

せいぜい、普段の特殊攻撃がウィザードっぽくなっている程度。なので鍛えていないと死にます。ゲイツくんの操作を鍛えておきましょう。こちらは我が魔王の無茶振りに幾度となく付き合った経験があるのでレベルが低くとも問題なく戦えますが。

アナザーウィザードはフレイムスタイルな見た目のくせに他スタイルの魔法も使ってきます。が、代わりに戦闘の難易度そのものが他よりも低くなっていて、初見でもいい勝負ができる程度でしかありません。慣れているゲイツくんならば普通に勝て……勝て……

なんで負けてるんですか？

仕方ないので再戦。このアナザーライダー撃破に関してだけは、それを実行するライダーを操作しないといけないのが不満ですね。我が魔王ならば負けることはないというのに（自分の実力をゲイツくんのせいにする人間のクズ）。

とりあえず、今度こそ負けるわけにはいきません。無駄なロスをしてしまったので、すぐに誅罰を下すようにしましょう。

Part 5

アナザーオーズの体に肥やしという文字を入れたかっただけの R TA、はーじまーるよー。

さて、まず最初はセーブから開始です。なぜなら、テレビ版エンドに向かうための一番最初の必須ランダムイベントが次のアナザー鎧武編にあるのですが、そのイベントの発生確率はアナザーオーズ編のタイムによって変動するからです。たまにお目当のイベントの代わりに大ショツカーに属する、我が破壊者を崇拜するマゼンダウオズが出現するイベントなんてものが生えてきたりしますが、その場合はリセットしましょう。

セーブを終えたら、おじさんに話しかけることで檀フアウンデーシヨンについての情報をもらいます。もらったらすぐにテレビをつけましょう。そこにゲイツくんもいることですし。

檀黎斗王肥やし神を名乗る社長を見たゲイツくんは仲間扱いされることになりませんが、今は無視していいです。あとで戦うことになった時にきっちり恨みを晴らしておきましょう。

アナザライダーらしき力を見せ始めた社長を止めるために、王様先輩から王様を学ぶために我が魔王とゲイツくんはそれぞれそれぞれらに向かうことになります。走って向かうよりもライドストライカーで向かった方が早いので、それを使って向かいましょう。

到着次第、まずは最初に正面玄関を調べます。失敗、マスコミが多量にいるため入ることが不可能です。仕方ないので裏手に回ると社員が襲われていますので、変身してクズヤミーを倒すことで救出しましょう。危険人物として見られ、逃げられます。

ついでに、ヤミーを倒したことを肥やしが理解して顔を見せるので、あの者をゲイツくんにバカにしてもらいながら我が魔王よりも王として格下だということを威厳ある姿で見せつけます。そうすれば……はい。

——私が王だあっつ!!!

はい、アナザーオーズになりましたね。ここでランダムイベントの発生です。謎のタカ君のファインプレーが入れば、特に存在することに意味のないゲナムウオッチが手に入ります。さらにそのタイミン
グでアナザーオーズがキレてタカくんを追いかけてくれるので、戦闘
時間が丸々消えます。我が魔王はここから特に役に立つようなこと
はないので、しばらくの間はゲイツくんを操作しましょう。

——ううつ……鳥ごときが！

——王を愚弄するつもりか！

はい、タカくんが出現。アナザーオーズがそちらを追いかけたこと
で状況のリセットが図られます。我が魔王はその間に檀肥やし王に
仕えて王様というものを学ぶことになるのですが、それもよってしば
らくの間は自由行動が取れません。ゲイツくんの操作をするとしてま
しょう。そちらの方が最終的なタイムは絶対に短いです。

我が魔王が檀肥やしを追いかけている間に、ゲイツくんには201
6年に飛んでもらいましょう。そこでアナザーオーズを撃破するこ
とがイベントを先に進めるために必要な事項ですからね。

ちなみに、その間に我が魔王は2018年のアナザーオーズこと檀
肥やしに会いに行つて、彼の元で色々と学ぶことにしたようです。レ
ジエンドもいるので一石二鳥。さすがです、我が魔王。

——レベルアップ！

おっと、そんなことをやっている間に……

なんでアナザーゲームになつて
るんですかあ？

檀肥やしがアナザーゲームになっていました。当人のくせしてな

んでアナザーライダーになっているのでしょうか。これは、また二面作戦を行う必要がありそうです。

ですがまずは、アナザーゲムをゲムアーマーで倒しましょう。土管コンティニューを駆使してのワープを繰り返しながら、シヤカリキスポーツを使つてのスピードドロップです。たまにクズヤミーが召喚されていたりするとスピードが乗らないので失敗します。……今回は、大丈夫ですね。

アナザーゲムを倒すと、アナザーオーズが再度出現します。これは二つのアナザーライダーの関係ということをゲイツくんたちも理解したところで、一度元の時代に戻りましょう。

ついでに、今更になって気がつきましたが、あれはロスにはなりません。むしろタイムを短縮することにつながります。なぜなら、オーズアーマーがない以上は通常攻撃と同じダメージにしかならないはずでしたが、相手がアナザーゲムになってくれていたおかげでゲムアーマーの特攻が入ります。それによって戦闘時間が短縮、最終バトルに關しても二面作戦は片方が倒し終えた瞬間にもう片方も勝利した判定になるので、我が魔王にアナザーオーズを倒してもらえれば逢魔降臨曆トよりも早くなります。

ただそれも、対アナザーゲム用のチャートを作っていればの話なんですけどね。

私は作ってないのでロスでした。

そんなこんなで我が魔王に操作権を戻すと、今度は休む暇もなくゲイツくんと戦闘です。ゲイツくんを無傷でボコりましょう。今回のゲイツくんのスペックは戦闘直後ということもあつて疲れから不幸にもアーマーに激突しただけでダウンするレベルです。なので、示談の代わりにボルテックタイムブ레이크を決めて終わらせませう。

ここで好感度が高いと我が魔王のことを信頼してくれて、何かあるのではないかとゲイツくんは思ってくれますが、今回はそうはなりません。ちなみに、このタイミングでそれが出ると大体の確率でゲイツくんの強化イベントの時にゲイツくんの強化が入らずにツクヨミくんを我が女王と呼ぶ灰ウオズが出てくることになり、ツクヨミくんが

ライダーとして覚醒することになります。それをすると、もうめちやくちやになるのでやめておきましょう。

さて、ゲイツくんをツクヨミくんが連れて帰ったところで、我が魔王が何をしているかというところ。

我が魔王をポチ呼ばわりする檀肥やしの手で捕まっているという議員、仮面ライダーオーズの変身者である火野映司と会っています。今回の我が魔王はこの人たちを逃がすために残ったようですね。ゲイツくんと電話してこの二人のことを預ける……と言いたいところですが、さすがに火野映司は頑固です。しょうがないので泉比奈だけ連れて出しましょう。

……おっと、泉比奈まで残ると言い出しました。我が魔王による救いの手を振り払うとは……レジエンドでもないのに生意気な。いえ、ですが言われてしまった以上は仕方ありません。ここで強行してしまつては所詮肥やしと同じ穴の貉。ここは鷹揚に、寛大な心で許してあげましょう。ただしウオズは許すな。

仕方ないので、ゲイツくんと戦つてストレスを発散しましょう。

今回の戦いは勝利条件が『??』で隠されていますが、ゲイツくんと戦い始めてから10秒後に出現する、民を傷つけるヤミーを倒すことです。結構簡単なのでサクッと倒します。

戦闘終了に伴つて、我が魔王にもう一度火野映司の元に戻つてもらいましょう。その時点でアナザーオーズは消えていて、それがイベントが進行可能になったことを示すサインですので、彼に話しかけてライドウオッチ回収イベントを終わらせます。稀にアंकが画面端に出現したりするのですが、別に今回は彼を探しているわけではありません。スキップしましょう。

さて、ライドウオッチを手に入れました。あとはアナザーオーズを倒すだけです。行くぞー！ (デッデッデデデ)

さすがにタイムマジンで檀ファウンデーションごと破壊するのは良心が咎めるので、我が魔王には泉比奈によって投げ飛ばされたアナザーオーズだけを倒してもらいましょう。ウオッチでハカイダー！

……なんて、簡単に行けばいいのですが、このタイミングでタイムジャツカーの介入です。彼らの持つタイムマジーンの支援をくぐり抜けながらアナザーオーズと戦わないと行けないのですが……。

——手を焼いているようだな、ジオウ

ツンデレがやってきました。このゲーム最初のタイムマジーン戦です。どちらがタイムマジーンになるかはルーレット。操作は我が魔王の方が得意なので、できれば我が魔王であってほしいところが……。

——お前は先に行け

よかった、ツンデレくんがこの場を抑えて、あとでゲムをボコつてくれるようです。今回のタイムマジーン戦はタジャドルタイムマジーンvsキャツスルドランタイムマジーンとなりましたので、空中で翼を火球で貫いてからプロミネンスドロップを叩き込んで終わらせ、アナザーオーズの元へと向かいました。

2010年のアナザーオーズの元へと飛ばば、ゲイツくんが即落ちニコマのように戻ってくるくせに『さよならだ、ジオウ』なんて格好つけて2016年に向かうので、そこをスキップしてから操作対象を我が魔王にして、檀黎斗と戦いましょう。

——ハッピーバースデー！

あ、ちよつとミスしました。タイムマジーンに乗って各年代に向かう間に対応したアーマーをつけておくのがRTAの主流なのですが、今回はランダムイベントが多すぎたせいで装備することを忘れていました。仕方ないので裏切り者の活き活きとした祝いを聞くとしましょう。

……別に聞く必要もないですね。スキップできないために垂れ流

しになってしまっている今のうちに、オーズアーマーの戦闘時の能力について説明しておきます。

まず、足のバツタの効果でジャンプ力がとても高いです。トラクローでリーチが上がり、タカヘッドは……まあ、はい、見ているだけで格好いいです。……いや、冗談は置いておいて、クリティカルの確率が微妙に上がるのですが、特別気にするほどのものでもないのので、クリティカルが出るなんて期待しないで普通に倒しましょう。

リーチの上があったトラクローで、実際にデンジャラスなゾンビのような動きをしているアナザーオーズを撃破します。最終的にはスキヤニングタイムブレードで削りきれるので、相手の体勢を崩してしましましょう。デンジャラスゾンビは服用していないので、檀肥やしを倒しても倒しきれないなんてことはありません。

倒し終えたら今回の章は終了、次回のアナザー鎧武編まで視聴者の皆様とはお別れ……というわけにも行きません。

先に、ゲイツくんとお別れしましょう。

クジゴジ堂に戻ると、ゲイツくんが帰ってこないことが発覚します。ここでゲイツくんが戻ってこないのがテレビ版の正規ルートなので、彼がいなかったことを確認して、今回の章は終了です。

では、今回はここまでとなります。ご視聴、ありがとうございました。

Part 6

ゲイツくんが”はじめてのおつかい”で鶏肉を買ってくるだけのRTA、はーじまーるよー。

さて、ここからはリセットポイントが続出します。まずは我が魔王の元から離れたゲイツくんの今の状況……ではなく、今の時間軸とはまた違う、“もしも”の世界からの我が魔王が介入してこない場合はリセット案件ですので、一応オーズ編でのタイム的に問題ないだろうとはいえ、食い入るように画面を見ます。

……………
……………
……………

よし！ 問題ないですね。では、スキップできないイベントムービーが開始されている今のうちにもう一つのコントローラーを接続しておきます。今回は我が魔王を二人同時に動かす必要がありますから、この『仮面ライダージオウ』のゲームの特装版についている、我が魔王カラーのコントローラーが必要となります。もちろん、この章が終わり次第外しておいてください。そうでないとこれから二面作戦を行うときにも同時操作を使用する必要が出て来ますから。今回は、我が魔王を二人操作しないといけないということで仕方なく、本当に仕方なく（嬉しそう）、コントローラーを二つ出して来ました。

ちなみに、このイベントでは神状態の葛葉鉦太に仕える果物の被り物をしたフルーツウオズなんてものもたまにいますが、今回はいません。無駄に会話が増えるだけなのでいなくてよかったです。

では、時は戻って三日前。ゲイツくんが家出したという認識のおじさんのところにウオズが時計以外の製品（時計）を持って来たところからスタートです。

おじさんの修復レベルを少しだけ上昇させながら、お出かけした我が魔王と入れ替わるように戻って来た我が魔王（三日後）の言葉で、ダ

ンスチームのメンバーの失踪現場に行きます。そうすればそこでゲイツさんと合流できるので、ゲイツくんがヘルヘイムの森に連れて行かれるのを目撃した後に自分たちもアナザー鎧武との戦闘に入ります。

とてもどうでもいい情報なのですが、我が魔王（三日後）はすでに鎧武ウオッチを手に入れていたのでその場で倒すことも不可能ではなく、更に言えばちよつとだけステータスが我が魔王よりも上です。ですが、ここで倒してしまうとテレビ版エンドにはたどり着けません。諦めて、時間を稼ぎましょう。……リアルタイムアタックなのに時間稼ぎってなんなのでしょう。

まあ、いいです。ウオズが鎧武継承の記録がないことにぽかんとしている姿を見て笑いながら、先に進めるとしましょう。次はゲイツくんの操作です。

ゲイツくんの操作を行う時、フィールドは今回限定のヘルヘイムの森なのですが、そこで駆紋戒斗を探す必要があります。見つかるか見つからないかは結構シビアなのですが、代わりに彼の仲間を助けるためにインベスを撃破していればだいたい5匹倒したところで姿を見せるので、詰むということはないでしょう。

ちなみに、その間に我が魔王（三日後）はどこかに姿を消して我が魔王（今日）がツクヨミさんと合流しています。ここまでピンポイントに同時に会わないとなると神の意志が働いているようにも見えますね。

三日後の我が魔王と今日の我が魔王が同時に存在していることに気がついたツクヨミくんによって我が魔王が押し倒されていますが、ここは逆らってはいけません。逆らってしまうと、ツクヨミくんの決戦が始まってしまい、彼女がタイムジャッカーとしての能力に覚醒します。そうなるとジオウⅡになる前に彼女は『時を歪めるなんてタイムジャッカーの仲間じゃないか』なんて思っただけで自殺してしまい、テレビ版エンドを目指す場合にはカブト編で詰んでしまいます。

我が魔王がついにダンスの現場に到着しました。ツクヨミくんからの要請で、遠距離から必殺技で撃ち殺すパターンではなく、近づい

て奴がアナザー鎧武だということを確認しないといけなくなりまして。面倒ですね。

ツクヨミくんがどこからか持ち込んできたマイクで大声を出したところで我が魔王がついに民の目の前で安心させるように変身を行います。神々しすぎて目が灼けそうです。鎧武ウオッチはこちらの我が魔王は持っていないので、しょうがないのでビルドアーマーでグラフ拘束からの必殺技……と、行きたいところですが、途中でブロックが入りました。

三日後の我が魔王の登場です(デッデッデデデ)

たまにここでオーマフォームな我が魔王や、オーマジオウになってテレビ版エンドを迎えた直後の我が魔王がやって来たりするので、今回はそんなことはないです。喜びましょう。

ここからは二人を同時に操作する必要があります。同一の時代の同一の敵に協力してことに当たるシーンなので、今回は画面が二分されることはありません。普段ならNPCとして我が魔王(三日後)が出ていますが、操作の邪魔になる可能性があるのです、ここは先ほど繋いだコントローラーでもう一人の方も動かしましょう。

こちらを動かしてくれるのはこの方です。

——私は、RTA走者たちの最高最善の王である。

——私の力は、全てのRTA走者のガバを憎む心だ。

でボコっていたのですが途中で我が魔王（三日後）が止めたために相手に逃げられるというのがストーリーの流れです。実際には三日後の我が魔王を50年後の我が魔王が操って撃破したわけなんです……。

とりあえず、我が魔王（三日後）に事情を説明してもらいましょう。そしたら、仮面ライダー鎧武の変身者こと葛葉鋹太の居場所を教えてくださいるので、そこでウオッチをもらいます。

残念ではありますが、ウオズの裏切りによってそのウオッチはヘルヘイムの森に消えてしまいました。しかも、一緒にもらった可愛らしいコダマくんまで。裏切り者を許すな。

——その程度の些事に、気をとられる必要はあるまい。

あ、はい。仰せの通りに、我が魔王。

しょうがないので戻って来たら、我が魔王（三日後）も我が魔王（今日）もそのことは見抜いていました。さすがです。

というわけで、ゲイツくん“初めてのお使い”は鶏肉ではなくなくて鎧武ライドウオッチを持つてくることに変更です。一人でできるかなあ？ できるよね、強者さんが一緒だし。

バイクゲームのスタートです。ここで失敗した場合、ゲイツくんは死に、我が魔王（50年後）が仕方ないと言いながら時間を逆再生してゲイツくんの蘇生、さらにはゲイツくんのバイクにちよつとだけ補正をかけてくれます。そうじゃないとアナザー鎧武を倒すことができずに被害が大きくなりすぎますからね。

走り出すまでの3秒間のチャージで、全てが決着します。ここで一定以上のチャージに成功すれば……って成功しました。もう後は考える必要はありません。ファイリングで我が魔王（50年後）の操作についていくだけのことです（無理）。

——時空転移システム、起動

Part 7

世界の破壊者が出てこなかったら即リセットなRTA、はーじまーるよー。

なんて口にしたのはいいのですが、今回はまさかの平成ジェネレーションズForeverが始まりました。サクツと終わらせませう。テレビ版ではそろそろネタバレOPが始まる頃合いなので仕方ないといえは仕方ないのですがね。これは良いイベントです。一気にW、クウガのウオッチをもらおうとしましょう。できることなら電王のウオッチももらいたいところなのですが、電王イベントはそれ以外の全てのライドウオッチが手に入っていないと発生しません。諦めて二つもらうだけで我慢しておきましょう。

ちなみに、今回のイベントは映画版だとスーパータイムジャッカーことティードくんがアナザーデンライナーを破壊されて笑っているシーンからスタートしているのですが、今回に関してはそこに至るまでの経緯を全カットしてそこから繋げてプレイすることで、2000年から戻ってきた我が魔王を操作することになり、自動的に我が魔王の元にWのウオッチ、そして未だに使ってはいませんがゲイツくんの元にクウガのウオッチが手に入っていることになります。

なのであとは、逢魔降臨曆を破いているんな平成ライダーを出しましょう。え？ それは“Over Quarters”でやるんじゃないのか？ ですか。あっはっは、別にそちらのルートに入らない以上、どこで破いても話は同じです。どうせなら短縮のために本来はこの場に推参しなかった平成ライダー達も出しましょう。ええ、問題なんてないです。このイベントで『逢魔降臨曆を破壊する』という行動は想定されていないのか、それともバグ技なのか、あるいは予備があるのか、次の章では元に戻っていますから。

というわけで我が魔王のタイムマジーンがティードによって撃墜されたところからスタートです。運良く、助けに来てくれた電王にアナザー電王を撃破してもらって、そのまま壊れていないアナザー電王のウオッチを再起動。ティードくんのところに潜り込んでもらって、

アナザークウガになる前にサクツと背中から刺してもらって映画イベントは終了です。この時間軸にいる我が魔王は桐生戦兎と出会ったりしますが、そこは映画イベントの始まりが爆散するアナザーデンライナーだという事実から、二回目以降はスキップしてつなげるのが通常です。RTAでもスキップできるんだからしないはずがないですよええ。二十人のライダーが解き放つ連続ライダーキックを見たい人は、自分で買ってプレイしよう。

ちなみに、継承するよりも先にアナザー電王に刺し殺されたためにこの時点でまだクウガアーマーは継承を終えていません。響鬼イベントの際にウオッチを使用することを忘れないようにしましょう(一敗)。

というわけで、さらつと終わった敵キャラ自滅の良イベント

。そのあとに今度こそ世界の破壊者デイケイドがやって来るはずです。まずは我が魔王のお言葉でゴーストライドウオッチとドライブライドウオッチの出所を確認しましょう。我が魔王から盗んだという衝撃的な事実が明らかになります。

それが終わるとウオズとかいうクソザコ裏切り者がタイムジャッカーのアジトに現れて、門矢士を呼んでくれます。彼が出現するのがテレビ版エンドに向かうための条件なので、出現するまでリセットです。

出現を確認したら、我が魔王に操作が戻ります。その頃の我が魔王は少し休むために一人で公園に来ていました。そしたら、我が魔王の目の前でアナザードライダーの事件が発生します。まるで運命に導かれるようにして惹かれあつた我が魔王とアナザーゴースト。ここで決着をつけることは不可能……どころか戦闘の際には一度たりとて攻撃が当たりません。しょうがないので時間になるまで攻撃を避け続けましょう。

時間です。そうするとアナザーゴーストは消滅して、仮面ライダーゴーストこと天空寺タケルに捕まってしまいますので、彼らに連れられていくとしましょう。

それにしても、初めて出会った相手をいきなり縄で縛って無理矢理

連れ帰って『お前もあいつと繋がってるんだろ！ 吐け！』なんて、誘拐と恐喝の現行犯で捕まりそうな気がします。ここはタケル殿と繋がりのある泊進之介巡査を連れて来てしよつ引いてもらいたい……と言いたいところですが、先にドライブのイベントで繋がりを作っておかないとそれは無理です。ちなみにそれをする時、"Over Quarter" ルートに確定してしまい、さらには隣の牢屋に入れられているのがタケル殿になってしまいます。今回はテレビ版なのでできません。

連れてこられたところで、我が魔王に状況を説明してくれる不可思議研究所の皆さん。三人目の仮面ライダーの存在を教えてください。……金色が基本フォームの仮面ライダー、一体どこのアギトにカメンライドした破壊者なんだ。

そのタイミングで携帯に着信、ゲイツくんたちからアナザーゴーストが暴れているということを聞きます。他の人たちもそれで我が魔王が犯人の仲間ではないというのを理解してくれました。が、代わりに王様になりたいやばい奴と判断されてそのまま放置です。

なので、今回はゲイツくんを動かします。我が魔王の代役をしつかりと果たしてもらいましょう。

きええええええつつつつつ (ウオズ、迫真の叫び。特に意味はない) !!!

我が魔王を動かすことができないストレスを叫んで発散しています。殺意をチャージして、ゲイツくんに確実に殺してもらいましょう。初手ゴーストアーマーからのオメガタイムバーストです。そうすると変身者が死んでくれるので、ゲイツくんに殺人の容疑がかかります。

そこでようやく今RTAでの初登場となるウールくん。彼から、ウォッチが動いていないとアナザーゴーストが死んでしまうということを知りましょう。聞いたところで現実は何も変わりません。既に死んでいる兄のために、未来で色々やっってしまうとはいえ未だ無

実の人間を殺させるわけにはいきませんからね。しっかりと殺しに行きましょう。

——通りすがりの仮面ライダーだ。

はい、追いかけて来たら現れたのは通りすがりのマゼンダです。彼と戦うことになりましたが、今回は負けイベントなので如何にしてロスを縮めて殺されるかだけ考えておきましょう。

最初の戦闘となる今回、相手はアギトなので速さで勝負しても意味がありません。なので、使うアーマーはファイズかドライブ。どちらの方がロスが少ないかについては一切検証をしていませんが、ゲイツくんだからしょうがないね。速さで挑んで見切られてボコられましょう。

二、三回直線ダッシュを繰り返せば、突撃と同時に吹っ飛ばされるようになります。アギトに吹き飛ばされれば、そのまま……

——ファイナルアタックライド

あ、終わりましたね。アギトのライダーキックでゲイツくんの体力は一瞬でゼロになりました。所詮は我が魔王に刃向かう程度の愚か者。まあ、これが妥当といったところでしょう。

ゲイツくんが敗れた後、天空寺タケルによって天空寺にまで連れてこられました。アギトが邪魔をしたという事実と次の事件現場がどこになるのかの情報を共有したところで一緒に行動を開始します。

はい、到着しました。我が魔王とゲイツくんの二人でアナザーゴースト戦です。ゲイツくんから借りたゴーストライドウォッチを使つて変身すれば、対アナザーゴースト戦は問題なく進むのですが……。

——あれって……

……おや？ タケル殿の様子が……？

懐からゴーストライドウォッチを取り出しています。我が魔王の使ったウォッチと同一のものだということに気がついた様子。……これは、ちよつとまづいような？

——『ゴースト』！

おつとお!? タケル殿！ やめるのです！ ここでそのようなことをされてはチャートが崩れてしまいますぞ！

……はっ！ なんだか今変なものが混じったような気がしました。おそらくは気のせいです。どうしましようか。天空寺タケルが、ゲイツくんに貸そうと思ったのかゴーストライドウォッチを使用してしまいました。記憶を取り戻し、ゴーストドライバーまで戻ります。……これは、リセット案件かもしれません。

——変身！

——カイガン！ オレ！

——レッツゴー！ 覚悟！ ゴ・ゴ・ゴ！ ゴースト！

——お前たちとやるならこいつの方が良さそうだ。

——カメンライド、ゴースト！

ああもうめちやくちやです。

今回のリセット部分は、デイケイドウォッチを手に入れられないことが確定した瞬間です。まだ挽回は効くと思いますが、さすがにちよつと厳しくなってきました。こうなったら、ちよつとした裏技です。操作対象を我が魔王とゲイツくんからデイケイドに変更します。デイケイドは敵ではないので操作することが可能であり、我が魔王とゴーストを同時に相手取っても負けません。

仮面ライダーゴースト、仮面ライダージオウゴーストアーマー、アナザーゴースト、仮面ライダーデイケイドゴースト、仮面ライダーゲイツ。これだけのゴーストが……おや、一名だけゴーストではないですね、まあ仕方ないことではありますが。

ゴーストにカメンライドした破壊者を使用して、我が魔王とゴーストを同時に撃破します。これによって、フリーになったアナザーゴーストがぶっ飛ばされて変身解除された我が魔王から魂を抜いてくれるので、それによってゴーストの継承はつつがなく行えるようになったはず。ついでにタケル殿も再度忘れてしまいました。

……大丈夫、落ち着け私。まだ慌てる時間じゃない。でもここからリセットするような羽目になったら、そっちの方が辛い……今のうちにリセットするべきか……？ いや、でもせっかくリカバリーしたんだから……。

いえ、ここはもう我が魔王の言葉に従ってなんかいける気がしたことにしておきましょう。そうすれば大体どうにかなる気がします。

我が魔王を自主的に助けに行ったゲイツくんが敗れるなどというどうでもいい事柄はショートカットです。ゲイツくんが敗北してくるだけですからね。問題は、そのイベントの後のアイテム欄にディケイドウオッチが入っているかどうかです。急いで確認しましょう。

……………

……………

……はい。

入っていました。これで問題なく先に進めます。ちよつとだけホツとしました。ただ、ここからは正直リセットポイントも、そもそもガバをするようなところもない、見所さんが全く存在しない虚しい箇所となります。なので、1分ごとに倍速して行って最大20倍速にまであげて、戦闘にたどり着こうと思います。

……………

(ウオズ、面倒なので逢魔降臨曆でチャート確認中)

……………

(ウオズ、疲れからかチャートによだれを垂らしながら寝る)

あ、我が魔王とタケル殿が過去、アナザーゴースト誕生前にアナザーゴーストの変身者を助けたね。これで我が魔王が元の肉体に戻るのですが、直後に生きているあの人物がアナザーゴーストにさせられたので、結局また肉体から離れてしまいます。

おっと、タケル殿が眼魔に囲まれてしまいましたね。こういう場合は……

——フツ！ ハツ！ タケル！ どうして変身しない!?

来ましたね。マコト兄ちゃん殿です。結構な頻度で生えてくる彼は、このRTAでは結構重要な役柄です。彼の出現によってタケル殿が死にかけるよりも先にゴーストだったことを再度思い出しました。それにより、死にかけの状態でもゴーストに変身して一撃でももらえば即死になる状態での戦闘ではなく通常タケル殿を操作しての戦闘です。これで負けたらRTA走者を名乗れません。蹂躪しましょう。

勝利したなら、後はタケル殿が元の時代に戻り不知火で魂だけの状態の我が魔王を見える状態にしてくれますので、2015年に向かいます。後はアナザーゴーストを倒すだけです。

おっと、我が魔王とゲイツくんの道を塞ぐようにしてタイムジャッカーが現れました。倒しましょう。エグゼイド、ゲンムのコンビネーションからのクローズビルドでのダブルライダーキックによるフィニッシュです。この辺りのタイムマジーン戦の難易度は低いので安心ですね。

さて、過去に来た以上、やることは一つだけです。ディケイドアーマーになってグレイトフルになりましょう。それでゴーストを撃破すれば、今Partだけで知らぬ間にW、それとディケイドとゴーストを受け継いだことになります。

ありがとうございます。ディードくん。

さ、後は終わらせるとしましょう。ディケイドウォッチをゲイツくんから受け取って、ビルドフォームにはならずゴーストフォームになつての平成ライダーズアルティメットブレイクです。撃破したら、家に戻りましょう。そしたらそこに世界の破壊者ディケイドがいてくれます。彼と会話をすればゴースト・ディケイド編は就労です。

では、今回はここまでとなります。ご視聴、ありがとうございます。

Part 8

我が魔王が我が魔王に出会って我が魔王じゃなくなろうとしながらも結局我が魔王になることから逃れられない、なRTAはーじまーるよー。

さて、今回は冒頭でお伝えした通り我が魔王が我が魔王に出会う、よりわかりやすく言うならば我が魔王がオーマジオウに出会う回です。ウオズが時計を持つてくるので、その修理をおじさんにしてもらいましょう。おじさんの修理スキルを上昇させていると、ウオズが外の状況について教えてくれます。

魔法カード、『ダイマジーン』を発動！ 平成の世の中を生贄に、7機のダイマジーンを召喚！

な感じで現れたダイマジーン。さすがの我が魔王もゲイツくんもフランスパンで戯れあったりしている場合ではありません。ゲイツくんの甘いところも見え隠れして来た今回ではありますが、まずはダイマジーンのことを確認しに行きましょう。

現れたダイマジーンを目視すると、我が魔王は昔見たという夢……実際にはバス事故の際にスウォルツによって連れて行かれた未来のことを話してくれます。

——少年よ。

——お前は生まれながらの王。

——お前には、王となり世界を破滅から救う使命がある。

スウォルツ氏もここだけは慧眼だったと言っているいいでしょう。何せ、見出した我が魔王は本当に生まれながらの王だったわけですし。さて、我が魔王が過去について語ってくれたところでオーマジオウが送り込んだカッシーンが……カッシーンが……あれ……？ なん
でウオズが……????

——貴様、何の用だ。

——おや、ひどいなゲイツくん。君たちの間違いを訂正してあげようと思っただのに。

——なんだと……？

——不思議には思わなかったかな、ゲイツくん。それにツクヨミくんも。

これは、一体どういう……。テレビ版エンドにたどり着くまでのルートに、こんなものはなかったような気がするんですが。

——『我が魔王Ⅱオーマジオウ』という等式が成り立つには、あまりにも我が魔王はオーマジオウとは違いすぎる、と。

——それは……確かにそうだけど。それが一体、どういう間違いだっというの？

——君たちが考えるべきは、『我が魔王を倒すことでオーマジオウにしない』という選択肢だけではなく、『我が魔王がどうしてオーマジオウになったのか』だということさ。

——どういう意味だ。

あ、こいつもしかして……。

——オーマジオウになった我が魔王と、ここにいる我が魔王はこの時点においては性格的にはほとんど違いがない。ほとんど同一だ。

——そんな我が魔王がオーマジオウになるのなら、そこには『オーマジオウにならざるを得なかった』理由があるはずだ。

——例えば、オーマジオウにならなければ倒せない、我が魔王が守るべき民を傷つける敵の存在、とかね。

——オーマジオウと同程度の戦力がなければどうにもならない相手がいる以上、我が魔王が消滅してしまえば結局未来世界は荒廃するのではないかな？

これは、もう確定ですね。間違いありません。

——それって、タイムジャツカーじゃないの？

——いや、違うよ我が魔王。タイムジャツカーはあくまでも『君が王となった』ことで君以外の王を擁立しようとしているに過ぎない。どうしてもその存在はオーマジオウに……未来に起因している。

——私が言っているのは『クオーツァー』という組織についてさ。

やっぱりこの許されざるボケカス裏切り預言者、“Over Quartz” ルートから記憶を引き継いでいやがりますね。仕方がないので疑ったことを謝っておきましょう。ペっ、疑って悪うござんしたー。

——なにそれ？

——我が魔王に全ての平成ライダーの力を集結させ、それらすべてを消し去って平成という歴史をやり直そうとしている連中のことさ。2068年で人口が約半分にまで減っているのも、平成生まれの人間が歴史のやり直しによって消滅したのが大きい。

それにしても、これはちよつとまずいかもしれませんよ。このままだと、我が魔王が我が魔王に出会っても我が魔王じゃなくなろうとしないかもしれません。我が魔王がその時点で取ることができる最高最善の手段をとったわけですし。

——そして平成をやり直そうとして我が魔王に邪魔された後、レジスタンスに潜り込んで自分たちの所業の罪をすべて我が魔王になすりつけた。そんな連中なのだよ、我が魔王。

……これは、一体どうなるんでしょう。さすがにRTAの最中にウィキを見ている余裕なんてありませんし、どうなるのかを思い出すことができません。ちよつとーチャートにないことをするのやめてよねーこの裏切りの代名詞みたいなどころのある預言者さんはー。

とりあえず、そんな会話をしているうちに、カッシーンがようやく来てくれました。未来の我が魔王の家臣だからって、我が魔王の命令を聞かないなんてポンコツすぎるよー。

先ほどのウオズの発言は、納得できるところはありましたがゲイツくんとツクヨミくんが『我が魔王がオーマジオウになって世界を滅ぼした』という固定観念を捨てさせるところにまではたどり着かなかつたようです。もしもこれが記憶ごとの引き継ぎをしていた場合は、即座に納得してくれて、対クオーツアー用の戦いの準備も整えることになったのですがね。今回はテレビ版エンドを迎えないといけませんから。仕方ないと諦めてください。

カッシーンとゲイツくんの戦いはカッシーン有利で進みます。このイベントムービーは白い方の私ならば必見でしょう。オーマジオウどころかその配下にすらボコボコにされるゲイツくんが一年もしないうちにオーマジオウを倒せるようになったという実例を出すわけなのですから。

ちなみに、ここでスライディングキックをしたツクヨミくんを見て、冗談交じりに『ツクヨミくんがライダーになった方が強いんじゃないか』なんて言っていた、仮面ライダーツクヨミを知らないウオズたちは最終話直前の変身でとんでもない顔をしていました。

おっと、今度は探し当てた我が魔王とゲイツくんが戦うことになりました。さらにそこにカッシーンと門矢士も乱入して来てあーもうめちやくちやだよー。

ですが、これは普通にチャートに書いてあったこと。ディケイドを操作して我が魔王を2068年に送り込めば今回の戦いは簡単に終了です。なので最初からコンプリートフォームで吹き飛ばしましょう。

2068年でやることはオーマジオウと出会うことだけです。全力で我が魔王の心をへし折ってもらいますが、ここではまず1回目のオーマジオウとの戦闘が発生します。勝ち目はないので、一番簡単にやられるルートを選びましょう。

ディケイドアーマーにアーマータイムしてからエグゼイドフォー

ムへとファイナルフォームタイム。ヘイセイバーでクウガ、キバと連続して攻撃を放ちます。そうすれば、エグゼイドフォームで二人に我が魔王が増えたこともあって、デイケイドアーマーでクウガ、キバ、龍騎と放つよりも10秒程度早く負けることができます。

これは、50年後の我が魔王が10000回ぐらい時を巻き戻して過去の自分の動きから一切の無駄を省くことで検証してくれました。なので間違い無いです。

そこまでボコった我が魔王は、それでも実は優しいのでベルトを捨てることで自分にはならないよ、と孫に教えるように教えてくれました。なので、過去……というか元の時代に戻ったら、絶望した我が魔王はゲイツくんが破壊してもらおうことにします。ゲイツくんにはしつかりとウィザードウォッチを使って破壊してもらってください。ところで、ゲイツくんはどうしてエグゼイドアーマーを使ったんです？ 我が魔王が持っているはずなんですが。

破壊されると、カッシーンが動かなくなります。あれれ、おかしいなく？ どうしてオーマジオウが消えたのにカッシーンは動かなくなっただけなんだろう？ ダイマジーンも動かなくなっただけ地上から消えただけですね、どうして何でしょうか。

——やあ、我が魔王。

——ウオズ……俺はもう君の魔王じゃ無いよ。

ゲイツくんが帰るよりも先に我が魔王の元にウオズがやって来ました。多分、説明をしてくれるんでしょう。

——ほら、見たまえ。君がオーマジオウにならないという選択肢を取っても君が使ったダイマジーンもカッシーンも消滅していません。ただ、機能を停止しただけだ。

——つまり、あれはオーマジオウの手元にあっただけで作ったのはそもそもオーマジオウでは無いということだ。

——というかまず、君の成績ではあのレベルのものは作れるとは思

えないんだがね。

こやつ、煽りよる（ビキビキ）。

ただ、言っていることはだいたい正論です。ゲイツくんたちにも過去に留まる理由ができました。そもそも、常磐ソウゴが至ったオーマジオウが消滅したにもかかわらずオーマジオウのいた未来から来たゲイツくんたちが消えていないという事実そのものが、常磐ソウゴがオーマジオウにならなくても別のオーマジオウが生まれるだけだということを示しています。

それでも、我が魔王は動くことをやめました。仕方ないこととはいえ、自分が未来で人々を苦しめる魔王になっていたというのが堪えたのでしょうか。ドライバーは破棄され、もう我が魔王は我が魔王にならないのでしょうか……。

戻ったクジゴジ堂でおじさんの言葉を聞いた我が魔王は、ウオズの言葉は信用できないけれどそれでもこのまま帰ってもいいものか、と悩んでいるゲイツくんたちを置いて一人でお出かけです。

そのタイミングで襲いかかって来たカツシーンを今すでに継いでいるビルド、エグゼイド、フォーゼ、ファイズ、ウイザード、オーズ、デイケイド、ゴーストの力で撃退……できればよかったですけどねえ。

とりあえず、変身できないので受け継いだ歴史の暴力で殴ってもダメージを与えることはできません。なのでゲイツくんが来るまでの間は耐久です。ゲイツくんが来るまでにウオズから二つ目のドライバーを受け取った場合はオーマジオウエンド確定なので、やってはいけません。

ゲイツくんが来たら、デイケイドも参戦するのでとつととやられましょう。ゲイツくんを操る利点なんてないです。

とてもいい友情シーンが始まるのですが、これはRTAなので泣く泣くカット。我が魔王がゲイツくんからドライバーを受け取り、それを使って変身します。ウオズもとつとと自分用のジクウドライバー持って来て変身しろ。

我が魔王が変身したらディケイドアーマーゴーストフォームで
ウールからジクウドライバーを奪います。ここは完全に判定がラン
ダムなので自分の運を信じましょう。

.....
.....

今回は3回で取れましたね。運がいい方です。最悪の場合、ジクウ
ドライバーを回収するよりも先に我が魔王が一人でエグゼイド
フォームになってディケイドとカツシーンを倒しますから。

これで我が魔王(R)と我が魔王(L)とゲイツくんが揃いました。
これでようやく面倒臭い戦いも終焉を迎えます。ディケイドウイ
ザードが帰った後にタイムマジーンに我が魔王とゲイツくんが乗っ
て、もう一人の我が魔王がカツシーンを撃破するというコンビネー
ション。これにより全ての敵を同時撃破します。

我が魔王とゲイツくんのスカイラブハリケーン、我が魔王の平成ラ
イダーズアルティメットタイムブレークによって二体のタイムマ
ジーンとカツシーンを撃破されました。

これで、今回の戦闘区間は全て終わりです。あとはクジゴジ堂に帰
ることで章終わりの会話を楽しむとしましょう(スキップ)。おじさ
んは、我が魔王が受験をしてくれるとちよつとだけ嬉しくなっていま
したが、結局王様を目指すことになったためにそれが日の目を見るこ
とはなくなりました。

さて、では今回はここまでです。次回はまたまたリセットポイン
ト。一体、このイベントを発生させるために何人の我が魔王がこのR
TAを走ったのか。そんなレベルのリセットポイントです。

ご視聴、ありがとうございました。

Part 9

そろそろ我が魔王に仕えるウオズ以外のウオズが生えてきそうなRTAはーじまるよー。

さて、今回は冒頭からスキップ連発です。仮面ライダーシノビとかいうニューージェネレーションライダーズの一員が出現した夢を見た我が魔王ですが、所詮は夢なので夢だということに気がつければ一瞬で目覚めてスキップできます。さらにそこからウオズがやってきますので、新たなアナザライダーの情報をもらいましょう。……ところであいつ、一体どうやって逢魔降臨暦に書かれていないアナザライダーの情報を得ているのでしょうか？

とりあえず、まずはアナザーシノビ戦です。令和三人目か四人目か、どちらにせよ平成ライダーではないシノビには平成ライダーズアルティメットタイムブ레이크をぶつけても意味がないです。サクツと倒して逃げてもらいましょう。

そうするとゲイツくんがバイクで追いかけてくれるので、我が魔王にも一緒に追いかけてもらいましょう。このタイミングでバイクによる追走が失敗するかどうか、今回のリセットポイントです。バイク追走に失敗することを成功すれば、その時点で今回リセット案件になることはありません。バイク追走できてしまった場合は諦めてリセットしましょう。

よし、成功しました。バイクのライドウオッチを落としてくれましたね。これで白ウオズと……白ウオズと……

なんでゲイツリバイブがいるんですかあ？

またチャートが壊れました。ゲイツリバイブが登場しました。我が救世主は自分で過去にやってきました。白ウオズが仕える我が救世主と、白ウオズのコンビです。こうなったらしょうがないです。黒ウオズにもオーマジオウを呼んできてもらいましょう（錯乱）。

おっと、そんなことを言っている間に黒ウオズも現れて白ウオズとの対決が始まります。ストールvs未来へ導くタブレット。これは……熱い戦いになりそうですね。

なんてことを言っている間に、黒ウオズが我が魔王とツクヨミくんを引き連れて撤退しました。さすがに何も情報がない相手を前にいきなり真正面から戦うほど黒ウオズも愚かではなかったようです。退いた黒ウオズ、ツクヨミ、そして我が魔王の元にゲイツくんも合流しました。

——何、もう一人のウオズだと？意味がわからん。プラナリアじやあるまいし、そう簡単に増えるようなやつではないだろう。

——だがね、実際に現れてしまったものはしょうがない。それも、君のことを我が救世主と呼んでいたんだ。おそらく、ゲイツくんがやらかした諸々で新しい未来の可能性が生まれたんだ。

おっと、そんなことを話しているとさらに乱入、アナザーシノビです。今の我が魔王たちではどうしても退治することはできません。しょうがないのでここは一旦白ウオズに譲りましょう。我が救世主呼ばわりされて困惑しているゲイツくんですが、白ウオズは頓着しません。この場に未来のゲイツくんが現れない以上は、ある程度はチャート通りに進んでくれそうなのが唯一の救いです。

とりあえず、我が魔王とアナザーシノビの戦闘ですね。白ウオズが乱入するまでの間は我が魔王がディケイドアーマーで戦いますので、エグゼイドフォームになってあっさり倒しましょう。アナザーヘイセイバーとかあったら、『平成ライダーシリーズ』の中に出てきたライダーということでシノビは入ってたりしないでしょうか？

おっと、そんなことをやっている間に白ウオズがやってきました。彼がこの時代のゲイツくんに対して我が救世主と呼んで跪いています。全く、白い方のウオズは未来の我が救世主かこの時代の我が救世主か、どちらに仕えるのかはつきりとしてもらいたいところですね。

救世主に仕える白ウオズは、どうやら仮面ライダーウオズとして戦

うようです。この戦闘は仮面ライダーウオズの使用に固定されますので、諦めて使用しましょう。未来パッドを使えば大体どうにかかります。

——アナザーシノビ、我が救世主の前で格好つきたい白ウオズのキックで爆発四散する。

よし！

このキーボード入力のためのタイピング速度も重要です。テレビ版では戦いながら音声入力していましたが、こちらはアイテム欄を開いて戦闘しながらタイピングしないといけませんからね。

さて、ここからは我が救世主が介入したりしてこない限りはテレビ版と同様にしか進みません。そんなつまらないものをただ延々と流し続けるのもどうかと思いますので……

みなさまのため
に
い
こ
ん
な
も
の
を
ご
よ
う
い
し
ま
し
た
あ

どうぞ



「それで、どうだった白ウオズ」

「君まで私をそう呼ぶのかい、我が救世主？」

そこは、常磐ソウゴも知らぬ場所。

救世主ゲイツリバイブと白ウオズが拠点とする場所だった。

「正直、私には君が彼らにそこまで期待を寄せる理由がわからないな。君が死ねば、私たちの世界は悪い方向へと進んでいく可能性が高いことを考えれば、それこそ今すぐにでも君は戻るべきだと思うよ」

「それはできん。同じ時代に同一人物が二人いる状態という禁忌を犯してまでやってきたんだ。それだけの成果を持ち帰らねばならない」
「Quartzer、だね」

「ああ。奴らが最後に笑うことになる世界だけは避けなければならん。それを成せる可能性が最も高いのはこの時代、俺とジオウが揃っていて、未だに仲違いしていないこの時間軸に他ならない」

「だが、それにしても正気とは思えないね。まさかQuartzerに所属している黒い方の私すら巻き込んで、彼らが望むのとはまた別の未来への兆しを作ろうだなんて」

会話の意味は、この時代の常磐ソウゴには決してわからない。

そもそも、彼がこの会話を聞くことはありえない。

「もうすでに、俺のいた頃とは違いが現れ始めている。黒ウオズはすでにQuartzerの情報をジオウに渡しているし、そもそも俺たちの存在そのものが俺のいた時にはまるで存在しなかった事態だ」

ゲイツリバイブは、今の時代に思いを馳せる。

過去の時代にも思いを馳せる。

ジオウ……友になりかけていた常磐ソウゴを殺さなければならなかったあの瞬間を思い出す。

そして、その全てを思い返す資格はないとして振り払った。

「それにしても」

だから代わりに、今の自分についてきているたった一人の従者に視線を向けた。

「お前までついてくる必要はなかったんだぞ」

「はは、何をおっしゃる我が救世主」

笑顔で、黒ウオズとはまたどこか違うちよつとしたうざさを見せながら。

「私は君の従者だ。君が世界をよりよくするために動くようにするのだから、私も君のために動くのが当然というものだろう」

——それが、私たちの存在の消滅に繋がろうともね。

「……すまない」

「いいや、謝る必要なんてないさ」

黒ウオズは、正しい歴史に……オーマジオウになる未来に導くために一人でやってきた。

対して白ウオズは、未だどうなるのかすら定かではない未来に導くために自らの救世主とともにやってきた。

別にどちらが上というわけでもない。

二人が立ち上がる。

彼らがやってきたことで、変わってしまった未来が少しだけ存在する。

その一つが、アナザーシノビ。

この時代には存在しないはずのアナザーライダー。

自分たちが持ち込んでしまった以上、それをどうにかするのは自分たちの役目だと二人は決めている。

「それにしても、少しだけ勿体無い気もする」

「お前が手にしたミライドウオツチごと黒ウオズにくれてやることか？」

「ああ、そこまで含めての作戦だとは言ってもね」

オーマの曰。

オーマジオウが誕生することもなく、救世主がオーマジオウを倒すのでもなく、新たな第三の未来が生み出されることを祈ったの行動。

そのためならば、平行世界の同一人物とも敵対する。

そのためならば、懐かしい相手だったとしても敵対する。

そのためならば、敵対していた人物さえも利用する。

それだけの覚悟を持って、二人は拠点から出ていくのだった。



さて、ようやく我が魔王の言葉に感化されたシノビこと神蔵蓮太郎が仮面ライダーシノビの片鱗を見せました。

え、今のが一体何だったのか、ですって？ やだなあ。我が救世主

も一緒にやってきた場合の白ウオズと我が救世主との会話ですよ。確認したところ前回の周でアナザーワールドから白ウオズが呼び出された場合に超低確率で我が救世主も参戦するようなんです。さらにその状態で発生したランダムイベントの一つです。

これが発生してから大体三週間ぐらい我が国（ライダーファン）は『白ウオズはこんなこと言わない、これ作ったやつは頭沸いてるんじゃないか』派と『白ウオズ見直した』派と『お前そんなこと言っても我が救世主に対してテレビでやった諸々の所業忘れてないからな』派の三つに分かれて混迷を極めていました。

さてさて、話を本筋に戻しましょう。先ほど、仮面ライダーシノビが仮面ライダーになることを決めてスウォルツ氏の言葉に反発するに至るまでは我が魔王のカリスマの値によって大体3回から5回の間で変わりますが、今回は運よく2回で成功です。これ以上我が魔王に蹴り殺されるのが嫌だったのでしょうか？

おっと、そんなことを言っている間にここで白ウオズのインターセプト。彼がシノビの力を奪い取ってシノビミライドウオツチが生成されました。フューチャーリングシノビになってボコリましょう。

ジカンデスピアを鎌モードにして、いきなりスワイプ。必殺技を連打します。白ウオズ操作なんて基本的にできるタイミングが少ないので、ステータスの上昇をさせるのは難しいですので、必殺技連打の方が効率はいいでしょう。え、即死ハメコンボですか？ 私の技術ではできません。

これで、今回の事件は終了です。白ウオズの介入もあって面倒な事態になりそうですが強化フォームのゲイツリバイブはここからのRTAでは必須です。ウオズギンガが出たらお役御免にはなりますが、そこまでは確実にタイム短縮に一役買ってくれるでしょう。あれがあるとならないのでは雲泥の差と言っても過言ではないです。

では、今回はここまでとなります。ご視聴、ありがとうございます。

Part 10

RTA殺しの仮面ライダー、その名も仮面ライダークイズ！ な仮面ライダーが出現するRTA、はーじまーるよー。

さて、今回は白ウオズが出現したことで出てくることが確定した仮面ライダー、仮面ライダーゴミクソハゲについてです。正式名称は仮面ライダークイズ。名前の通りクイズを出して、そのクイズに不正解だった場合にダメージを相手に与える仮面ライダーです。

この仮面ライダーがなぜRTA殺しの仮面ライダーなのかというと、彼の出すクイズは完全ランダムだからです。より正確には最初の一問以外は『我が魔王の能力値』『ここに至るまでのタイム』『出てきたウオズの人数』などなど、様々な要因で一箇所につき個別に1500個ずつ用意された中から選出されるというスタッフの本気が見られるので、問題とその回答を全て個別に覚えておくのは現実味が存在しない、そんな仮面ライダーなのです。

さらには、クイズに不正解の場合はダメージを受けるのに対して正解してもダメージを受けないだけでうまあじがなく、こちらが使った時にも相手が間違えるかどうかは完全な運。RTAではもはやクソとしか言えませんね。

なので、今回の標語は『ガバも積もれば誤差となる』です。一回一回を取り出せばガバとしか見えないような行動も、何度も発生すればもう誤差と割り切れるでしょうという考え方ですね。よし、行くぞー！（デッデッデデデ！ カーン！）

まずは特別能力なんて何も無いアナザークイズとの戦闘から開始です。やはり年寄りですからね、もうそこまでのたいそうな能力は頭でっかちには使えないのでしょうか。戦い始めたらすぐに戦闘が終了してイベントです。スキップしてもいいのですが、それをするとかイズの問題が聞けません。そうなると50%の確率でリセットになってしまう。ここまで来て再走は心境的に厳しいものがあるので、諦めて全部聞き届けましょう。

なーんて、最初の一回だけはそれをしなくてもいいので普通に飛ば

します。問題の内容は『俺（仮面ライダークイズ）は、お前たち（我が魔王とゲイツくん）とも戦う』という○×問題を……

——問題、俺はそこにいるアナザーライダーを倒せる

え……？

——○か、×か

え……？

なんか、これまでとは違うような……。

い、いや気にする必要はありません。ここでの問題は○に決まっています。

……

……

……

よし、あつてました。つて……

なんで仮面ライダークイズを操作することになつたんですかあ

まさかまさかの仮面ライダークイズの操作です。今まで一度もしたことありません。というか操作できることすら知りませんでした。こいつ、DLCでようやく操作できるようになるはずなんですけど、なんで今操作できるんですかね。……いや、でもよく考えたら基本的にはフューチャーリングクイズと同じように操作すればそれで十分……？

.....
.....
よし！ いけそうです！ 行けると分かれば負けません！

即 墮 ち 二 コ マ の ガ メ オ ヲ ヲ ヲ エ ラ ア ー。

はい、負けました。使い慣れていないとか、言い訳はしません。ひどい戦い方でしたが、それについても申すところはないです。クイズに対してそもそもお前の操作キャラとしてのデータがあつたのか、なんてことも言いません。負けは負けです。今度こそ負けませんよ！

——ファイナルクイズフラッシュ！

はい、勝ちました。ちょっとガメオヴェラのせいでロスりましたが、ここはもうしようがないことだと諦めておきます。後続の走者たちのために改善点を残しておく、物語の中心には立たないという忠臣たるウオズにふさわしい振る舞いと言えるでしょう。

アナザークイズを倒すと、今度是我が魔王たちにも問題を出しました。今度こそ戦うかどうかを尋ねるみたいです。ちよつとだけホツとしました。そうなると今度こそ我が魔王を操作することになりそうです。ね。

——アーマータイム！ クウガ！

よし、今のうちにクウガにアーマータイムしておきましょう。継承の儀はできる限り簡単に済ませておくべきです。逢魔降臨曆にも書いてない様々なことが加わったので多分、黒ウオズもこの一手は予想外だったでしょうし、きっと継承の儀に関しても放つたらかして我が魔王のために色々と考えてくれるでしょう……

——祝え！

どっから湧いて出たお前！

帰れ！ これはRTAなんだから今すぐに帰って我が魔王のための記録を出させるのだ！

……祝つてくれるのはありがたいので、しようがないので聞きましよう。実は本編でも映画でも祝ってもらえてませんし。この間に少しでも落ち着いて、クイズ戦での操作ミスをなくしま……

——なんでわざわざそんなの聞かないといけないんだ？

あ、ラッキー。クイズが『祝え』の間にアナザークイズを追って何処かに行きました。これはラッキーと言わざるを得ません。ひゅーるーと風が吹く音が仮面ライダークイズの姿が見えなくなった現場になりました。これはとてもラッキーです。仮面ライダークイズを操作していたせいでロスした分の時間もこれで取り戻せましたね（予定時間より5分ほど遅い）。

この辺りの未来編に関してはバグ技やショートカットルートが見つかっていません。より正確には『オーマジオウルート及びゲイツリバイブエンド以外にたどり着くためのショートカット』が。なので諦めてテレビ版に沿った行動をしましょう。

ここからは基本的にテレビ版に沿った行動になってしまいます。ゲイツくん、我が魔王、それぞれがそれぞれのウオズから自分でアナザーライダーを倒すようにと説得されて、個別にアナザークイズを探すことになるのです。というか、この時代にやってきながらも一切の介入をしない未来のゲイツくんは一体何をしているんでしょうか……？ ちよつと探してみたくりますが、さすがにそれをするとはRTAとして失敗としか言えませんのでやめておきます。ちなみに後で50回ぐらい検証して出したこのルート、未来のゲイツくんは屋台でたこ焼きを買い食いしていました。

仮面ライダークイズを探している最中、我らが魔王と黒山羊ウオズがクジゴジ堂に帰ってきてしまいましたね。ここで仮面ライダーク

イズの変身者と再会です。事情を聞き出すとしましょう。

ただし、ここはスキップできるのでスキップします。RTA走者に、ゲーム内の人物の事情なんて関係ないんです。

事情を聞いたら彼が家に泊まることになるのでクイズ大会です。この問題が固定なこともおじさんが素晴らしい人な証ですね。

翌日になると我が魔王の元にウオズがアナザークイズの情報を持ってきてくれます。これに従ってアナザークイズの撃破に走りましょう。

ここからの展開もだいたい同じことになってしまいました。
なので。

みなさまのため
に
い
こ
ん
な
も
の
を
ご
用
意
し
ま
し
た
あ
ど
う
ぞ
お

.....
.....
.....

あれ？

あ、データが消えてる、だと!? なぜだ!?

……申し訳ありません。見せる予定だった『アナザー^カ一号&アナザー^技二号&アナザー^カ三号&アナザーBLACK&アナザーRX&アナザーロボライダー&アナザーバイオリダーvs仮面ライダージオウ&ゲイツ&ウオズ&ツクヨミ&バールクス&ゾンジス&ザモナス』がどうやら逢魔^録降臨^画暦^デの中から抹消されたようです。

『まだ映画公開中だからアウト』だという通達が来ました。では仕方ありませんね。しようがないのでこのまま続けていこうと思います。

というわけで、気がつけばデイケイドアーマーオーズフォームの出番も終わりクイズvsゲイツくんが始まっています。少し離れた

ところではアナザークイズと戦闘を終えた白い方のウオズが見て
います。

そのタイミングで羨ましいことに我が魔王に呼び出された黒ウオ
ズが我が魔王とクイズを、タイムジャッカーのオーラがアナザークイ
ズを連れて行きました。白ウオズのムカつく言葉を聞いて下がりに
しよう。これは戦略的撤退であって、負けたわけではありません。

アナザークイズを探す最中、今度はゲイツくんを相手に我が魔王と
クイズが共闘をすることになりました。ただし、これは演技なので我
が魔王を相手に戦うだけです。ここでは本来ならビルドアーマーに
なったゲイツくんによつて我が魔王がやられるのですが、負けなく
もいい相手に負けるつもりはありません。我が魔王にはゲイツくん
を即殺してもらいましょう。

デイケイドアーマーエグゼイドフォームです。これを使えば片方
が殴られている間にもう片方で殴り殺せます。オーマジオウクラス
でもない、二人に増えた我が魔王を同時に倒すことはできません。
なので、単純にダブルライダーキックで倒しましょう。そしたらバグ
なのか、こちらが負けたことになりまますので話は問題なく進みます。
アナザークイズとクイズの戦闘も、白ウオズの未来ノートによつて
導かれました。さらにそこに我が魔王とゲイツくんと白ウオズが混
じつてもうめちやくちやです。仕方ないので我が魔王に白ウオズと
戦ってもらいましょう。

白ウオズ戦は勝敗に関係なく先に進むタイプの戦闘です。ですが、
どう考えてもこちらが向こうを倒す方が早く終わるので、普通に倒し
ます。Wアーマーを使うと敗北が決定してしまうので、ここはデイケ
イドアーマーで勝負しましょう。

デイケイドアーマーを召喚してエグゼイドフォームに。シノビ分
身にはハイセイバーのキバで範囲攻撃を放つことで対処します。運
が良ければ、ここで音声入力中の未来ノートを弾くことも可能です
が、今回は失敗したようです。

ですが、とりあえず勝利はしたので話は先に進みます。クイズとゲ
イツによるアナザークイズ撃破も終わってしまったので、ここからは

フューチャリーリングクイズの出番になりますね。結構えげつない問題を出しますが、気にする必要はありません。白ウオズのスータータスの成長は行うタイミングはないので、テレビ版のように戦うのが一番効率がいいです。不可思議マジックで倒しましょう。

では、今回はここまでとなります。ご視聴、ありがとうございます。た。

になっていきますから。

彼を発見して病院に直行させた後にクジゴジ堂に戻ってきたら、鏡から出入りしているという情報と、前回描写しなかったけれど黒ウオズからおじさんに渡されていたジオウⅡウオッチが我が魔王の手元に戻ってきます。

それで、城戸真司が仮面ライダー龍騎だったということを知ることがのできる、彼から龍騎ウオッチをもらいに行きましょう。本来のリユウガが鏡像の世界の城戸真司だったという情報があれば、これまでのビーストなどのライドウオッチの観点から彼が持っている可能性が最も高いという結論にたどり着くことができるでしょう。

そして、我が魔王にはジオウⅡウオッチについても情報が手に入りました。これならもう負けることはありません。まずは仮面ライダーウオズから逃げてきた城戸真司と合流です。彼と会話したら、変身です。そしたら先にバグ技を使用したことで城戸真司が龍騎ウオッチを手にしたことになっているので、ライドウオッチを見た城戸真司が龍騎ウオッチをくれます。もらっておきましょう。

なお、ここでの短縮ポイントは一つ。正確にはここではないのですが、この後の短縮につながるのので確実に行なっておきましょう。鏡の世界の城戸真司について聞いておくことができますので、ジオウⅡウオッチを鏡の世界からもらったパーツで完成させるまでのタイムを短縮できます。

それにしても、アナザーライダーだとしてもリユウガはリユウガなのでですから本家本元と同じように龍騎の力で倒せたとしてもおかしくないような気はするのですが……まあ、その辺りは制作でもないのかわかりません。もしも倒せたなら短縮につながったのですがね。

では、我が魔王もアナザーリユウガに合流です。ちなみに、運が良ければ万丈龍我と出会うことが可能であり、それに成功した場合は彼がアナザーリユウガを倒すことも可能です。仮面ライダーに変身するリユウガというネタ的なものではありませんが、このRTAではジオウⅡにならずに勝利する唯一の方法でもあり時間の大幅な短縮にもつながります。ただし、それをするとジオウⅡになることはできずに

結果的にここ以外の部分で大幅なロスになってしまうので、諦めておきましょう。

さて、ここからが重要な場面です。我が魔王にはゲイツくんのタイムバーストを止めてもらって、そのままジオウⅡウォッチを動かせないということを確認してもらいます。そしてら行動に詰まって、我が魔王はアナザーリュウガに鏡の世界に連れて行かれるので、そこでミラー我が魔王と会いましょう。

ここでアナザーリュウガについての話を聞いていることが前提となりますが、カリスマ値が足りていれば、我が魔王は鏡の世界の我が魔王からジオウⅡウォッチの半分を受け取ることができしますので、大幅な短縮になります。裏の自分すらも納得させられるカリスマってなんなんでしょうかね……？ 一応、各章の終了時に上げることになったステータスはちゃんと割り振ってきたので、今回は足りていないのですが……。

あ、よかった。足りていました。足りてなかったらリセット案件でしたからね。ジオウⅡウォッチの半身をもらったら、ミラーワールドからクジゴジ堂に出しましょう。大体の確率でおじさんがそこにいますが、彼なりの納得をしてくれるので放置でいいです。そこで仮面ライダージオウⅡについての会話を行なってアナザーリュウガとの戦闘に入りましょう。

今回の場合、仮面ライダーゲイツくんがタイムバーストを使って殺されたりしていないのでツクヨミくんが離反してくれるのかどうかがちよつとだけ不安なところではありますが、一切稼いでいない好感度を信じましょう。過去と未来を統べるウォッチの力でその未来を引き寄せるのです、我が魔王！

到着したところでジオウⅡへの変身です。ジオウⅡの持つ戦闘能力でアナザーリュウガの鏡による反射攻撃を無効化しましょう。

——王の凱旋である！

あ、黒い方のウオズが久しぶりの『祝え』に興奮しています。おまけです。もらった龍騎ウオツチもアーマータイムしておきましょう。別にアーマータイムする必要なんてないですが、この場で継承を終えておいた方が気分的には楽ですし、必要はなくともちよつとだけ意味があつたりします。これはおもちゃ版の仕様の逆輸入ポイントですね。ジオウIIの能力に各種アーマーの能力を追加できるので、これからも活用していける場面があれば活用します。

継承を終えたら、まずはサイキョーギレードを召喚して相手の鏡による反射攻撃を破壊します。龍騎の炎で刀身を伸ばしてうまいことその場から動かずに当てて鏡なんて壊すほどの一撃をかましてあげましょう。この炎による刀身の延長で切り倒すことが、今回の短縮部分です。動かなくていいのが短縮です。

白ウオズの「バカな」と言わんばかりの狼狽ぶりはとても痛快ですね。次は未来を見通してのカウンターです。通常のカウンターはなかなか難しいのですが、ジオウIIが追加された今となっては結構簡単です。普通に入力して炎弾を弾いて、そのままライダー斬りをしてダメージを与えましょう。

今度は霸王斬りです。ジオウサイキョーに文字を変更して、トリガーを引きましょう。そうすればライダー斬りのダメージも合わせつつ相手がぶつ倒れるので、その間にジカンギレードも召喚して合体させましょう。名付けてサイキョージカンギレードです。そのままだというツツコミは受け付けていません。

これで必殺技を放てば勝ちです。どれだけ体力が残つていようとこの一戦だけは勝ちになるのですが、それでも様式美というのがあるのか、この一戦ではライダー斬りと霸王斬りを行わないと打てないようになっています。倒れてから立ち上がるまでのラグもあるので、自分で動かずに済むのが龍騎アーマーが短縮につながるもう一つの部分です。

ウオジ

ウ ヨ キ イ サ

ああ、神々しいまでの綺麗な一撃です。ジオウサイキョウの文字が刻まれた光刃でアナザーリュウガを切り裂けば、それでアナザーリュウガの撃破は完了。あとは城戸真司が裏真司を受け入れる覚悟を決めていることを伝えて終了です。

さて、問題はここから。ツクヨミくんが離反してくれるのかどうかです。ジオウIIの能力で未来予知をしていただけなので、ちよつとだけ難しいのですが、そこはこれまで一切稼いでこなかった好感度と、まるで未来を知っているのかのような、RTAのようなアナザライダーの撃破の速さを考慮に入れればきつと離反してくれます。

……
……
……

はい、してくれました。ここで離反してくれないと色々大変ですからね。

これで今回するべきことは全て終了です。

今回はキカイ編。ストーリー上で一番早くやつてくるウールくん殺害回ですが、テレビ版エンドを目指す以上は今殺してしまうわけにはいきません。よく『オーラなんかには殺されるぐらいなら私が殺してやる！』となっているウオズを見ますが、今回はオーラに殺されてもらいましょう。

では、今回はここまでとなります。ご視聴、ありがとうございました。

Part 12

機械と木塊、さらには奇怪、三つの意味を持った二つのキカイが今、交差……！ することも特になくこれまでのアナザーライダーと同じようにサクツと倒されるだけのRTA、はーじまーるよー。

前回、ジオウⅡライドウォッチを手に入れたためにタイマーもちよつとだけ進化しました。これまでのライドウォッチ型から、ジオウⅡと同じく二つで同時に計測しています。これは、どちらか片方が壊れた時のための措置でもあり、我が魔王の進化をタイマーでも示していくためです。

さて、まずはロスポイントです。このロスはもう仕方がないものと諦めておいた方が建設的なので、最初からチャートに組み込みました。問題は、このロスが一体どれくらいのものになるのかです。

そのロスポイントの名前は、期末テスト……の、追試。

こちらで自由に問題を決めることができないうために、出てきた問題を必死になって解く必要があります。その内容は高校三年生クラス……ぶっちゃけ、センターの過去問や二次試験の問題などです。なので、先に全ての年代のセンター試験の数学の問題とその回答、そして全ての大学の全ての年代の大学の問題を覚えておくことができる人だけはここでロスをしません。私はそんなことできないので普通にロスです。

全問無視して無回答で出すという選択肢もないではないのですが、それをすると留年確定です。留年確定すると我が魔王の「勉強なんて滅んじやえばいいんだ」なボヤキによって未来が崩壊することもおまけで確定してバッドエンドです。次のテストがあった時には我が魔王が未来予知で見た問題が自動的に出てくるので、強制的に80点になるので問題はないのですが。

このゲームが18歳未満購入不可な理由はここにありません。いや、普通に考えればおかしいんですが、高校生でもなければ解けない問題を高校生以下に出すわけにはいかないってことなのでしょうか？

さて、結果は……。

かっただけです。それならフィニッシュタイムで殴り飛ばせばワンチャンはあります。これはあくまでテレビ版の迎撃方法でしかないですから（震え声）。

……ところで、ゲイツリバイブは何をしているんでしょうか。こいつがミライダーだということはしつかりとわかっているはずなのですが。

ふんふんふーん（自棄鼻歌）。もうどうでもいいです。我が魔王は拳での迎撃すら失敗しました。そうなるともう防げません。なので甘んじて一撃受けておきましょう。ああ〜またロスだよー。

お………？

まさかまさかのゲイツくんです。どうやら好感度がある程度稼げていたようで、攻撃を横から弾いてくれました。ロスではありませんが、それでも取り戻せないほどのロスではなくなりましたね。このままジョウサイキョウで倒しましょう……と、言いたいところですがそれはダメです。それをするとキカイミライドウオッチが手に入りませんから。というわけでまずは普通のライダー斬りです。

それをするとアナザーライダーは爆散してくれて契約者は見つかりませんので、ゲイツくんは怒られて勉強に戻りましょう。戻るとまた我が魔王は眠ってしまい、2121年にまで飛びます。結局最後まで我が魔王が未来創造をしているというしつかりとした証拠も、特に何かの効果がはつきりするようなこともありませんでしたね。

まあ、そこで仮面ライダーキカイのいる世界がどういう状況なのかを知りましょう。それが終わるとまたアナザーキカイとの戦いです。ゲイツくんの、我が魔王には及ばないカツコつけない戦いを見ましよう。

……そういえば、ゲイツリバイブがすでにいるということは、白ウオズのいうところの『この時代には存在しない三つのライドウオッチ』が全て揃っているんですね。未来から来たゲイツリバイブを作り出したウオッチのことを考えれば。それとテレビ版でのグラウンド

ジオウウオツチの誕生を考えるにすでにこの時代のゲイツくんの手元にもリバイブウオツチがあっても問題ないような気がするんですが……気のせい？

気のせいではなかった。

まさか過ぎる事態です。どうやら使えない状態ではあるようですが、ゲイツくんの腕部分に装着されているのは紛れもなくゲイツリバイブライドウオツチ。あの特徴的な砂時計を間違える人はいません。……これは、アナザージオウ編がちよつと大変になりそうです。あの戦いは、ゲイツくんがリバイブライドウオツチに慣れていないことが原因でしたから。

ま、まあいいです。別にゲイツリバイブライドウオツチがあってもなくても話は変わりません。使えない以上はないものとして問題ないですから。とりあえず、ゲイツくんから「お前が今すべきは勉強だ！」「落第した魔王などシヤレにならんぞ！」という言葉をもらいましょう。

ちなみに、留年が確定したバッドエンドルートの一つに、我が魔王が我が魔王として君臨することができるようになるようにウオズの手によつてオーマジオウになった後にテストという概念を破壊するルートなんでものも存在します。ただのギャグルートなのですがこれに入ったら再走確定なので全力を出すんだ、我が魔王。ビルドライドウオツチヲツカイナサイ……（ヤメテー） テンサイブツリガクシヤノチシキヲエルノデス……（ツカワナイデー）

部屋に戻って勉強をしているとゲイツくんがちよつといい笑顔でラベンダーの香りを嗅がせて来ます。ああ、ここもちよつとロスですね。我が魔王が実際に眠りに入るまでの時間はほとんどランダムです。運が良ければラベンダーの香りだけでリラックスして眠れるのですが、運が悪ければゲイツくん「今お前がするべきは眠ることだ！」と言われて絞め落とされることになりかねません。そうならないように祈ることしかできないのが歯がゆいですね。

眠ったら、我が魔王は仮面ライダーキカイが操られる場面に遭遇することになります。今はスルーでいいです。むしろ、大事となるのはこの後に再度呼び出された我が魔王とアナザーキカイとの戦闘後です。

仮面ライダージオウⅡによって再度撃破されたアナザーキカイをウールを触媒にしたことよって安定させたこと。これによってゲイツリバイブライドウォッチ用の最後のミライダーの力が出て来たことになりますね（本来のゲイツリバイブがそのウォッチを使用したかどうかは置いておくとして）。

さて、操られた仮面ライダーキカイですが、今はどうしようもないので夢から覚めましょう。夢の中の仮面ライダーキカイをどうにかするよりも、まずは現実に迫っている仮面ライダーツイシの対処をしないと我が魔王の人生はお先真つ暗になりますからね。

夢から覚めたらそこには白ウオズとオーラがいます。ついでにツクヨミも。彼らとの共同戦線を組む流れなのでちゃんと組んでおきましょう。組まないと色々と面倒です。具体的にはウール殺害の流れです。

さて、今度の夢の世界はvs仮面ライダーキカイです。スーツアクターの皆様を撃破して、仮面ライダーキカイ戦。必殺技を打たれるよりも先に倒してしましましょう。それをしたら、今度こそアナザーキカイ戦となります。

アナザーキカイ戦は唯一の白ウオズを含めて三人同時の変身を行う回でもあります。ですが、正直に言ってしまうばここはスキップ。所詮白ウオズは自分の願った未来にたどり着けなかった敗北者じやけえ。あとはちよっとした短縮ポイントを見逃さないようにしましょう。

ウールくんをまずは白ウオズノートで呼び寄せます。呼び寄せたウールくんはすぐにアナザーキカイになってくれるので、オーラからの時止め攻撃をはじめとした諸々の状態を整えてパスワードを入力しましょう。

パスワード入力時に白ウオズのノートを使用します。それで『ジオ

ウ、パスワード入力に成功する』と音声入力しておきましょう。そうすることによって『will be the BFF』ではなく『will be the king』と指が勝手に滑って入力してくれます。それによって一回パスワード入力に失敗、からのツクヨミくんの言葉に従おうとしたゲイツくんの躊躇、アナザーキカイの完成、さらにはツクヨミくんの死亡の未来を見せる、なんて部分を短縮できま
すから、必ずしておきましょう（三敗）。

仮面ライダーキカイの力をミライドウォッチにちゃんと手に入れましたね。それではフューチャーリングキカイになってアナザーキカイを撃破しましょう。人間を操るといっとう考えても敵側の能力を披露してアナザーキカイを撃破してくれます。

自分一人でやるよりも操った方が効率がいいので、今回はこちらを選択しましたが、別に操らなくても勝てたりしますので『能力を一切使用しないでエンディングにまでたどり着くRTA』なんかだと結構単独で撃破しているシーンがよく見られます。

そちらは最終バトルでオーマジオウにならないと勝てないのに、オーマジオウになったら自動的に能力が発動してあらゆる敵よりも能力値が高くなってしまっうなんて能力があるのでなることができずにごり押ししています。

ウルくんの救出も終わりました。助けてもらったことへの感謝もなく彼は去っていくのですが、オーラやらスウォルツやらとこれからも仲良くやっていけるのでしょうか？

とりあえず、今回のアナザーライダー戦はこれで終了です。あとは仮面ライダーキカイにパスワードを入力して再起動させるだけですね。再起動させたらゲイツくんの元に二つ目のゲイツリバイブライドウォッチが生まれたり……

よかった。さすがにそれはなかったみたいですね。未来から持ってきたライドウォッチとこの時代で手に入れた未来のライドウォッチ、それらによってリバイブライドウォッチが生み出された以上、さすがに二つ目は生み出されませんでしたか。

というわけで、今回はここまでとなります。ご視聴、ありがとうございます

ございました。

Part 13

おそらくキバ編あたりからそこまで活躍しなくなる、そんな未来が俺には見える！ なゲイツくん唯一の強化フォームがそろそろ出てくる頃になったRTA、はーじまーるよー。

さて、今回まずは初っ端から短縮部分です。本来なら黒い方のウオズが我が魔王のところに来てこれまでアナザーライダーになった人たちが襲われているという情報を持って来てくれる予定なのですが、今回はそういうわけにはいきません。二人がいないためにアナザーライダーの情報を得られないということでタカを使って情報を探します。そこで肥やしと会うことが本来ならアナザーウィザードで初顔合わせになるはずの加古川くんと出会えます。

ちなみに、ここでこれまでのアナザーライダーに出会うことで彼らには記憶が残っていないということが発覚します。アナザーライダーではなくなった加古川も未来ではきつと我が魔王への復讐心を持ちながらもそれを発散する方法が見当たらない人生を送ることになるでしょう。

あ、もうすでに口にしましたがこの加古川が今回のアナザーライダーです。これまでのアナザーライダーとは違う、明確に『我が魔王と面識がある』アナザーライダーですね。ただ、やることは変わりません。普通に倒しましょう。

アナザーライダーへの変身者だった人物が襲われているということは未だ知らないままですが、まずは元アナザーライダーこと檀肥やしの元に向かいます。アナザーオーズだった肥やしの襲われている現場にたどり着けば、そこでアナザービルドと出会うことができますのでビルドアーマー……と行きたいところですが、ジオウⅡの方が強いのでそちらになります。アナザーライダーを倒すことができるという同条件下なら、アーマー装備よりもスペック的には強いジオウⅡにならない理由がないです。けれど急ぎましょう。テレビ版とは違って両手が空いているうちに変身です。

このタイミングで黒ウオズがやって来たりしますが、戦闘そのもの

には特別役には立たないので放置でいいです。

さて、まずはアナザービルドとなった加古川を真ジオウの力で殴り飛ばします。残り体力が9割を切るとアナザーエグゼイドになるので、それによってどういうこととなった黒い方のウオズのストールで一旦退きましよう。さて、退いたら我が魔王がまた夢を見てくれます。ゲイツくんとあの戦いの夢なので、そこで我が魔王を操作してゲイツくんを水の中に叩き落としましょう。溺死させれば終了で、それがおそらくは一番楽です。

それが終わるとオーマの日について黒ウオズが教えてくれるので、その概要を聞きましょう。本来なら彼がこのタイミングで教えてくれるのは『オーマの日』に常磐ソウゴがジオウIIライドウオッチを使つてオーマジオウになった』ということだけなのですが……。

——その日、君はQuartzとの戦いに赴き仮面ライダージオウIIライドウオッチを使用してオーマジオウになった。

あ、やっぱり教えてくれるんですね。まあ、もうQuartzについては教えてくれましたし、教えてくれることはおかしなことではないです。というかジオウIIライドウオッチは全てのライドウオッチの中で唯一『左右両方のスロットを同時に使用しないといけない』ライドウオッチですから特殊なものだということは普通に誰もが予想できていたでしょうが、『全てのライドウオッチを継承し終えた状態でジオウIIに変身する』というのがオーマジオウになる条件なんてきつとあのウオッチの玩具情報が出ていた状況では誰も思わなかったでしょう。

ちなみにどうでもいい話ですが、ドライブウオッチを手にしたと思しき後(テレビ47話でチェイス相手に仮面ライダーマツハ/詩島剛の名前を出した後)は、一度たりとてジオウIIになっていません。オーマジオウになってしまうからかもしれませんね。

さて、オーマの日について聞いたなら我が魔王とともに今度はかつての恋人のことを乗り越えて前に進んでいた佐久間の元にアナザージ

オウが現れます。そこに駆けつけたのは我が魔王とゲイツくん、おまけに白ウオズ。ところで救世主ゲイツリバイブはなんのために過去に来たのー？ もっとちゃんと働い……いや、働いたらまだオーマジオウじゃない我が魔王は負けちゃうからやっぱり働かないでください。

アナザーエグゼイド状態のアナザージオウとの対決です。ゲイツくんにエグゼイドライドウオッチは奪い取られ、我が魔王は傍観です。エグゼイドアーマーのゲイツくんを操って戦うことになりましたが、今回は特攻が乗りませんので気をつけましょう。ゲイツくんの必殺技を叩き込めば、ゲイツくんもこいつがアナザーエグゼイドではないことを知りますので、そこで戦闘終了からの今度はウオズの戦闘に移り変わります。

ウオズに切り替わった後はキカイで攻めましょう。ちょうど戦場にはアンテナがありますので、そこからエネルギー波を発射することで一撃で倒すことができます。そうすると今度はアナザーファイズの登場、加古川飛流という名前、その二つを知ったところで戦いは終了です。

そうすると、我が魔王はアナザライダーだった人が襲われているということを知ることになってアナザライダーだった人物……ワイザード早瀬の護衛に入ろうとします。ツクヨミくんとゲイツくんは加古川飛流という人物について調べるためにまずはおじさんの元へ。そこで聞いた話から加古川飛流が我が魔王と同じバス事故に巻き込まれたことを知りました。

おっと、そんなことをしている間に我が魔王はアナザワイザードを襲おうとしている加古川に出会いました。食い止めたらジオウIIでの戦闘に入りますが、すぐにゲイツくんと白ウオズもやって来ますので、今回はこの二人に任せましょう。

みなさんテレビでご存知の通り、ワイザード早瀬の護衛をしている間に我が魔王と黒ウオズは会話をしている、我が魔王の魔性の部分を求めているとかいう危ない発言を黒ウオズがかましたりしますが、好感度を上げておかないと我が魔王トリニティになれないのでちゃん

としておきましょう。

さて、そんな説明をしている間にゲイツくんが覚悟を決めることができずゲイツリバイブになれなかったという現実が見えて来ます。さて、しようがないのでジオウⅡで戦いましょう。それを選択することで相手がアナザージオウだということが発覚しますので、お互いに特攻が乗った状態での戦闘です。受けるダメージ量が増えていますので、気をつけてください。

この激突に勝利はありません。こちらが必殺技を使えば向こうも必殺技を使ってくることになって相打ちになりますから。相打ちになつたらしようがないので帰りましょう。別にゲイツくんのところのように責めてくる相手はいません。気に病まなくていいです。

さて、目を覚ましたらもう一度ウィザード早瀬の護衛に戻りましょう。今度は何があらうと間に合いません。そこで加古川が我が魔王に対する恨みをつらつらと語ってくれますが、彼がいうところの『白い服の女』と今の彼がやっていることが同じだということを認識しているのでしょうか。ちよつとそこらへんを我が魔王につついてもらいましょう。

——俺を殺すためにバスの中で銃を撃とうとした女っていうのと同類にならうとしてるっていうのはわかってる？

——なんだと。

——俺を殺すために全く関係ない……いいやむしろ被害者だって言ってもいい人たちを巻き込んでる君は、どのタイピングで人を殺すところにまで行くんだらうね。

ガチギレ我が魔王はなかなか珍しいです。どんな理由があろうと過去に囚われた人間が今を生きている人間を傷つけているのは許されないということでしょう。それでも、アナザージオウを倒したら未来に向かって生きようと言うことができる我が魔王はさすが我が魔王という他ないです。

さて、戦いが始まりましたが、この戦闘もゲイツくんの強制介入に

よって終わりますのでしばらくの間遊んでいるだけでいいです。もちろん、負けるわけにはいきませんが。

ちなみに、戦っている裏でゲイツくんが2009年に向かって先ほど加古川が言っていたことの確認をしています。無論、彼は加古川の話聞いていないので理由は別にあるのでしようが、彼はそこでツクヨミが自分の命をかけて不屈きにも我が魔王を殺そうとしたという事実を見たために覚悟完了しました。

戻って来たゲイツくんは覚悟完了したことでゲイツリバイブライドウォッチを使えるようになっていきます。今回のゲイツリバイブ初使用は仕様上『戦闘時間に比例してダメージを受ける』という特殊な状態ですので、まずはアナザージオウをパパッと倒してしましましょう。

リバイブ剛烈ならばノーダメージで倒すことが可能となりますので、サクッと倒してしまいます。それをするスウォルツによってアナザージオウが回収されることになるので、今度こそ我が魔王とゲイツくんの勝負です。

——ジオウを使用する

——ゲイツを使用する

ここはジオウ一択なんだよなあ……。

ゲイツくんの方がロスが少ないですが、私はほら、我が魔王の忠臣です。我が魔王を操作できる機会なのに使わないという選択肢はないです。

これは私のアイデンティティに関わることなのでロスではないです(断言)。

さて、それではジオウを選択し……

な!? なぜできない!? どうしてゲイツくんの方に……!?

私が介入しているからさ。我が救世主を使わないなんてありえないだろう?

こ、この声はもしや!? よもや、が……っ!

……ふう、一旦選手交代です。どうでもいいところでロスしようと

する黒い方の私にはほとほと呆れてしまいますね。

さて、魔王との戦闘ですが我が救世主を使用した場合ゲイツリバイブに関わる説明を全カットできるので、そのぶんの時間は短縮できません。ここに関しては私が走ることで短縮しましょう。

魔王を相手にしている状態で、我が救世主は疾風と剛烈を使い分けることで一切のダメージを受けることなく倒しきれそう……というところで黒い方のウオズに邪魔をされてしまいます。さらにそのタイミングで強制的に我が救世主の体力が危険域になりました。

それでも戦わざるをえないので、我が救世主は黒ウオズとの戦いに入ります。生身の相手を襲うのは流石にどうかと思うんですが……。

剛烈で逢魔降臨曆ブロックを突き破り、疾風でストール逃げを行った黒ウオズを追いかけます。そうすると結局最後まで明かされなかつた『黒ウオズを切り裂いたら逢魔降臨曆の中身が飛び散った』現象が発生するので、そこでスキップします。ようやく推しの活躍が終わってスキップできるようになりましたね。

ここから、我が救世主はアナザージオウ、そして黒ウオズが白ウオズから奪って変身した仮面ライダーウオズと戦って、魔王と戦うことになります。

アナザージオウを相手に体力80%を残しての勝利で加古川がウル^{少年}の言葉に乗るので、そこを利用して黒い方が仮面ライダーウオズになれるようにしましょう。ちなみに、それに失敗した場合は仮面ライダーウオズになれないのでゲイツリバイブエンドになります。個人的にはそれもいいのですが、テレビ版エンドということらしいので気をつけましょう。

………

………

………

はい、アナザージオウを無傷で攻略しましたね。これで加古川はアナザーライダー軍団を作ることになり、仮面ライダーウオズ（黒）も誕生することになります。我が救世主は華麗に無傷なままですが、ゲイツリバイブの反動だけはやってきました。それでも魔王を倒すまでは問題なく戦うことでしよう。

では、次は仮面ライダーウオズ戦で……

我が魔王の方に移りましょう

ちっ、戻ってきましたか。仕方ないので先ほどまでの状態に戻りましょう。

さて、そんなことをしている間に我が魔王はゲイツくんからの果たし状を受け取りました。おじさんからのお叱りという素晴らしい金言を受け取ったので、今の我が魔王は無敵です。オーマジオウにはきつと至らないことでしょう。

ここからは決戦の地である土星館パークキングに向かうのですが、その途中でアナザーライダー軍団と戦うことになります。……そうです、ここは『あれ、いつの間に黒ウオズが仮面ライダーウオズに？』なんてことにならないようにちよつとだけそちらに変わりましたよ……

なんで仮面ライダーウオズが二人になつてゐるんですかあ？

——こんなこともあろうかと、私の力の半分はウオッチではなく私の中に移しておいたのさ

お前は、デイケイドか。

とりあえず、逢魔降臨暦を持った黒い方のウオズに全てのライドウオッチは移っているようですから問題はなさそうですが、これでは

ゲイツくんを食い止める役がいません。どうしたら……

なんでゲイツリバイブ同士で戦って
るんですかこいつらあ？

これは……どういう状況？

我が魔王との戦いを前にして二人で争う理由が見つからないので
すが。

流星に我が魔王vsオーマジオウみたいなことではないでしょう
し。

——どうした！ その程度で魔王を倒すとほざいたのか！ 魔王
を倒すにはあまりにも足りん！

——ぐっ……

……修行？

い、いやまあなんでもいいです。我が魔王だけがボロボロの状態で
戦わなくていいという事実だけが重要です。さて、我が魔王視点に戻
しましょう。

我が魔王視点に戻すと、アナザーライダー軍団がいますのでジオウ
IIで戦います。この戦いは基本的に一、二体倒してしまえばそこで
終了です。あとは我が魔王が適当にダメージを負った状態で決闘の
場にたどり着いてくれるので、そこでゲイツくん戦になります。

基本、ここで倒すべきはアナザービルドとアナザーエグゼイドで
す。ここで倒した相手は決闘場にたどり着いた時に出てくる敵には
入らないのですが、そちらではゲイツくんも戦いに加わってくれるの
で半分は自動的に消えます。なので、ここでは倒しやすい相手を倒し
ておけばゲイツくんが消される半分に、簡単に倒せる相手が入ること
はないので、微妙に短縮になります。

さて、到着しました。ここからはジオウII、ゲイツリバイブに即変
身では最後まで体力が保たないので基本アーマータイムで倒しま

しよう。アーマータイムを連続することで対応するアナザーライダー撃破なのですが……やはりこのあたりはテレビ版の方が映えま
すね。

全アナザーライダーを撃破したところで、今度はアナザージオウで
す。彼とはゲイツリバイブとの共闘で戦うことになるので、基本的
には必殺技連打で問題ないです。細かいところはゲイツくんがどうに
かします。

まずはアナザージオウが上に行くので疾風で追いついた後剛烈で
攻撃を受け止めましょう。そしてジカンジャックローのこモード
で吹っ飛ばします。そうしたら我が魔王がジオウサイキョウで切り
裂いて倒してくれました。

倒すことには成功。ここからが重要です。最短でテレビ版エンド
に向かうには加古川に再登場フラグを建てておく必要があるので、こ
こら辺で適当に煽っておきましょう（笑）。

さて、ここで我が魔王とゲイツくんの戦闘になります。ああ〜ツク
ヨミくん早く帰ってきて〜。なんかゲイツくんがゲイツライド
ウオッチの方にも未来の自分から受け継いだゲイツリバイブライド
ウオッチを指してリバイブ二本差しなんてしてるから〜。

………

………

………

あれ？ なんでまだ帰ってこないの？ このままだと我が魔王が
死んでしまうよ？ もしかして、好感度足りてないの？ 離反時点で
好感度はゼロに戻って稼ぐタイミングなんてそれ以降なかったから、
普通に行けるはずなんですが……。

ああああああああああ（ガメオヴェラ）

と、いう未来の可能性を見たのさ！（ジオウIIの顔の針ぐるぐる）

今回はそんなことはありません。普通にツクヨミくんが戻ってきてくれたので、ゲイツくんも戻ってきます。これで我が魔王トリニティを組めますね。

あとはクジゴジ堂に戻って、そこにウオズも加わったことを確認したら今回は終了です。

——やあ、我が魔王

よし！ たまに白い方のウオズも生えてきたりするんですが、今回はそんなことはなかったようです。チャートがさらに崩れるなんてこともなくてよかったです。

では、今回はここまでとなります。ご視聴、ありがとうございました。

Part 14

そろそろ先に確認できたランダムイベントも少なくなってきたがバさえなければロスなんてなくなるはずなRTAはーじまーるよー。まあ、そんなことを言った直後から必須となるランダムイベントが発生するわけなんです。

今回必須となるランダムイベントは海東大樹が登場することです。奴が召喚されるとロスにはなるのですが、それでもここまでやってくるのには多大なランダムイベントによる邪魔を華麗にロスなく（ロスがないとは言っていない）潜り抜けてきた成果なのでもう一度やり直す気にはなれません。というわけで一番ミスの少ない『海東によるライドウオッチ奪取からのトリニティウオッチの生成』を選びました。他の走者はもつと攻めたチャートを走ってもいいのよ？

さて、説明に戻りましょう。現れた海東大樹がライドウオッチを全て奪取していきましました。一体どこに持ったんでしようかねあれ。取られてしまいました。取り返さないわけにはいきません。なので、唯一ミライドウオッチを取られていない黒ウオズに取り返してもらいましょう。

今RTAでは初めてのデイエンド戦です。ということ、まずは彼の戦い方をおさらいしておきます。基本はデイエンドライダーによる銃撃。ある程度の時間が経つとカメンライドでサブライダーたちを召喚してきます。なので、それよりも先にフューチャーリングキカイになってクレーンアームでライドウオッチを奪い返しませう。時間はだいたい3分が限度でしょう。それ以上はカメンライドで召喚されたサブライダーによって邪魔されるのでリセットです。

奪取に成功した場合、海東がバロンとナイトを召喚して足止めからの懐かしすぎる安定のインビジュアルによる逃走を行うので、そこで戦闘は終了です。取り戻したウオッチを確認してからツクヨミくんによつてもたらされた情報に従ってアナザーライダーの元に向かいましょう。

ちなみに、今回は運がいいことにゲイツライドウオッチも戻ってき

ました。戻ってきてないのはゲイツリバイブ二つとジオウⅡの三つですね。

さて、そこらへんの写真館にいるアナザーブレイドとの戦闘ですが、今回に関しては戦い方を気にする必要はないです。それというのも、今回は初手で相手が逃げるからです。ジオウⅡもゲイツリバイブも、ましてやブレイドライドウオッチもない以上は今倒すのは不可能なので、逃げるアナザーブレイドを追いかけてはいけません。

このタイミングで、ちゃんとウオズとゲイツくんを二人で組ませてライドウオッチ捜索に向かわせましょう。二人の間の好感度を多少でもあげるためですね。奪った犯人はわかっているのです。あとは勝手に取り返してくれます。ちなみに今回は発生しませんが、『仮面ライダーになれない状態のゲイツくんと、そもそもドライバーすら持たないツクヨミくんを一緒に行動させる』のはバッドエンドにつながるの、決してしてはいけません。ゲイツくん洗脳ゲイツリバイブエンドにたどり着きます。

ここで二手に別れたことでゲイツくんたちか、それとも我が魔王を操作するのかのどちらかを選ぶ必要がありますが、迷うことなく我が魔王を選びましょう。そちらが話の本筋ですので。

……うーん、でもちよつとだけゲイツリバイブがやってきて白ウオズのところに半分仮面ライダーウオズの力が残っているのも気にかからないわけではないんですよ。ちよつとだけ覗いてみましょうか。

——ウオズ、ウオズの元にやってきて仮面ライダーウオズの力をかけるの決闘を開始する。

どっちがどっちのウオズだ。

おっと、少々言葉遣いが荒くなりましたね。……見ている限りでは黒ウオズが向かったようです。ですが、ちよつといいかもしれませんが、ここはデイエンドから白ウオズに渡されているはずのゲイツリバイブライドウオッチとジオウⅡウオッチを返してもらおうとしま

しよう。

白ウオズによる我が救世主としての勧誘がゲイツくんに行われま
す。しかし、ゲイツくんが今更そんな言葉に乗るわけもなく、白ウオ
ズの未来に辿り着く可能性はもうほとんどありません。なので、白
ウオズはほとんど諦めの境地に入りながら黒ウオズとの戦闘に入り
……つて、あれ……？

なんでこのタイミングでジオウト
リニティライドウオッチが生成さ
れるんですかあ

いえ、別にいつ生成されてもいいです。というか『ジオウII、ゲイ
ツリバイブ、ウオズ』が揃っている時点でいつ生成されてもおかしく
はなかったんですし。というか、この白ウオズって『我が救世主の願
いに従って自分たちとは違う未来を作る』ことが目的だったはずなの
に、なんで諦めの境地に入っているんですかね。もしかして、この世
界ではトリニティウオッチが使用できなかったせいで白ウオズの未
来に辿り着いたりしたんでしょうか。それなら、このウオッチの生成
で諦めの境地に入ってもおかしくはなさそうですし。

さらにそこにゲイツくんと海東が戦うようです。これも白ウオズ
のノートで導かれた未来なのでしょう。まあ、こちらは今は放置で
いいです。我が魔王の方に戻りましょう。

さて、そんなことをやっているうちに我が魔王はアナザーブレイド
を発見していたようです。初っ端タイムブレイクを使用して写真館
の人たちから引き離しましょう。罷り間違ってもガードベントされ
ることのないように。

引き剥がしたら、デイケイドアーマー鎧武フォームになりましたよ
う。鎧武アーマーに普通に変身するよりもわずかに時間がかかって
しまいますが、ここまで来たので安定を取りましょう。カチドキにな
るので防御力が向上します。

ライドハイセイバーでブレイドを選択して攻撃すると、特攻が追加

されて相手に大きなダメージを与えられます。これによって『アナザーブレイドの体力を半分まで減らす』という条件を満たすのが容易になるので、先ほどのロスは十分に取り返せますね。

条件を満たすとカリスイベントが始まります。カリスが登場してスピニングダンスによつてジオウが吹き飛ばされましたが、防御力の向上もあつてかそこまで大きなダメージはなさそうです。さらにそこに本物のブレイドまでやって来たものだからもう大変。我が魔王を無視して戦いを始めました。

ここはオートバトルですので、今のうちに少しは休んでおきましょう。基本的に友情出演のレジェンドの戦いはオートです。

.....

.....

.....

——ライトニングソニック

おつと、そろそろ終わりそうですね。この戦いでアナザーブレイド……剣崎一真にとっては自分によく似た怪人が誰なのかを理解します。とりあえず、彼を連れてクジゴジ堂に戻りましょう。

クジゴジ堂に戻ると彼らの因縁について教えてもらえますが、知っているのでスキップです。そもそも初期の平成ライダーはこの辺りの暗い話が結構出て来ますからね。いちいち気にしては話になりません。感情的になるのは終わった後にしておきましょう。

——戦うと、どうなる？

知らんのか？ 世界が滅びる。

ゲイツくんの質問に対してそんな答えを返してクジゴジ堂から出

て行った剣崎一真は、ジョーカーとしての性質と白ウオズのノートによつてカリスと戦うことになりましたが、それについては今はどうしようもありません。

とりあえず、写真館が襲われているということを見抜くのと同時に、黒ウオズもゲイツも過去のことを引きずっているということ、我が魔王に突きつけてもらつて、トリニティに入れる布石を作っておきましょう。

トリニティの布石を作つた後、剣崎一真たちの方を見ていなかった場合、我が魔王視点突如出現したねじれこんにやくの元へと向かいます。その道中で出会つた白ウオズとの会話を行いましょう。

このタイミングで彼から奪われた全てのライドウオッチとトリニティライドウオッチをもらわないといけないのですが、ここでカリスマ値と話術の合計値が足りていないともられません（四敗）。今回は話術をあげていないので、カリスマの値だけで白ウオズを感服させましょう。

よし、もらえましたね。ちなみにここで1%以下の確率で白ウオズからギンガミライドウオッチがもらえるのですが……さすがにそれまではなかったようです。ギンガイイベントが発生することを祈りましょう。私はデータの改竄は恐ろしくて行えません。

——ついでだ。これも黒い方の私に渡しておいてくれ給え。

おつと、おまけに黒ウオズのためにウオズミライドウオッチももう一つくれました。これでようやく仮面ライダーウオズも本来のスベックを出せますね。もしももらえなかったら仮面ライダージオウトリニティになった時に我が魔王、ゲイツくん、黒ウオズ、白ウオズの四人で融合することになるところでしたよ。……いや、ゲイツリバイブも来てるわけですし五人で融合するのかな？

さて、我が魔王もアナザーブレイドのいる場所にまでたどり着きました。ねじれこんにやくは後でどうにでもなるのでアナザーブレイドにだけ集中しましょう。

さて、初登場したジオウトリニティ、その誕生を『どうやら、きつと、多分』の曖昧な言葉を使用してウオズが祝っている間にそれについて説明しておきましょう。これは3人が融合しているというのが曲者です。3人の動きを再現しないといけないということで中の人にはとても負担がかかるフォームなので、それに従ってかこのゲーム内においても一、二を争うスタミナの消費量となります。ちなみに他の候補は電王編のNPCとなる電王クライマックスフォームとアギト編のアギトトリニティフォームです。

ですが、それを補ってあまりある戦闘能力を持つのが特徴でもあります。ゲイツくんやウオズと行動を入れ替わることによってトリツキーな動きを可能とし、(戦い始めてそこまで時間が経ってない我が魔王にすぐに負けるようになる程度の)戦士なゲイツくんたちの、我が魔王では対応できないような攻撃への対応能力が魅力的。

使い方がわかっていればかなり強力なキャラであることは間違い無いですね。

ジカンザックス、ジカンデスピア、サイキョージカンギレードの順番に攻撃を当てたら、すぐに必殺技です。これは事前操作が多いので、確実に仰け反らせてから使用しましょう。トリニティタイムブレイクバーストエクスプロージョンです。長いですね。これを放てば、この一戦はその時点で勝利となります。

アナザーブレイドに取り込まれたカリスウオッチとブレイドウオッチをもらったところで今回の章における継承は終了しました。あとはクジゴジ堂に戻るだけです。悲しいことに白ウオズの消滅シーンはスキップなんだよなあ。

お………？

なにやら海東が接触して来ました。こんなシーンありましたっけ？ ……ちよつとだけ気になるのでスキップはしません。え？ 口ス？ 知ったことでは無いです。後で取り戻せるはずなのでそこできっかりと取り戻しましょう。

きやああああ我が魔王うううううう!!!

……ふう、スッキリしました。我が魔王から我が魔王への祝電。こ

れは素晴らしい、歴史に残すべき出来事ですね。海東とかいうディケイドのストーカーも帰って行ったので、これでしばらくは安泰です。いや、安泰だとライドウォッチ手にいれられないので、アナザーライダーの事件程度の危険はあって欲しいんですが。

さて、そういうわけで我が魔王から手に入れていないウォッチについての情報ももらったので今回はここまでとなります。ご視聴、ありがとうございました。

Part 15

テレビ版ではめちやくちや待遇が良かったような気がするアギト編とかいう名前の、ウオズが頑張って考えて来たトリニティの口上が初披露されることになるRTAはーじまーるよー。

まず最初に今回トリニティに進化したことでまたタイマーが進化したことを告げておきます。これからはジオウウオツチ、ゲイツウオツチ、ウオズミライドウオツチの三つで計測していきます。

さて、今回まずすべきことはテレビです。何においてもテレビを確認しましょう。集めたライドウオツチに関しての確認はスキップします。テレビの確認をしないと、アナザーライダーの情報を明日の朝刊でないと手にすることができずに1日分のロスになってしまいます。

警察が襲われているという点しか情報がないので、警察の装備であるG3ユニットの演習場に向かうとアナザーアギトがそこで人を襲っているので3人同時変身をして迎撃に走りましょう。我が魔王がΩをオメガと読めたことに感激しつつも、あれはアギオメガではなくアギトだということをウオズに教えてもらいましょう。

本家本元のアギトとはまるで似通ったところが存在しないという珍しいアナザーライダーですが、あれがアナザーアギトであることには変わりありません。木野薫さんではないです。とりあえず『アギトライドウオツチを手に入れる』ことが目的ではありませんが、だからと言ってアナザーライダーを逃して良いわけではありません。ここは初手からジオウIIになっておくのが正解と思われれます。

アナザーアギトは増えるので、バト^無ライド^双・ウオー^ゲーのような様相を誇ることになりました。現場にいるG3の数だけでも雑魚戦闘員ぐらいはいるので連鎖的に増殖するアナザーアギトは基本倒しきれないものだと思って良いでしょう。今回の戦いはだいたい10体程度のアナザーアギト(増殖体)を倒すことに成功すればそれで終了となります。範囲攻撃となるジオウサイキョウで倒すのがおそらく一番早いのでそれを使いましょう。

終了した後はイベントですが、そこもスキップしましょう。ツクヨミくんがかつて我が魔王には時を操ったことで文句を言つたくせに今度は自分がタイムジャツカーみたいなことをし始めただけなので。停止させた後はウオズがどうにかしてくれませう。ウオズが倒したことによつて、タイムジャツカーツクヨミの存在に驚いたスウォルツはアナザーアギトを引き連れて帰ってくれるので、こちらにも戻ることにしてしましよう。

戻つたら、我が魔王もゲイツくんもツクヨミくんが時を止めた現場を見ていなかったなのでそれに関しては放置で話が進みます。仮面ライダーアギトを探す必要性がある中、自分たちが何をすべきなのかということですが、これに関してはそこまで悩む必要性はないです。アナザーフォーゼの事件の時のことを思い出しましよう。あの時、『仮面ライダーという都市伝説』については聞いたはずですよ。調べてみればもしかしたら何かあるかもしれません。特に、ただの『アギト』ではなく『AGITΩ』です。結構特殊な形のアギトなので見つかる可能性はそこまで低くないと思います。

調べた結果、AGITΩというレストランが発見できました。そこに向かつて仮面ライダーアギトに繋がる何かしらの情報がないかを調べてみましょう。

——仮面ライダーアギトさんはいますか？

……

……

……

——王様になるためにアギトに会わないといけなない。

はあ（ため息）。

我が魔王、さすがにそれでは仮面ライダーではない人間にアギトのことなんてわかるわけが……。

——アギトって翔一くんのこと？

わかるのか!?

……いえ、少々取り乱しました。ですが、別にわかることはおかしなことではないですよ。仮面ライダーアギトでちゃんと見てますし。ですが、ここまでどう聞いても電波としか思えない不思議発言に對しても平然としていられるあたりなかなかすごい人です。

ここで得られる情報は『仮面ライダーアギトは日本にはいない』という情報だけ。この後、海外にいることを聞いた我が魔王とゲイツくんは普通の友人のように海外にまでタイムマジンで行くか否かという会話をしている、我が魔王が普通の友人と行うような会話（規模は問わないものとする）をしていても感動的ですね。だが無意味だ（スキップ）。

さて、そんなことをしている間にか電話番号を交換していたウオズからアナザーアギトが現れたということを知ることができました。というわけで駆けつけましょう。

駆けつけたらジオウⅡ、ゲイツリバイブ、フューチャーリングクイズで戦うことになりましたが、私が操作するよりも先に我が魔王がジオトリニティになります。なのでここからは増殖するアナザーアギトをジオウトリニティでちぎっては投げ、ちぎっては投げを繰り返しましょう。ウオズの寒い祝いはスキップでいいです。

途中のガードチェイサーを切り裂くというのは決してミスしてはいけません。ここで入力ミスをするロスになりますからね。

今この場には増殖の大本となる本体がないために完全撃破は不可能です。なのですが、しばらくの間戦っていればアナザーアギト（増殖体）がどんどん戦闘区域から消えていきます。なのでそれを追いかけることになります。ここでもしも撤退したからと追いかけない場合、仮面ライダーアギトの力の入手は不可能となってしまいますので、決して視界から逃してはいけません。

追いかけて行くと、そこではツクヨミくんと仮面ライダーアギトが

います。悲しいことに我が魔王側を操作していたので見ることはできませんでしたが、ここに至るまでには『仮面ライダーアギト』本編オマージュと思しき変身シーンや、ストームフォームとフレイムフォームの活躍がありました。気になる人は自分でプレイしよう！

さて、アギトが力を奪われた後はツクヨミくんが再度の時止めを行います。そんなことをできるなら、津上翔一が力を取られる前にやって欲しいですね、ペっ。今の状況下はどちらにとってもツクヨミくんが謎すぎるので、一旦は仕切り直しということなのか、それともウルルたちの目的を達成したから問題なしなのか、とりあえず向こうは退いてくれました。

とりあえず戦闘は終わったのでクジゴジ堂に戻りましょう。この場でこうしても建設的な意見など出ません。クジゴジ堂に戻ればツクヨミくんが悩みに悩んで脱走しました。しかもそのタイミンで我が魔王の……正確には津上翔一の元に尾室からアギトが暴れているという連絡が来ます。ツクヨミくんは津上翔一に任せて、我が魔王とゲイツくんにはアナザーアギトのところに向かってもらいましょう。

アナザーアギト戦ですがそこまで気にする必要はありません。数だけが多いですが、途中でツクヨミくんの方に切り替えてイベントをスキップすることで全ての戦闘を終わったことに変えられるからです。戦闘が始まる前に交代した場合はツクヨミくんを発見するところから始めないといけません、途中で変更した場合はそういう恩恵があるので存分に活用しましょう。

ツクヨミくんのイベントをスキップすると、我が魔王の元にツクヨミくんもウオズも駆けつけた状態から始まります。今からウルルが引き連れたアナザーアギト率いるアナザーアギト軍団の元に向かうことになるのですが、馬鹿正直にそこに突っ込む必要はないと思うのです。

というわけでちよつと遠距離から一発、ジオウサイキョウとゲイツリバイブの“のこ”の一撃を放ってからそこに降り立ちましょう。全体的に体力ゲージが減少した状態から始まります。

ここで我が魔王、ゲイツくん、ウオズのどれを操作するかを選ぶのですが、普通に我が魔王一択です。選ばなかった二人は援護に徹してくれるのですが、もともとこれが『仮面ライダージオウ』という作品であることも加味して我が魔王を操作することを多くするためか我が魔王のみ援護の形が残りの二人の『多数を一気に蹴散らす』とは違って『強い奴から順に蹴散らす』形になっています。テレビ版ではシノビトリバイブ疾風でやっていたアレですね。体力が減っている以上、相手の強弱はそこまで大きな要素にはなりません。普通に我が魔王を操作しましょう。

我が魔王を操作しているとG3が乱入して来ます。そのG3は津上翔一であり、彼がやられたら一貫の終わりなのですが、そちらはツクヨミが援護している関係でそこまで気にする必要はないです。むしろ、そちらを気にしていてアナザーアギトに逃げられるような事態になった方が大変ですので、疾風とシノビで切り拓かれた道をディケイドアーマーファイズフォームで疾走して、ヘイセイバーのアギトでアギトライドウオツチを奪い返ししましょう。

奪い返したら津上翔一にアギトライドウオツチを渡して仮面ライダーアギトに変身してもらいます。アギトがNPCとして参戦してくれるので、こちらにもノリに乗ってトリニティになりましょう。向こうも合わせてトリニティフォームになってくれます。

アギトがトリニティフォームになってからのウオズの祝福は我が魔王による中断を早めに発生させることで省略することができまから省略しましょう。ここまででいろんなガバがあつたせいで、タイムを短縮できる要素は一つでも多く稼いでおきたいです。

よし、戦闘開始です。このアナザーアギト戦は有志の手によって最短ルートが発掘されているのでこのRTAでも当然それを使用させてもらいます。

まず、戦闘開始してからしばらくの間は適当に戦います。この間、アギトの動きに注意を払っておきましょう。基本的には彼の動きで最短ルートの道筋が手順通りに進んでいるのかがわかりますからね。

30秒が経ったあたりで紺色のシャツを着ているアナザーアギト

(増殖体)に対してサイキョージカンギレードを突き刺して、そのままジオウサイキョウで周囲一帯ごと切り裂きます。その一撃でのキル数が10を超えていたなら成功です。失敗していたらあとはもう成り行きで一体一体確実に倒して行くしかありませんが……。

……

……

……

ふう……よかった、今回は成功のようですね。これによって全ての条件が整いました。

もうこうなればあとはどうやって倒すのかなんて気にする必要はありません。どこでもいいので適当に必殺技を打ちましょう。アギトもこちらに合わせて必殺技を放ってくださいから。

そうすると、ファンボーイか何かなのかアナザーアギト(本体)がこちらの必殺技の着地点に向かって他の個体を押しつけて向かってきてくれます。二人分の必殺技に相手は耐えきれず爆発四散するので、それで今回は終わりとなります。

今章の終わりとともに津上翔一に諭されたツクヨミくんのスキルに時止めが追加されますが、これに頼りすぎると最終的にレベルが足りなくなるので使用はほどほどにしておきましょう。無論、使えるタイミングではどんどん使って少しでもタイムの短縮に走りたいところですがね。

では、今回はここまでとなります。ご視聴、ありがとうございました。

幾ら何でもライドハイセイバー使いすぎだとか、そろそろ面倒になつてきたなあとか思い始めたせいで自分に対して縛っているはずの桐矢京介と桜井侑斗のデータが共用なことを利用したバグ技を使用することもやぶさかではなくなつてきたRTAはーじまーるよー。

今回のアナザーライダー……というか仮面ライダーに関する情報を持つてきてくれるのはおじさんです。我が魔王の誕生日を如何にして祝うのかを考えているウオズ、それと筋トレをしているゲイツくさんたちのところに我が魔王の小学校の頃の卒業アルバムを持つてきてくれます。そこで『鬼になりたい』と言つていた少年がいることを確認。その鬼の名前が響鬼であることから仮面ライダーに関する情報を得られるのではないかという期待が出ましたね。

では、我が魔王の祝い方で悩んでいるウオズ以外で、我が魔王の同級生だったという鼓屋ツトムという人物に会いにいきましょう。その途中でいつものようにアナザーライダーと遭遇しますのです。

——ジオウ、響鬼ウオッチがないんだ。ジオウIIでなければ倒せませんぞ

ゲイツくんのありがたい忠告ですがここは響鬼ウオッチを探すためにも倒しきるわけにはいきません。そもそも今の我が魔王の目的には『アナザーライダーを倒す』以外にも『ライドウオッチを集めてオーマジオウを超える』というのもありますから。合法的にライドウオッチを探せるこの機会を逃すわけにはいきません。

というわけで、我が魔王にはテレビ版に合わせてデイケイドアーマークウガフォームになつてもらつてライドハイセイバーで響鬼を選択してアナザー響鬼を殴ってもらいましょう。ハイセイバーは無限の可能性を秘めた武器です。

アナザー響鬼は基本的に炎を纏つてリーチを伸ばした音撃棒で攻撃してきます。ハイセイバーで龍騎を選択した時と同じようなりー

チになるので、十分に距離をとって戦いましょう。基本的にはジカンギレードの銃モード、ジカンザックスの弓モードで相手をのけぞらせているうちに近づいて、特攻の乗った攻撃を叩き込むのが吉です。

この戦いでは基本的に倒すことは不可能……というか『ライドウオッチを受け取る、あるいは本家ライダーとの共同戦線』という状態にならない限りは倒せません。なので、できる限り早めに戦いを終えられるように頑張りましょう。今回は轟鬼がやって来ることで止まります。

……

……

……

あの、すみません。鬼の不始末なんですけど、鬼がつけるって言うての登場はまだですかね？

これから先のアナザーライダー戦……特にラストのスウォルツを相手にした時のことを考えて今のうちに操作の練習をしようとしたのが裏目に出ましたね。相手にはもうこれ以上のダメージを与えないというレベルにまでダメージを与えた関係で、相手が一切の攻撃に仰け反ることなくこちらに突進してきています。

ふむ。

あああああやめて今からリセットは嫌なの早く助けにきてよ鬼さん死にたくない死にたくないここに至るまでに一体何回のリセットとガバとチャートにないオリジナルの行動を行ってきたと思ってるんだゲイツくんが一体何回悪堕ちヒロインみたいなことになって我が魔王を殺してきたのかお前は知らないだろあああ嫌だ嫌だお願い近寄らないでナマ言っつてすみませんでしたお願いだから殺さないでえええええええええ!!

——鬼の不始末は鬼がつけるっす。

ぺつ、遅いんだよお前。レジェンドだかなんだか知らないけど、遅れてやってきて自分だけ手柄を持って行こうっていうのかい。どうぞどうぞ、ライドウオッチだけ置いてアナザーライダーを撃破してください。

さて、そんなことを言っている間に轟鬼とアナザー響鬼との戦いが始まりました。これはオート戦闘なので今のうちにトイレに行っておきましょう。レジェンドの戦闘はスキップできません。今回はレジェンドが必殺技を放ち始めたらそこが戦闘終了の合図です。スキップできるようになっているのでスキップしましょう。

スキップしたらそろそろ響鬼を名乗る仮面ライダーゼロノスがやってきてくれるはずなのでそれを待ちましょう。ここで桐矢京介と桜井侑斗のデータが共用であることを利用したバグによって電王ウオッチを手に入れることも可能ですが、試走の最中に頼った挙句本走1回目にミスしてデータ全消しが起きたので今回は使用しません。

ライドウオッチに関してはそこまで躊躇せずに渡してください。さらに実はこの響鬼イベントに関しては良いイベントという他ありません。このイベントは我が魔王を含めた全員のステータスを地味に上昇させてくれますからね。特にスタミナに関しては太鼓を叩いているだけなのにとっても上昇します。

特訓の最中にツクヨミくんからの連絡が来ます。アナザー響鬼を轟鬼が相手にしているとのこと。そこに駆けつけたらすでに轟鬼は変身が解除されているので、パワーに期待してデイケイドアーマー鎧武フォームに変身。ゲイツくんが変身したゲイツリバイブと共に戦い、ハイセイバーを使用してのダメージを期待しましょう。

基本的には普通に攻撃して問題ないです。何があろうとウオッチは壊れません。変身を解除させることにさえ成功すれば、我が魔王も変身を解除して彼に近づきます。そこにウールくんがアナザーウオッチを再起動させるので、我が魔王は下がりました。桐矢京介が来て戦ってくれます。

さて、彼が京介変身態になったところで彼は響鬼ではないことを確認しておきましょう。たまに前提をぶち壊すように桐矢京介が変身

した姿が装甲響鬼だったりしますから。我が魔王も、フォーエバーイベントがあったおかげで響鬼の姿は知っていますから問題なく判断できます。ちなみにもしもそちらだった場合はロスです。すぐに取りセットしましょう（十敗）。

何か事情はあるのですが、我が魔王とゲイツくんからすればこちらを騙して辛い修行までさせられたわけですからせめてその事情くらいは聞きたいところなのです。なのですが、ここに関してはわざわざ聞く必要はないのでスキップです。

さて、ここからがステータスによる短縮が可能となる部分です。しっかりと短縮していきましょう。

まず最初に、我が魔王には仮面ライダードライブこと泊進之介レベルの推理力を発揮してもらいます。

スキップしたシーンには轟鬼に桐矢京介が叱責されるシーンがあるのですが、そこからは『桐矢京介が鼓屋ツトムの師匠』であることがはっきりとわかりました。

そして『そんな桐矢京介が響鬼を名乗って目の前に現れた』ということと、鼓屋ツトムが小学生の頃の卒業文集に『師匠の響鬼さんのようになりたい』と書いていたことから『桐矢京介が鼓屋ツトムの前でも響鬼を名乗っていたこと』はだいたい察しがつきますね。

卒業文集に書けるぐらいに尊敬していた相手に、実は騙されていたなんて絶望するには十分なことです。

とはいえ、ここまでの考えもただの推測でしかありません。なので、もう一人の知り合いである鬼……つまりは轟鬼に聞きにいきましょう。クジゴジ堂で祝福について悩んでいるウオズも連れて行かないと、悩みが晴れずトリニティに変身できなくなるので忘れてはいけませんよ。

おっと、それよりも先にやることがあったのを忘れていました。これを忘れたら短縮失敗になるところだったので、忘れていたらリセットするところでした。説得です。

この説得は基本的に我が魔王のカリスマの値が一定以上であれば成功しますので安心していいでしょう。ここに来るまでのほとんど

をカリスマと身体能力に振っているので問題ないです。

基本的に説得内容はテレビ版のものと同じです。同じですが、このタイミングでの説得となると桐矢京介と鼓屋ツトムの関係性については本人からの話を聞けたわけではないので確信とまでは至らないのですが、先ほどまでの推理は全て会話にしていたので問題ないです。否定されていないので、それを是として語りましょう。

ただし、このタイミングでの説得には本来は使用しなかったゲイツくんも使用します。特訓の最中に『王様になりたい』と語ったことも合わせて、ついでにオーマジオウになる未来についても語って、その上での説得です。オーマジオウになったら……つまり自分が道を間違えた場合には止めてくれる友達がいる、と言うこと。それはとても重要なことであり、師匠ならば道を間違えた弟子を体を張って止め、正しい道へと導くということ。それができるのは本当の、つまり桐矢京介の師匠である響鬼ではなく、彼にとつての響鬼である桐矢京介ただ一人だけだという事も合わせて。

カリスマの値もあつて、この説得には成功しました。あとは我が魔王の誕生日を祝おうとしてアイデンティティを失っているウオズの復活だけです。これに関しては彼を轟鬼のところに弟子入りさせれば全部完結です。どうにかしてウオズをそちらに入れてもらいましょう。さすがは我が魔王。部下の状態にもしつかりと気を配っていますね。

さて、そんな諸々をしているとアナザー響鬼も出てきたことがわかりました。ウオズ以外の皆で向かいました。どんなタイミングで行こうと、最終的な戦いだと判断された瞬間にウオズがやって来るので。最短の場合は時間的なことを考えるとウオズが弟子入りした瞬間には答えにたどり着いて悩みを払拭しているのが笑えます。

到着するとテレビ版と同じような桐矢京介の思いの独白が始まります。ここもスキップしましょう。悲しいことなんです、これRTAなんですよね……。

スキップが終わると戦闘が開始します。NPCとして京介変身態改め京介変身済み響鬼が追加されましたが、基本的には彼はそこまで

目立った活躍ができません。京介変身態には強鬼という名称がついていたのですがそちらの姿でも活躍できず、響鬼……京介が変身しているこの場合は響鬼きょうきとでも呼ぶべきでしょうか？ まあそうなってもそこまでの活躍が与えられないのは悲しいことです。活躍が見たい方はテレビ版を見ましょう。

今回のNPCである響鬼の最も役に立つ部分は『必殺技で相手を拘束できる』という点です。これにより今回の戦闘でのみ『相手が拘束されたタイミングでトリニティタイムブ레이크バーストエクスプロージョンを叩き込む』ということを連発することができます。敵が死ぬまで放てば必殺技です。アナザー響鬼が死ぬまで放ちましょう。

終わると感動的な師弟の会話ですがスキップしましょう。聞いていてはロスです。その代わりに我が魔王の誕生日は必ず祝いますよ。これはロスですがロスではありません。ウオズの嗜みです。祝わなければRTAを走るウオズを名乗ってはいけません。その証拠に、これまでの別のルートのRTAを走っている極僅かなウオズたちは全員このシーンを飛ばしていませんから。

我が魔王の誕生日に滂沱したので今回はここまでとなります。ご視聴、ありがとうございます。

Part 17

ここでランダムイベントが発生するかどうかでこれから先のゲイツリバイブの出番とこのRTAのタイムに大きな変化が発生することになるけどもうこれ以上通して走るのはそろそろ疲れてきたから一発で成功して欲しかったRTAはーじまーるよー。

さて、今回のイベントは我が魔王の初恋についての話から始まります。なので、まずは初恋の味を思い出すおじさん謹製のアップルパイを食べるシーンをスキップしましょう。悲しいですが、我が魔王の初恋に関してもスキップです。初恋についての話の後にやってきた弁護士（北岡ではない）が忘れていった物を届けに行きましょう。そこでようやくアナザライダーとの初遭遇です。

今回のアナザライダーことアナザキバですが、一対一で相手をするには面倒臭いランキングの上位に入ることが検証班（一人）の手によって暴かれています。本物のキバにも力を貸していたアームズモンスターの三名がいるために相手の武器が変幻自在に変わります。たまにマンホールを持ったウオズも出てきますが、その場合はリセットです。存在そのものを認めてはいけません。それら全てに対策は取られています。問題は相手の切り替わりにこちら都合させられるか。私は合わせられません。そのため、だいたいの人たちは最終戦の『アームズモンスターがゲイツくんとウオズによつて引き離されている』という状態で初めて勝てます。

さて、我が魔王が負けてしまいました。これも全て私の操作技術が未熟なせいです。だが私は謝らない（ちゃんと後で謝りました）。これにより我が魔王にはアナザキバとの戦闘の時にのみ『初恋の人？』というデバフがつかます。

ここからは最初のランダムイベント発生点があるので、スキップすることができません。アナザキバの変身者とタイムジャッカーオーラの会話です。ここで紅音也が乱入したらリセットです。変な方向に持っていかれることになるのでね。完全にサービスでしかないので、出現しないように祈りましょう。ちなみに次のシーンではガ

ルルこと次狼が『世界一不味いコーヒーになった』などと言っていますが、そこでも運が悪ければ時空の歪みによってエボルトが出現します。しないように祈りましょう。

……
……
……

よし、出現しませんでしたね。さて、次狼が時の扉で未来のビジョンを見たと言っていますが、この時点では必須となるランダムイベントの発生かどうかはわかりません。もしかしたらカブト編で降ってくる隕石でしかない可能性もありますからね。

そんなことをしている間に、我が魔王はあの人以前に捕まった『北島裕子』という人物だということを突き止めることに成功しました。これはもう自分の裁判に関わった連中を皆殺しにしないと気が済まないタイプでしょうね。

ツクヨミくんのおかげでアナザーキバの裁判の関係者がどこにいるのかを知ることができました。その人たちを探しましょう。発見したらだいたいの確率でそこにアナザーキバもいます。戦闘に入る前に珍しく女のドロドロとした部分をむき出しにしたオーラも見られます。ちなみに、戦闘になったら何がなんでもアナザーキバにマンホールの蓋だけは持たせてはいけません。こちらの敗北が決定します。

今回の戦闘は我が魔王が気分的な問題で変身できないのでゲイツくんを使用してのものと異なります。正直な話彼は特に躊躇する理由もないので、最初からゲイツリバイブ二本差しで変身しますので、負担のかかりすぎによる体力低下だけは気をつけてください。疾風の速さと剛烈の破壊力を併せ持ったゲイツリバイブなんて反則ですよ。まあ、それでもウオズギンガファイナリーの方が強いのですが。

とは言っても、キバウォッチを持っていない現状では倒すことは不可能です。仕方ないのでアナザーキバとアームズモンスターによる

トリツキーな動きへの慣れを身につけておきましょう。慣れてもどうしようもないです。そもそも慣れたぐらいでどうにかなるなら通しの試走を走っている私が失敗するはずがないです。

さて、アナザーキバとの戦闘を終えるとゲイツくんは変身を解除させられて我が魔王にも戦えと言い放ちます。当然の話ですが、我が魔王だってアナザーライダーを放置するわけにもいかないのでそれに促される形で変身しようとするのですが……………。

いよっし！ 必須となるランダムイベントが生成されました！

これでもう今回のRTAにおける必須ランダムイベントはチャートが正しければ全て取得することに成功しましたので、これから発生するランダムイベントは全てロスです。発狂しましょう。

今回発生して欲しかったイベントの名前は『ギンガ襲来』です。このイベントはその名前の通り仮面ライダーギンガが襲来するイベントなのですが、アナザーキバとの戦闘の最中に隕石が襲来するところからイベントがスタートします。

隕石の中から仮面ライダーギンガが登場しました。ここからは一番最初の戦闘でしっかりと倒しきりましょう。何があってもジオウトリニティになつてはダメです。人手が足りませんから。

さてジオウII、ゲイツリバイブ、仮面ライダーウオズフューチャーリングシノビでの戦闘です。基礎スペックが最も高いゲイツリバイブで、と行きたいところですがギンガが謎超能力を使うので使っているだけで体力の減るゲイツリバイブでは近かせてもらえなかった場合に地獄を見ることになります。ゲイツくんとウオズには速度で翻弄してもらい、三方向からの同時トリプルライダーキックを叩き込みましょう。そうすれば倒せます。

倒したところでギンガミライドウオツチを取得できません。今回はタイムジャッカーとの共闘ルートに入っていないのでスウォルツに取られたりすることもありません。なのでウオズとスウォルツの取り合いもカットできて、スウォルツから奪えずにリセットなんてこともする必要がないのです。

さて、かなり無理矢理に登場してきてかなりあっさり退場していった仮面ライダーギンガを倒し終わったところで、アナザーキバが冤罪だと言っているあの事件、その復讐をしようとしているのなら、その真実を探ってみるのはどうかというツクヨミくんからの意見が出ました。もちろんYesと返して、ゲイツくんには過去に、ツクヨミくんには彼女の恋人だったはずの哲也という人物（名字は沢木ではないはず）を探してもらいましょう。罷り間違っても津上翔一のところに行つてはいけません。おそらく海外に行つてしまうことになり、カブトライドウオッチを持って帰ってきますが、正式な継承ではないので許されないことになります。

真実を探るまでの間、アナザーキバの破壊活動を止めましょう。とは言つても『過去に行つてあの時の犯人を見に行つてる』なんてどう考えても頭のおかしい妄言です。なので説得（物理）にしかありません。ウオズと一緒に戦いに行きましょう。

この戦いのタイミングで上手いことアナザーキバとの戦いをウオズに押し付けながら、我が魔王にはアームズモンスターを食い止める側に向かつてもらいます。ここで次狼と接触できないとキバライドウオッチをもらえませんか。

アームズモンスター達との戦いは、基本的にはアナザーキバが消えただけなので厳しいことには変わりありません。が、同時に次狼はこちらを見極めるために戦っているだけなので、しばらくの間戦闘すれば勝手に我が魔王を認めてくれるので戦闘は終了となります。ウオズの元に合流しましょう。

ウオズと合流すると、ゲイツくんとツクヨミくんもやってきます。アナザーキバの冤罪というのが嘘だということが発覚して、この場で決着をつけるのかと言わなければならない状況になりますが、ギンガを倒したという事実を知っているからか面倒だと思つて一旦退いてくれます。追いかけるのもアームズモンスター達が邪魔するので、一旦クジゴジ堂に戻りましょう。

クジゴジ堂に戻るとツクヨミくんが聞いてきた情報とゲイツくんが見てきた光景について教えてくれます。彼女が稀代のマンホール

使いであることも知ることができません。ここでライドウオツチなどを置いてあるアイテム一覧が全て埋まっていた場合、彼女に対抗するためにマンホールの蓋を手に入れることができます。いわゆるバグです。これを手に入れるとマンホールで戦わないといけなくなるので決して手に入れないようにしましょう。

色々話を聞くに、どうやら翌日にはかつて彼女が犯した殺人の被害者の恋人は結婚するようです。それを狙って来る可能性が非常に高く思われますので、そちらの護衛に行きましょう。そうしなければアナザーライダーを見失ってしまいます。

さて、結婚式会場にきましたがやはりアナザーキバはやって来ました。マンホールも装備済みです。マンホールは戦士であるゲイツくんに受け止めてもらって、来場者と新郎新婦を守るために変身します。今回、申し訳ないことに我が魔王はそこまで役に立たないので、ウオズに頑張ってもらいましょう。

——祝え！ 宇宙最強ギンガファイナリー！

はい、これで宇宙最強のライダーの力を継承しました。これから先、イベント戦闘やNPCとして登場する時以外はゲイツリバイブの出番はありません。

ここからはもうフルボッコにできます。ライドウオツチを持っていて、初登場補正があるギンガファイナリーもある。これで負ける方が頭おかしいレベルですよ。我が魔王も一応役には立とうと思ってるのかデイケイドアーマーキバフォームになっていますが、正直そこまで役に立つとは思えません。せいぜいがドガバキフォームなのでアナザーキバが引き連れていたアームズモンスター達を回収した程度でしょうか。

アナザーキバはファンガイア……つまりは吸血鬼モチーフの仮面ライダーなのでウオズギンガタイヨウでボコってあげましょう。特に太陽が弱点とかそういうのではないので意味はありませんが気分的にはちよつとだけ早めに倒せる気がします。

はい、倒せましたね。我が魔王がアナザーキバの変身者からの遺言を聞きますがスキップです。オーラによる殺害も完全にスキップです。スキップするとクジゴジ堂にたどり着きますが、やっぱりそこもスキップです。我が魔王が食べる気がないとはいえ、アツプルパイを取ってしまうウオズなんて見たら全国津々浦々のウオズ達がブチギレてしまいますからね。

外に出た我が魔王は最終的に初恋の人ことセーラさんを思い起こさせる人と出会いますが、そこもスキップです。というかあの女性は結局誰だったんでしょうね。何処かで『我が魔王がセーラさんを失ったことに耐えきれずに自分の能力で無意識に生み出したセーラさん（本物）の可能性をにじませる人物だ』なんて考察も見ましたけど。

というわけで今回はここまでとなります。ご視聴、ありがとうございます。ありがとうございました。

選ばれし者なので『RTAにおけるロスがゼロの華麗なまでの世界記録を打ち出す動画をお届けできる』という願いも現実になるだろうと確信しているにもかかわらず、実際にはそんなことにはならない悲しみに包まれたRTAはーじまーるよー。

結構な頻度で降ってくるという隕石についてのニュースを見て、我が魔王がオーマジオウになることへの祝辞として宇宙から隕石がやってきているのではないかなんてことを言っていると、ニユースリポーターが突如ワームに変化しました。……笑えよ。朝の食卓にいきなり怪物を映し出すことになったテレビを誰か笑ってやれよ。多分、子供達のトラウマになって責められてますから。

さて、隕石と怪物ということでもワームについてウオズが説明してくれます。説明してもらえば『仮面ライダーカブトに連なる怪物ならばカブトライドウオツチに繋がるかもしれない』ということから、我が魔王もそこに向かうことになります。……今にして思えば、カブトウオツチに繋がるかもしれないから助けに行くってなかなか非道ですよ。この時点ではアギトや響鬼のようにカブト系列のライダーがこの時代に存在しているとは限らないのに。

その最中、新しく隕石が落ちてきました。ワームがそちらにもいることを考えた我が魔王の手によってゲイツくんとウオズが組まされてそちらに向かうことになります。まあ、当然と言っていいでしょう。ツクヨミくんの時止めとかいうチートスキルは我が魔王の元にあつたほうが生存確率を上昇させられるのでいいですし、もう片方の隕石にはどれだけのワームがいるのかわからない以上、そちらに戦力も割きたい。その辺りを一瞬で考えるのはさすが我が魔王。

さて、今回のレジェンドとの遭遇は我が魔王の方ですのでそちらに集中しましょう。現場にたどり着きはしましたがどれがワームかわかりません。ツクヨミくんからの指示がない限りはどれがワームなのかわからない状況が変化することはないので注意して歩くに止めておきましょう。

さて、普通にツクヨミくんから聞いた情報を元にワームと戦ってもいいのですが、ここは数十秒逃げ回ります。そうすると今回のレジエンドこと仮面ライダーガタック、加賀美新が出現しますので一緒に戦いましょう。そちらの方が早く終わります。

戦闘はもちろんRTA的には早く終わらせなければならぬものなのですが、今回の場合は特に急ぎましょう。最悪の場合、仮面ライダーカブトのラスボスが大量に出現することになります。

戦闘が終了するともう一度戦闘に入ります。今度の戦いは仮面ライダーガタックでないと普通に攻撃してもダメージを与えられません。我が魔王が攻撃を当てるにはカウンターしか方法はないです。

『加賀美新がパンチホッパーを倒す』『我が魔王が一度カウンターを当てる』のどちらかに成功するとその時点で戦闘は終了。今度はアナザーカブトが現れます。アナザーカブトが現れても第三ラウンドには入りません。相手が勝手に退いてくれますからね。

さて、戦闘が終わったところで加賀美新を連れてクジゴジ堂に戻りましょう。今回は運が良いことに天道総司が出てきませんでした。彼が来ると料理関係のイベントが発生して『1回目の失敗』『おじさんから料理を習う』などのロスが発生することになります。RTAでは尋常ではないロスになりますので出ていないのは本当に幸運です。

クジゴジ堂に戻ると、あのアナザーライダーの変身者についても教えてくれます。兄弟じゃない地獄兄弟について。それと渋谷に落ちたという隕石についても教えてくれますが、これは今現在デイケイドと出会っているツクヨミくんが聞いた時空の歪みという厨二感満載の現象が原因なので無視しても良いです。彼が出て行ったら、我が魔王とウオズにも地獄兄弟を探してもらいましょう。

二人が外で探し回っていると地獄兄弟の弟(弟じゃない)がこちらに接触してきます。『これ以上地獄を見たくない』なんてほざいている弟の方ですが、どう考えても罠です。ですがわざと引つかかってあげましょう。普通に探すよりも早くアナザーカブトの元にたどり着くことができますからね。たどり着いた廃工場ですが、そこにたどり着くと後ろから襲って来る影山をさらに後ろから加賀美が襲ってく

れます。そこにアナザーカブトもやってきたので問題ないでしょう。今回の戦いは我が魔王……というわけではなく、ついてきていたウオズが請け負ってくれます。なぜなら、重力波で二人を止めている間におきた振動の正体が隕石であることを確認したためにフォーゼアーマーで宇宙に行かないといけないからです。

隕石を食い止める連打ゲーとアナザーカブト戦、どちらが楽なのかと言われると個人的には後者なのでそちらを選択。ウオズギンガワクセイで高速戦闘を行うアナザーカブトに対抗します。通常攻撃が（画面）全体攻撃で（相手がひるんでいる間に）二回（目の）攻撃を叩き込めるワクセイフォームは好きです。向こうは基本的にクロツクアツプをしているので、ゲイツリバイブ疾風でもない限りはこちらの攻撃は範囲攻撃でないと当たりません。必殺技を叩き込むとアナザーカブトはキャストオフしてキックホッパーになって逃げます。追いつけないので諦めましょう。

我が魔王が宇宙から戻って来ると、加賀美新は地獄兄弟に捕まったことがわかります。指定された場所に行かなければどうしようもありません。隕石をどうにかする作戦よりも先にそちらをどうやって助けるのかの作戦を立てて行きましょう。

さて、指定されたいつもの採掘場にたどり着くとそこには加賀美がいて捕まっています。なので、たどり着くよりも先にコダマスイカを放っておきましょう。フォーゼライドウオッチとギンガミライドウオッチを要求されますが、要求されたものを取り出すのと同時に加賀美の縄も切って不意打ちしてもらいます。これで問題ないですね。ここでテレビ版とは違ってゲイツくんも乱入です。ゲイツリバイブ疾風とガタツク、パンチホッパーとアナザーカブトのコンビで戦うことになるのですが、ガタツクは普通にやられてしまうので……というかここでやられないと話が進まないために、やられたところで一旦退きましよう。

戻ったら、加賀美新から本来のカブトの変身者について話を聞くことができません。我が魔王のカリスマで彼の悩みを解決しましょう。そうすることがカブトライドウオッチを入手する上で必須ですから

ね。

ゲイツくんも合流したところで作戦を立てましょう。隕石をどうにかする作戦です。おまけにツクヨミくんも帰ってきたので、彼女の時止めも作戦に加えて問題ないと言っていいでしょう。作戦を立てたら邪魔が入らないようにとつとと出立します。ゲイツくんとかタクには地獄兄弟の相手をしてもらいましょうね。

ここからはゲイツくん側と我が魔王側のどちらかを選んで操作することになります。今度は我が魔王を操作しましょう。加賀美新がカブトに変身する瞬間を見たい気持ちはあるのですが、だからと言ってこれがRTAであることを忘れるわけにも行かないのです。どちらが早いかを考えればこちらです。ゲイツくんが地上から飛んで来るシーンをスキップすることができるのでね。

さて、フォーゼアーマーになった我が魔王に捕まる形でウオズも宇宙について行きました。ここからは操作の切り替えがちよつとだけ続きます。まずは我が魔王のアーマーをビルドアーマーに切り替えて、ドリルで隕石に穴を開けます。ここは十秒間ボタンを押し続けるだけで問題ないです。中に入ったらウオズに切り替えてウオズギンガタイヨウにフォームチェンジ。内側にいるワームたちを焼き払いながら隕石も溶かしましょう。

そして、このワームの焼き払い。実は戦闘ではなくイベント扱いなのでスキップできます。なので、どうあがいてもゲイツリバイブ&カブトvsパンチホッパー&アナザーカブトはタイム的な意味では敵わないのです。速度特化な彼らが速さで敵わないのはなかなか皮肉が効いていると思いますが、そんなことは関係ありません。スキップです。

さて、気がつけば我が魔王トリニティになって隕石に向かってライダーキックをかますことになっていました。キックで隕石を破壊したら『我が魂はクジゴジ堂と共にありいいいい！』と叫んでクジゴジ堂を宣伝しながら地球に戻りましょう。燃える必要はありません。

本来なら地球に戻ったらゲイツくんが影山と矢車の悲しい会話を聞くことになりましたが、これはRTAです。スキップできるところは

スキップしましょう。もしかしたらスキップしてなかったことにすれば影山と矢車の悲しい別れがなかったことになるかもしれません。クジゴジ堂に戻るとおにぎりを食べるイベントです。これはスキップできません。我が魔王を大食い王にしなければなりませんからね。たまにこのタイミングで世界の破壊者やら、加賀美新に会いに来た天の道を行き総てを司る男がいたりしますが、ここに関してはいたらラッキーです。食べる人数が増えるので疎開のために作ってしまったおにぎりの消費が早くなります。

.....

.....

.....

今回はいないようですね。残念です。どちらか片方だけでもいてくれたら結構タイムが変わるのですが。

まあ、いないものはしょうがありません。全力で食べてもらいましょう。

——（デンライナーの警笛）

お、ラッキーです。どうやらデンライナー組の途中参戦が起こるようです。イマジン四人は確定で、もしも野上良太郎やら桜井侑斗やらもいた場合、彼らもおにぎりを食べてくれるでしょうから、かなり消費が早くなりますね。そうなったらとてもラッキー、ならなかったらウオズが我が魔王を差し置いて大食い設定を活かして頑張ってくれるでしょう。お前は我が魔王を我が魔王”王”にするためにきたのに、大食いの王の称号を奪ってどうしたいんだ。

というわけで今回はここまでとなります。次回はおそらくイマジン達と仲良くおにぎりを食べ始めるところから。ご視聴、ありがとう

ございました。

Part 19

そろそろ変身時間でめちゃうロスすることになるくせにそこまで戦績が振るわない我が魔王の最強フォームことランドジオウが登場するはずのRTAはーじまーるよー。

前回あんなことを言った割に、今回は別に始まりが大食い対決だったりはしません。だからと言って、テレビ版のようにランドジオウの戦いから始まるわけでもないです。Foreverイベントのように未来軸の部分からそのままイベントを進めるということもできません。ウオズ……お前はランドジオウになった瞬間を味わうだけじゃなくて祝え……。

さて、我が魔王がどこからクジゴジ堂に戻ってくるとそこにはゲイツくんが連れてきた鬼のお友達ことイマジンが四名。この四名は、最初期から行ってきたもの時のための『おじさんの修理スキル上昇』というイベントに終止符を打ってくれる最高のお客様です。丁寧に扱いますよ。

今回、彼らが持ち込んできた依頼は『デンライナーの修復』です。幾ら何でも頭おかしいですよ。ここは時計屋であって何でも屋ではありません。さすがにそんなものの修理はできない……というわけではなく、実際にはできてしまうのです。これに成功することでライドウォッチ修復という大業を成し遂げることが可能になるので、絶対にこのイベントは起こしましょう。安定を取るには必須です。

最終的にはおじさんがリュウタロスに憑依されてデンライナーまで連れて行かれることになるのでついて行きます。それにしてもおじさんは憑依されて知らぬ間に見知らぬ場所にまで連れてこられたわけですけど、どうごまかしたんでしょうか。

とりあえず、おじさんにはデンライナーの修理に勤しんでもらいましよう。我が魔王にはその間、特にやることもないのでもしも王様になれなかった時に就職先として最もあり得そうなクジゴジ堂の仕事を確認してもらいます。

確認してもらっていると、外からの振動がやってきます。その原因

は何かといえば皆がForeverイベントで見たものとは違うアナザー電王がいます。もしもこれがアタルだったりシンゴだったりした場合にはそのままスムーズに電王ウオッチをもらえる流れにまで導いてもらえるのですが、今回はそんなことはないようですね。諦めてトリニティになりましょう。

トリニティになった我が魔王が祝いを短縮してアナザー電王と戦おうとすると、このタイミングでゼロノスがやって来ます。ここで響鬼イベントを先に実行していた場合は桜井侑斗を桐矢京介と見間違えイベントが発生します。……とは言っても電王イベントは全てのライドウオッチを仮にでも集めていないと発生しないため、ゲイツくんが未来から響鬼ライドウオッチを持ってこないことにはそのイベントの有無は知られないのですが。

ここからはゼロノスとの対決……と言いたいところですが、さすがに向こうも時の運行を守る側ですので、デンライナーで好き勝手にされるわけにはいかないんです。というわけでアナザー電王戦から始めましょう。

アナザー電王戦は一度戦っている(戦ってない)のでそこまで難しくありません。我が魔王にも一度戦ったことでバフが追加されているので負けたら恥だと思いたいでしょう。ゼロノスも追加されるので尚更に。電王編を始めてからアナザー電王撃破までに3分以上かかったらリセットしましょう。

ジオウトリニティに変身している関係でゼロノスとの共闘でやるべきことはそう簡単には決まりません。ゼロノスがゼロガツシャーをサーベルモードで扱うか、それともボウガンモードで扱うか。そのどちらかをしっかりと理解してからチャートに書かれている通りに戦いましょう。

今回はボウガンモードですね。それならまずは近寄ってサイキョージカンギレードで一回。そこにボウガンによる攻撃が飛んでくるので、ちよつとのけぞったことで距離が開きます。それをカマモードのジカンドスピアで切り裂きながら引き寄せてジオウサイキョウでフィニッシュです。

アナザー電王を倒すことには成功しましたが、アナザーウォッチは出て来ません。倒しきれなかつたようですね。しようがないのかっさばいて中からアナザーウォッチを引き摺り出しま……いえ、冗談です。タイムジャッカーが連れて行つたので、こちらもゼロノスと桜井侑斗を連れて戻りましたよ。

クジゴジ堂での会話は基本的にスキップです。何度だって言いませんが、これはRTAなのでね。スキップできるところはスキップしていかないダメです。

というわけで、知らぬ間にゲイツくんがモモタロスに憑依されたので追いかけます。とは言っても、実際には探す必要はありません。彼はアナザー電王を探しているのです、その場所を探し当てることに成功したら合流できますから、合流時のイベントを省略するために先に発見しましょう。

アナザー電王を発見するとモールイマジンがアナザー電王と戦っています。ウォズからイマジンについての説明をしてもらえますが、それはとてもどうでもいいです。重要なのはアナザライダーと戦っている相手がいるということだけなので、こちらはウォズにギンガでボコつてもらいましょう……なんて言いたいところですが残念。我が魔王トリニティで挑まないといけません。そうでないと過去に行くことができず、電王ウォッチの継承までのルートが複雑怪奇になるからです。

さて、ここからは全力で30秒以上の時間をかけて戦闘を行います。戦闘開始から30秒でおじさんが修理に成功したデンライナーが疾走してくるからです。これがないとアナザー電王は過去に行くことができないので、やっぱり電王ウォッチをもらうまでの道筋が複雑怪奇になりかねません。というわけでしっかりと時間をかけましょう。やって来たらゼロノスを倒しても問題ないです。

さて、モールイマジンもいなくなりました。こちらもどうにかして相手の向かった時間軸に向かいたいところですが、相手が一体どの時間軸に行ったのかはまるでわかりません。電王ウォッチをここで一旦もらうことはできませんが、それはすぐに回収されるのでスキップで

プすることは不可能ではないのですが……やっぱり推しの活躍シーンを飛ばすわけにも行きません。これを専門用語でロスと言います。皆さんはしないようにしましょう。

さて、記念すべき初のグラウンドジオウ戦はアナザー電王です。トリニティどころかジオウⅡですら倒せるだろう相手に幾ら何でもオーバーキルすぎますが、これが現実です。悲しむ時間すらもRTAにはありません。そんなことをしている暇があるなら操作をしましょう。

まずは仮面ライダービルド第1話から必殺技を放ったタイミニングのビルドを召喚、次に仮面ライダークウガEPIISODE12から必殺技を放ったタイミニングの仮面ライダークウガ マイティフォーム、さらにそこからクウガのタイタンソードを召喚して5回斬撃、仮面ライダーオーズの第3話から不発だったタトバキックを放っているオーズを召喚、時間を停止してビルドのフルボトルバスターを召喚してフルフルマッチブレイク、時間停止解除でオーズの動きを再起動してぶつける、次は仮面ライダー鎧武第1話からナギナタ無双スライサーを放つタイミニングで召喚。これがおそらく一番早いです。なのでコマンド入力をミスしないでください。

さらにそこから仮面ライダー電王を18話のやる気ないバージュンで召喚。一緒に過去に飛んで来ていたモモタロスを憑依させる形でクライマックスフォームにします。雑魚敵は彼とゼロノスに任せれば十分です。アナザー電王にオーバーキルを与えましょう。

オールトウエンティタイムブレイクに際して召喚すべきは仮面ライダークウガEPIISODE22からゴウラムの足に捕まった状態のペガサスフォーム、仮面ライダーオーズ第16話から必殺キックを放つタイミニングのガタキリバコンボ、仮面ライダー鎧武第11話からこれまた必殺技のスイカアームズ、仮面ライダービルド40話から必殺技状態のビルドジーニアスです。

これらを時間停止で待機させた状態で霸王斬りによって打ち上げます。打ち上げたアナザー電王がそれらの必殺技が重なる場所にたどり着いた瞬間に時間停止を解除。全力の連撃をぶつけましょう。相手は死ぬ。

はい、では今回はここまでとなります。次回はおそらくオーマジオ
ウ戦から。ご視聴、ありがとうございました。

Part 20

なんだかいきなり我が魔王が我が魔王に呼び出されて「お前ドライブオツチ継承してねえだろ。早く継承して来なさい」と諭されるために戦闘を行うことになってどちらを応援すればいいのかよくわからなくなっている私が走るRTAはーじまーるよー。

さて、前回のラストで口にした通り今回はオーマジオウ……我が魔王との対戦からですが、正直に言つてここで勝てる要素なんてあるはずがないです。そもそも50年後の我が魔王のスペックは『今の我が魔王のステータス』『オーマジオウとしての戦闘能力』『我が魔王+50年分の経験』が重なって完成しているので勝てません。諦めましょう。ここで勝利して『仲間との絆が最強である』と証明したことで、より最高最善を見いだせると判断したオーマジオウから力を継承するルートもあるようなのですが、正直RTAではそのルート以外ではここは負けた方が楽なので負けましょう。

というわけでドライブを召喚です。ドライブだけはライドオツチを継承していないために我が魔王から我が魔王に操作権が移りません。そこに我が魔王の力もあって強化されたドライブのスピードロップが我が魔王に襲いかかり、変身を解除させられることになるので、いい感じに終わるでしょう。

………

………

……

あ、すみません。間違えてテレビ版と同じようにビルド召喚しちゃった。我が魔王はクウガを召喚して相手をしてくれているのでそこまでのロスではないと信じたいのですが……どうなんでしょうね。

よし、今度こそ失敗するわけにはいきません。テレビ版と同じ戦いだと、全コマンドテレビのものと同じに埋まっていますので、ちゃんとグランドジオウの召喚コマンドの中に『ドライブ召喚』も入っていますからね。少々複雑なコマンドであることは間違いないかもしれませんが、必ず成功させましょう。

上、上、下、下、左、右、左、右、PASS CORD 『Masked Rider DRIVE』っと。最後だけ無駄に長いですね。ここ、ドライブだけじゃダメなんですか。ちなみに、これを大体20秒以内に入力できるようになれば猛者らしいです。

よかった。今度はちゃんと召喚に成功しました。ここからはゲイツくんもツクヨミくんも歴史改変の影響で裏切ってくるので頼りになるのは我が魔王が呼び出せる19の平成ライダーとデイケイドだけです。ウオズとかいう裏切り者は決して許してはならない。

さて、とりあえずスピードロップによってやられたのでウオズによって過去に戻してもらいましょう。過去に戻ると、我が魔王の曇りポイントが来ます。私も、我が魔王が曇ったので曇ります。ゲイツくん……どうして裏切ってしまうの……。ゲイツくんが悪くないことはわかっています。全部アナザージオウこと加古川飛流が悪いことも……。おのれ、これも全部ゴルゴムの中にある乾巧に変装したデイケイドってやつのはずなんだ。

なんてバカなことを口にしていたら我が魔王が過去に戻って来ました。うう……。心が重い。……って、あれ？ なぜかまた2068年に場面が……。しかも、この感じだとウオズももう戻った後でしょうか？

——無意味だが、助けてやるとするか。

これは……何かいい感じのことが起こりそうな気がしますね。我が魔王が何かしてるので、これはきつといいことです。いいことだと信じましょう。最高最善の魔王を信じろ！

さて、2068年から2019年に。我が魔王から我が魔王に視点

が移ったところで『加古川飛流初変身の像』を発見することができま
す。我が魔王のありがたいお言葉を拝聴しておきながら、両親の仇に
踊らされて我が魔王に見当違いの恨みを向けている加古川飛流とか、
もはや生かしておく理由も特にはないのでは？

……仕方ないのでクジゴジ堂に行きます。クジゴジ堂ももうすで
に元の時計屋とはまるで違う姿になってるので加古川飛流への怒
りを貯めましょう。正直、この辺りのおじさんとの会話は見ているだ
けで辛いので全力でスキップです。スキップできないものは
世界破壊者のデイケイドアーマーの力でスキップできないという世界線を破壊し
て、スキップできる世界線にしましょう。それにかかる時間はちよつ
とシャレにならないレベルですが、私の根気が死んでしまえばそこで
RTAが終わってしまいますからロスではありません。

………

………

………

よし、成功しました。スキップしましょう。ツクヨミくんからのS
OSです。……どうせ未来で裏切るんですし、ここで見捨てて殺して
しまってもいいのではないかなんていうミラーワールドの私を無視
して助けに行きましょう。

……やっぱり、ゲイツくんいるし時止めもあるし、放置しても問題
ないんじゃないかなあ。

アナザーオーズとアナザーキバ。我が魔王がウオッチをもらった
にもかかわらずこの時代のゲイツくんは一体どうやって大元の彼ら
を倒したのかなんて疑問を抱きながら、キバアーマーで戦いましょ
う。ジオウつぽくない姿なのが唯一の抵抗です。

さて、そいつらを倒すと我が魔王vsゲイツくんです。こう、他人にいいように利用されてこちらに襲いかかってくるゲイツくんとか嫌すぎますよね。ですが仕方ないです。ゲイツくんには我が魔王を覇道に追い込むための礎になっていただきましょう。孤独こそが我が魔王をオーマジオウに進化させるみたいですし。自分で殺してしまえば確実に進化するでしょう。

さて、そんなことを口にしたのはいいのですが、このタイミングでゲイツくんも我が魔王も生き残っているということは確実にトリニティにまで進化できるようになっていて、その場合我が魔王はゲイツくんに攻撃することはできません。なのでこの戦いはアナザーキカイの時に助けられたくせに『いい気味だ』とかほざく系男子のウールくんが介入するまではどうしようもないのです……。

——ジオウ！

なんでゲイツくんがもう一人でてきたんですかあ？

ゲイツくん対ゲイツくんが発生しました。我が魔王を庇ったので、多分こいつこれまで一緒に戦ってきた張本人ですよ。どうなつて……ああ、我が魔王ですか。多分あのタイミングの介入つてこれまで一緒に戦ってきたゲイツくんをこっちに送り込んできたのか、それとも一時的に隔離していたのか。まあ、どっちでもいいです。

ゲイツくんが我が魔王を守るためにゲイツくんと戦ってくれます。ゲイツくんとツクヨミくんはどういう状況なのかよくわからずに戸惑っていますね。我が魔王もです。とりあえず、ゲイツくんを操作してゲイツくんを倒しましょう。リバイブ二本差しなのでただの剛烈のゲイツくんには負けることはないでしょう。

ゲイツくんがゲイツくんを倒したらゲイツくんに連れられて撤退です。どこかそこら辺のベンチに座って今の世界の状況について尋ねるとしましょう。我が魔王の心の支え以外の役割を果たしてくれ

ないので、ゲイツくんに見つけても何も答えてくれません。しようがないのでこのタイミングでやってくる裏切り者ウオズに見つけましょう。

裏切り者に見つくと、彼が裏切ったことが発覚します。もうこいつ、そろそろ処した方がいいんじゃないでしょうか。加古川くんも登場しましたが、今のゲイツくんという心の支えがいる我が魔王の敵ではありません。テレビ版とはちよつと違う結末に陥らせてあげましょう。

……えつと、相手はアナザージオウIIですね。よかったです。これまでのアナザーライダーを撃破するまでの合計タイムが早すぎたりすると『この程度の力じゃ足りない』とアナザーグランドジオウになる可能性もありましたから。これまでのいろんなガバもいい感じに作用しました。最初からアナザーグランドジオウを相手にするつもりだったのでこいつ用のチャートはないです。

——グランドジオウ！

はい。悲しいですが我が魔王の変身音声はカットです。相手はアナザーアギト、アナザー電王、アナザー鎧武を召喚しました。こちらにもアギト、電王、鎧武を召喚して相手をしてもらいます。その間にゲイツくんと一緒にアナザージオウを撃破しましょう。

——なぜだ！

——どうやらオーマジオウが何かしているらしい。俺に歴史改変は効かん！

さて、アギト、電王、鎧武がアナザーライダーを撃破しましたが、向こうは歴史改変とかいうチートを所持しています。ゲームのラスボスですらないキャラが戦闘中に使っているような能力ではないそれをアナザージオウが使用したことでアナザーライダーは復活しましたが、オーマジオウお爺さんな我が魔王の力によるものなのか、ゲイツくんには通用していません。

とはいえ、ゲイツくんが味方だからと言ってそこまでいい感じにはなりません。デイケイドもやってきたので一旦退きましよう。

ここでデイケイドアーマーの使用回数で我が魔王に対する好感度が微妙に変わってやってくるまでの時間も変化します。今回はライドハイセイバーのために結構な頻度で使用していたので、今までやった中で一番早かった時には及びませんが結構早かったです。

デイケイドに地下に連れてこられたならそこで会話です。ゲイツくんの存在についても話をする事になったりするらしいですが、RTAなので泣く泣くカットです。このイベント、実はゲイツくんがいる状態で迎えたのは初めてなので見たい気持ちはとても大きいのですが……残念。

とりあえず、やってくるアナザライダーたちを撃破しましょう。今回はどうやら周囲の警戒に行ったらしくゲイツくんはお休みです。なので、アナザーアギトをアギトのグランドフォーム、フレイムフォーム、ストームフォーム、トリニティフォーム、バーニングフォーム、シャイニングフォームで。アナザー電王を電王のソードフォーム、ロッドフォーム、アックスフォーム、ガンフォーム、ウイングフォーム、クライマックスフォーム、ライナーフォーム、超クライマックスフォームで。アナザー鎧武を鎧武の……もう枠内に収まりきらないので映画も含めた全フォームで。テレビ版ではないので予算を気にせずに全員召喚して叩き潰しましょう。

叩き潰せばゲイツくんも二人で戦いながらこちらにやってきます。二人とも通常のリバイブなのでどちらがどちらなのかわかりません。なので行動することもできず、ツクヨミがやってきて話を聞きたいと言うまで待つことになります。

………

………

……

はい、ツクヨミくんがきましたね。これで一旦クジゴジ堂に行くことになります。悲しいことに我が魔王は魔王だと思われているので皆の反応は芳しくありませんが、それでもゲイツくんがいるから私の気分も安泰です。思えば、ゲイツくんだけは一度たりとて裏切ったことはありません。悩みながら、戦いながらも最終的にはちゃんと味方についてくれました。ツクヨミくん？ ああ、お前は『オーマジオウにはならない！』ってゲイツくんを説得しときながら、なるかもしれないと言う要素を一部見せただけでいきなり『オーマジオウになる！』って確定させて裏切ったので許すつもりはないよ。疑うぐらいならまだしも、ねえ？

ゲイツくんとゲイツくんがお互いに睨み合っている中、我が魔王の状況を伝えます。要するに全部アナザージオウⅡが悪いんだよということさえ伝えることに成功したならこちらの勝ちです。話術は低いので納得させるまでに時間はかかりますが、最悪の場合『アナザージオウⅡを倒すことが目的』『アナザージオウⅡを相手にした時にジオウの力は特攻になる』ということを伝えれば『気に入った、お前を殺すのは一番最後にしてやる』という感じで一応の味方になってくれますからね。そこまで難しくありません。

ちなみにデイケイドは話を面倒臭くさせるのが得意なのですが今回はどうやらそんなことはしないでくれるみたいです。ありがたいですね。誰と戦っていたのかという問いに『我が魔王を我が魔王にしようとする勢力（一人）』『我が魔王を魔王にさせない勢力（二人）』『我が魔王以外の王を擁立しようとするタイムジャッカー』の三つに分かれて混迷を極めていたことなんかも運が良ければ説明してくれますが、流石にそこまではしてくれませんでした。

聞いていたゲイツくんは悩んで出て行ったので、ツクヨミとゲイツくんと一緒にゲイツくんを追いかけましょう。……言つててどっちのゲイツくんなのかわかりづらくなってきました。しようがないのでここからはゲイツくん（改変後）とゲイツくん（右肩）で示しましょう。

とりあえず改変後を追いかければ、加古川飛流もやってきます。右肩と一緒に対処しましょう。右肩もいるので、メンタルも結構問題ない状態の我が魔王からすればアナザージオウⅡが相手でも右肩と一緒になら十分にジオウⅡで戦えます。我が魔王のスタミナ管理も考えてそちらで相手をしましょう。

さて、いい感じに右肩と一緒にアナザージオウⅡを追い込みました。我が魔王を酷い目に合わせた罰としてグランドジオウのオールライダー召喚からのライダーキックで倒しま……す……。

ああああああああああああああああ

忘れてました。そういえばここで海東来る可能性ありましたね。彼にグランドジオウオッチを取られました。遅延行為はやめろ。繰り返す。遅延行為はやめろ。どうせ我が魔王にアナザージオウⅡはやられる運命ですし、グランドジオウオッチを盗んでもオーマジオウになればやられるんです。だったらこれはただの遅延行為。ただの害悪です。まあ、無能な味方というわけでもなくただの敵なので許してあげましょう。ゲイツくんでも許す。ただしツクヨミとウオズは許すな。

……取られてしまったものは仕方ありません。さらにここでアナザーライダーを盾として召喚されて逃げられた以上、こちらはどのようなでもないです。……このままだとツクヨミくんが襲われなくて困るんですがね。

ただ、我が魔王と右肩のコンビネーションを見たゲイツくんは、少なくとも我が魔王が悪い人間ではないことは理解したようです。味方も増えたことですし、このまま特攻と行きたいところですが、今はまだどこにアナザージオウⅡが居城を築いているのかわかりません。一旦戻って作戦を立てましょう。

今回はここまでとなります。次回は我が魔王がアナザージオウⅡとかいう傀儡を倒す爽快なものとなるでしょう。ご視聴、ありがとうございました。

Part 21

アナザードライブとアナザーデイケイドを除く全てのアナザールライダーがいるくせに右肩の方も合わせて五人のライダーに全滅させられるアナザージオウⅡとかいうクソザコアナザールライダーがフルボッコにされるだけのRTA、はーじまーるよー。

さて、前回はクジゴジ堂に戻って作戦会議というところからでした。が、一応振る舞いは『まだ信じてないぞお前』を貫き通したらしい改変後のゲイツくんは『改変前の二人』をひとまとめにしたくないようで、我が魔王と改変後のゲイツくんはクジゴジ堂でいつでも出撃できるように、ツクヨミくんと彼女の護衛として右肩が加古川飛流の居場所を探るようです。連絡が来るのを待ちましょう。

連絡を待っていると、二人が無数のアナザールライダーに襲われているという情報がやってきました。歴史改変もあるようで、あの二人だけだとうししようもないようですね。助けに行きましょう。

助けに行くと、右肩はアナザールライダーをアナザールビルドとアナザールカブト、まだ登場していないアナザードライブとアナザーデイケイド以外の、ジオウⅡも含めて10体近くを相手に大立ち回りを繰り広げているので、そこに乱入してきたデイケイドと改変後にもアナザールライダーを相手に頑張ってもらって、我が魔王にはツクヨミくんを助けに行ってもらいましょう。

ツクヨミくんのところにとどり着いた時点でウールくんはアナザールビルド、アナザールカブトもいます。さらにそこにウオズまで出てきます。よし、殺せ。ウオズだけは生かすな。まず間違いない今この場で殺せ。我が魔王に対する裏切りの罪は重い。正直、理由なんてどうでもいいです。我が魔王が許しても私は許さない。……とは言っても、さすがにジオウⅡがなれる最強の状態である今、ウオズギンガファイナリーを相手には勝てると思えません。ここで全力で挑んで敗死することになったらウオズがどんな反応をするのかは気になるのですが、さすがにそれは我が魔王に申し訳がなさすぎます。やめておきましょう。

というわけで三人の元に戻りながらツクヨミくんが攫われてしまったということ伝えましょう。そしてそのままアナザージオウⅡと対決です。覚悟そのものは決まっていますが、グランドジオウがないと我が魔王はアナザージオウⅡの歴史改変能力に対抗する術がありません。しょうがないのでデイケイドの謎オーロラゲートで一旦クジゴジ堂に戻りましょう。

クジゴジ堂でグランドジオウオウオッチを奪われた経緯についての話になりますが、そこはスキップできるので問題ないです。スキップしたら最終的にはクジゴジ堂の守りをデイケイドこと門矢士に任せて我が魔王と改変後、さらに右肩はツクヨミくんを助けるために、ツクヨミくんを探しに外に出しましょう。

外に出た後に移動するべき場所は廃工場です。一定時間以内にここにたどり着けなかったら、もう用済みだとされたタイムジャッカーのウールとオーラはアナザライダーによって始末されることになるので急ぎましょう。Foreverイベントを通り過ぎていないことが前提条件ではありますが、たまにここにティードが加わっているたりすることもあります。が、今回はForeverを超えているのでないので、安心してアナザライダーを撃破しましょう。そうでないとグランドジオウオウオッチが戻らずにガメオヴェラになります。

アナザーファイズ、アナザーダブル、アナザーゲイツの三人が……ん？

アナザーゲイツ
??????

このタイミングで新しいアナザライダーが生まれました。ふぎけるな、ふぎけるな、馬鹿野郎！

しょうがないのでアナザーファイズは改変後が、アナザーダブルは我が魔王がそれぞれ相手をして、アナザーゲイツは右肩に倒してもらいます。我が魔王とアナザーダブルの組み合わせが一番簡単です。でそれを選択して倒してしましましょう。アナザーゲイツとか初めて登場したのでタイム的なことを考えると放置する以外にどうしよ

うもありません。

アナザードライダーを撃滅したならば元タイムジャツカーの二人がグランドジオウオツチを返してくれるので、ありがたく受け取りましょう。彼らのスウォルツへの怒りも乗せて戦うのが、王として戦うコツです。

さて、タイムジャツカーを助け終わるとツクヨミくんを連れてウオズが戻ってきたということがわかります。有能な家臣ですが、裏切ったのは許せません。我が魔王……ちゃんと処罰しましょう？

——俺は信じていたよ、ウオズ。君の行動にはきつと何か意味があるって。

いや、ほら、我が魔王？　ちゃんと処罰しましょう。本気で裏切ったけれど分が悪くなってきたから戻ってきました的な可能性だってありますからね。ちゃんとある程度の処罰は与えないと、これから先の未来で王になった時に家臣になった連中に示しがつきませんよ？　そしてついでに私を雇用しましょう？　左肩になりたいです。

……まあ、何を言っても我が魔王がウオズを雇用することはやめないでしようししようがありません。私も私で我が魔王を勝利に導きます。とりあえず、ウオズとツクヨミくんのおかげでわかった加古川飛流の居城に向かいましょう。

さて、居城にたどり着くと我が魔王に対する逆恨みをこじらせた加古川飛流との会話が始まりますが、基本的にここはスキップで構いません。アナザードライブとアナザードレイケイドを除いた18人のアナザードライダーですが、こちらは5人いるのでどう割り振っても均等にはなりません。なので、マップ兵器を持つウオズのあたりにでも大量に配置されるようになっていると信じましょう。

——祝え！　我が魔王が偽りの魔王を打ち倒し、時の王者としての資質を証明する瞬間を！

ウオズの高らかな祝辞を号砲として戦いを始めます。基本的に新しいコントローラーを繋がなければ誰か一人を操作すればいいということは変わっていません。というかゲイツくんが増えたせいでコントローラーを繋げられる最大数である四つを超えるプレイアブルキャラになつてゐるわけなんです、その辺りどうなつてゐるんでしょうか。

とりあえず、今回の操作も我が魔王が対象です。我が魔王ならグラウンドジオウになつてゐるので負けることはないです。ライドヘイセイバーもありますから、負けるはずがないです。ついでにディケイドアーマーを使った回数が多かつたことでディケイドも最初から本気です。コンプリートフォームなネオディケイドとか、もう夢想する気配しか見えません。……勝つたな(慢心)。

我が魔王のところ割り振られたアナザーライダーは、アナザー龍騎、アナザーゴースト、アナザー響鬼、アナザージオウIIの4名ですね。ここは我が魔王、ディケイド、その他の分け方で18体のアナザーライダーが適当に割り振られることになります。今回は運が良かったと言えるでしょう。最高だった場合はアナザージオウIIだけと戦えばそれで十分なのですが、最悪の場合は我が魔王単騎で10体のアナザーライダーを相手にしないといけません。それに比べれば十分です。

さて、それでは我が魔王には対応するライダーを召喚してもらいます。仮面ライダー龍騎、仮面ライダーゴースト、仮面ライダー響鬼の3名を……と言いたいところですがちよつとした裏技を使います。この裏技ですが、そこまで難しいものではありません。ちよつと特殊なコマンドを、召喚コマンドを入力してから3秒以内に入力することに成功すれば、我が魔王の召喚ゲートがちよつとだけ巨大になり二人目のライダーと一緒に走つてゐる状態から召喚することで二号ライダーもおまけのように召喚できるのです。本来なら一号ライダーしか召喚してゐないのでね。……まあ、扱いきれるかは別ですが、そんなゲーム限定の裏技的なものがあるのです。

さて、さらにそこにジカンギレード銃モードに対応したライド

ウオッチをセットして放つ必殺技やライドヘイセイバーで選択した対応したライダーでの攻撃を利用してダメージをコツコツと与えましょう。最終的には召喚したライダーごとジオウサイキョウでぶつた切つても問題ないです。ゲーム特有の『なぜかすり抜ける味方への攻撃』が発動します。

ジオウサイキョウで切り裂いたら、残りはアナザージオウIIだけです。仮面ライダークウガのアルティメットフォームを召喚して殴り飛ばし、時間停止で押し止めましょう。グラウンドジオウ以上の時間操作能力を恨みによつて手に入れていらっしゃるようですが、それでも全く通れないというわけではないでしょうからね。

その間に必殺技です。19人を召喚してのオールトウエンテイタイムブ레이크で決めましょう。20人でのライダーキックという形です。召喚する時期は考えないといけません。

クウガは48話、アギトは37話、龍騎は34話、ファイズは39話、ブレイドは34話、響鬼は33話、カブトは34話、電王は36話、キバは24話と見せかけて37話、デイケイドは21話、ダブルは32話、オーズは32話、フォーゼは32話、ウイザードは31話、鎧武は32話、ドライブは33話、ゴーストは33話、エグゼイドは36話、ビルドは39話。これを見れば仮面ライダーファンの皆様はわかると思いますが、召喚するのは最強フォームが初登場した、いわゆる初登場補正付きの最強フォームによる必殺キックの連発です。なお、召喚した時期というだけなので、『お前この時はキックしてねえだろ！』というようなツツコミはしてはいけません。

あ、間違えてビルドジーニアスじゃなくてラビットドラゴン出しちゃった。

さて、無残にも瞬殺されてしまったアナザージオウIIこと加古川くん。彼にはピエロにして時の王者(偽)、アナザージオウIIになった過去がありました。それはそれ。もう二度と出てくることはないので放置でいいです。死体蹴りは我が魔王の欲するところではないで

しようしね。それはそれとして私個人としては許してません。アナザージオウIIが爆散したことで歴史改変も修復され……この場合、二人に増えたゲイツくんってどうなるんです？

まあ、考えても仕方ありません。海東大樹がアナザージオウIIのウオッチを持って行ったことを確認したら、今回は終了となります。ちなみに、アナザージオウII編が始まった時点で必ず、バッドエンド以外はテレビ版エンドにつながる事が確定します。我が魔王に呼び出されて未来に行ったタイミングでいくつかの条件を満たしていると『スウォルツ氏を仮面ライダーバールクスが撃破する』というイベントが始まりますが、それがなかった時点でタイムジャッカーは存続しているのでテレビ版がそのまま続くというわけですね。

それと、視聴者の中にある“Over Quarter”ルートを走るウオズのために言っておくと、そちらのルートを走る場合はドライブ編が割り込んできます。気をつけて戦いましょう。

では、今回はここまでとなります。ご視聴、ありがとうございます。た。

Part 22

そろそろ終わりも見えてきてなかなか感慨深くなってきたところで、いきなり映画限定の仮面ライダーがやってきたことで度肝を抜かれることになったRTAはーじまーるよー。

さて、今回の最初はスキップされるべき我が魔王たちの作戦会議……つまりはアナザーデイクイドこと“ごとき”に対する対抗手段を練っています。より正確にはまだ何もわかっていないのでアナザーデイクイドは一体何を目的としているのか、そんなことを話すのですがスキップです。どうやら話が終わったタイミングで轟音が鳴ったようです。その現場に向かいます。たまに海の底に沈んで行くタイムマジンが見られますが、今回は普通のようにですね、残念です。とりあえず、ここで出てきた仮面ライダーアクアこと湊ミハルを連れてクジゴジ堂に戻りましょう。

クジゴジ堂に彼を連れて戻るとゲイツくんは未来に帰るように言葉を放ちます。この辺りはスキップするのですが、要約すると『オーマジオウのいる未来からやってきた人間の存在が、オーマジオウの存在を確定させる』ということですね。まあ、確かに『我が魔王こと常磐ソウゴはオーマジオウ以外の王になった』と歴史書に書かれるにせよ、じゃあそこには一体どんなドラマがあったのかと問われれば『オーマジオウのいる未来からやってきたゲイツくんが』となりますし、それはつまりそういう未来の可能性があったんだということを確認させます。

とはいえ、彼の言葉も白ウオズの存在が否定してくれるわけなんですけどね。『オーマジオウを倒した救世主ゲイツリバイブ』がいる未来からやってきた白ウオズですが、彼の存在は別に『救世主ゲイツリバイブ』という存在を確定させませんでした。ゲイツリバイブそのものは生まれても、ね。

つまり我が魔王だって『オーマジオウ』になることは確定していても『未来世界を滅ぼした最低最悪の魔王オーマジオウ』になるとは限らないわけです。皮が同じでも中身が違うんですよ、中身が。

さて、そんな会話をしていたらタイムジャッカーがやってきました。匿って欲しいとのこと。オーラはどうでもいいですが、ウールくんに関しては結構かわいそう……かわいそう……？　我が魔王相手に『いい気味だ』とかほざいていたこいつが？

……………

……………

……

いえ、まあアナザーキカイにされたり裏切られたりと色々と不遇なことには変わりありません。我が魔王の力リスマで仲間にしてあげましょう。運が良ければ最終決戦あたりでウオズが持ってきたジクウドライバーでツクヨミ共々参戦してくれたりします。裏切ったツクヨミを許すな。

とりあえず、この二人を死なせないようにすれば後半戦は楽になること間違いなしです。ちなみに、このあたりで一つバグ技が入ってきます。今回の相手はアナザードライブなのですが、映画ルートに入らなければここではまだドライブウオッチを持っていない状態となります。ですが、アナザードライブを撃破した瞬間にドライブライドウオッチを手にしたこととなります。これはテレビ本編で『チェイスが登場した時点で詩島剛と出会っている』ということが確定したにもかかわらず、アナザードライブ登場からどう考えてもドライブライドウオッチを入手している暇がないからです。継承イベントを短縮できるのです、絶対に逃さないようにしましょう。

さて、我が魔王とウールくんが友情を深めていると、原初のヒロインことゲイツくんがその様子を眺めています。湊ミハルの『オーマジオウのいる未来から来たから〜』という言葉もあって色々悩んでいるゲイツくんですが、ぶつちやけた話ゲイツくんの居場所ってここ以外にあるんです？　仲間を大量に殺した我が魔王の過去にほださ

れて、こいつは魔王にならないと言っているゲイツくん。正直、レジスタンスの面々からしたら『ふざけるな!』ですよ。ああ、いや、もしかしたら『あんなことまで言っていたゲイツくんが魔王をかばうなんて! あの魔王、洗脳能力まで持ってたのか!』でウオズが許される可能性も……?」

その辺りの疑問は置いておくとして翌朝です。昨日から転がり込んできていたウールくんとオーラが『そういえば』とアナザードライブについて切り出してきてくれました。オーラもいるのでテレビ本編のように『アナザードライブはオーラ!?』なんて無駄なことをしなくていいのは楽ですね。

というわけでアナザードライダーを探しましょう。恒常的な安全を手に入れるためならばとウールくんもオーラも困りなってくれるようですのでね。ツクヨミくんもクジゴジ堂で寝泊まりしているので、すでに湊ミハルとは出会っています。なので、まずはツクヨミくんから力を奪ったスウォルツをどうにかしないといけないことも彼は把握済みですから、ツクヨミくんとウオズと湊ミハル、我が魔王とゲイツくんの二組に別れてそれぞれオーラ側、ウール側で二人を守りましょう。オーラの方が多いのは、彼女が時止めをできないことが理由です。

おそらくオーラ側にやってきます。私以上に私なオーラを倒す必要がアナザードライブことパロドクスロイミュードにはありますからね。アナザードライブが出現した連絡を受け取ったら即座に向かいますが、それまでの間にゲイツくんのメンタルケアもしておきましょう。王様は大変です。

ゲイツくんのそれに関しては何とっても簡単なことです。先ほど私が口にした『救世主ゲイツリバイブ』と『ここにいるゲイツリバイブ』の違いを教えてあげればいいだけのことですからね。さすがに完全なケアは難しいですが、それでも『自分たちのせいで最低最悪の魔王が生まれるということ』に対する感情は抑えられるでしょう。

さて、アナザードライブ発見の報が来るまでの間は二人との仲を深めましょう。そうですね……会話の内容としては『ゲイツくんたちが

いたオーマジオウが続べる最低最悪の未来に繋がらなくなったら』ということでいいでしょう。ここでゲイツくんのメンタルを回復させておけばうじうじ悩むことはないのでアナザーワールドに囚われることはないですからね。代わりにアナザーワールドを潰すのに一苦勞なわけですが、そこらへんは最悪の場合は無視しても問題ないです。誰も捕まっていけないなら、アナザーデイケイドを倒して崩壊させればそれで十分でしょう。

おっと、連絡が来ましたね。向かいましょう。

アナザードライブの戦闘方法ですが、基本的にはタイヤコウカンシリーズ、重加速、アナザートライドロンにさえ気をつけていけば問題ないです。更にいえば、今回は『無限の宇宙は無重力』さんが最初からいるので、彼に重加速使用時は吹っ飛ばしてもらって解除してもらいます。そこでウールくんの時間停止で止めてからグランドジョウでドライブを呼び出してダブルスピードロップをすれば簡単に勝てるでしょう。

ああああああああああああああああああああ
!!!!!!

ダブルスピードロップをすると、アナザードライブのウォッチが壊れて今度は仮面ライダーダークドライブに変身しました。これまでの試走で出てこなかった要素がまた出ました（半ギレ）。これはもうどうすればいいんでしょう。なんか無駄に時間を引き延ばそうとして来ます。……ここは仮面ライダードライブタイプスペシャルを召喚です。それで多分どうにかなるはずです。召喚は気合で行いましょう。

さすがにこのゲームでのダークドライブの動きなんてよくわかっていません。なので最初から全力です。ドライブの各形態、各タイヤを全て召喚して戦いましょう。ゲイツくんがタイヤに混じって高速移動をして戦い、ウォズギンガワクセイの星がタイヤに混じって飛んでいきます。我が魔王はトライドロンを召喚してスピードロップしましょう。多分、これで倒せると信じたいところです。

.....

.....

.....

よし、パラドックスロイミュードのコアが破壊されましたね。ちやんと108が二つあったので間違いないです。これでウールくんの死亡フラグが一つ折れました。やったね我が魔王、居候が増えるよ！我が魔王の手でアナザードライブを倒したところでアナザードイケイドごときが登場しました。アナザーワールドからG4、レイ、エクストリーマー、風魔が登場しまし……って、ん???

エクストリーマー？？？

なんでダークゴーストじゃなくてエクストリーマーなんでしょう。……いや、気にしていてもしょうがありません。ここからまたリセットするなんてごめんです。最後のリセットポイントももう無視します。我が魔王、ゲイツくん、ウオズ、アクアがいるので数としては問題ないので、戦えるはずなのです。

アクアにはG4の相手をしてもらいましょう。G4は機械なので、一番厄介なギガントを水に叩き込んでしまえば湿気って使えなくなると思います。エクストリーマーにはウオズギンガですね。空を飛ばようがなんだろうが銀河には敵わないでしょう。風魔は速さ勝負ということでゲイツリバイブ疾風。我が魔王は余ったレイです。我が魔王は万能すぎるせいで誰でも相手できるのが嫌なところですね。レイを相手にする場合は仮面ライダーキバを召喚しましょう。ザンバットソードを付け加えるとさらに良しです。2対1の状況に持ち込めば大体の確率で勝利できます。さらにそこにライドヘイセイバーでキバを選択し動きを止めまして、最後はジカンギレードにキバ

ライドウオツチをセットして倒します。

さて、ここら辺から最終決戦となるはずなのですが、スウォルツが一旦退きました。我が魔王をオーマジオウにするための準備は足りていないということなのでしょう。こちらもクジゴジ堂に戻って、アナザードライブの死によって、アナザードライブが生きている間にウールくんがオーラに殺されるという可能性が消えたことを喜びます。……いや、冗談です。まだ我が魔王たちは相手がどういう理屈で劇場版ライダーを大量に召喚しているのかわかっていません。そのため、打つて出るといのが一番なのですがウールくんとオーラを守ることも考えないといけませんから色々大変です。

さて、とりあえずアナザードライブを探しましょう。小和田に捕まります。その後小和田がアナザードライブに捕まります。って、ん？

あああああああああああああああ
!!!!!!

——お前たちの平成って醜くないか？

平成アンチおじさん！ 平成アンチおじさんじゃないですか！

我が魔王が小和田を庇ってアナザーワールドに囚われた挙句、常磐SUGOが現れました。ここはもうテレビ世界線だから、映画世界線に強制接続しようとしたことで歴史が大変なことになってきます。こんな形で世界が滅びるってどうなんでしょう。

——フハハハハハハ！ 少し予定とは違うが、これだけの力を持つ存在であれば俺の世界を救い、俺が王となるには十ぶ……ん？

おっと、もうこれはどうすればいいんでしょう。仮面ライダーバルクスに変身した常磐SUGOによってアナザードライブがぐさつとやられました。……これは、タイムストップしてもいいんでしょうか???

……いや、まだアナザーワールドが消えていないのでダメですね。さらにまたスウォルツが退きました。今度は怪我による撤退です。常磐S O U G O に関しては使いきれないと判断したのかアナザーワールドに返され……ていて欲しかったなあ。まあ、我が魔王に関してはバールクスの目的もあって必要なもので、彼が平成ライダー無効化によって我が魔王をアナザーワールドから引きずり出したことで戻ってきたので安泰ですね。小和田は攫われましたが。

小和田が攫われた以上、エターナルが出てくることは確定です。ついでにクジゴジ堂にいるウールくんからの連絡です。ライドウォッチが壊れ始めたとのこと。おそらくは常磐S O U G O が出現したことが原因でしょう。平成どころか世界すら破壊しそうなおじさんは、一瞬出てきただけで多大な影響を残していきました。

とはいえ、悪いことばかりではありません。世界が滅んでは平成を作り直すことができないので彼も協力してくれるそうです。我が魔王を見出したことだけ感謝してやるからとつとと死んでくれると嬉しいんですけどね。

というわけで今回はここまでとなります。バールクスが出てきたことで一気に巻きにかかったのできつと次回は最終回。ご視聴、ありがとうございました。

Part Final

瞬瞬必生なRTAもついに最終回！ 常磐SUGOが出てきたことで強制的に発現した時間制限が存在するおかげで今のところの合計タイムを見た感じ自己ベストを更新するかGAME OVERになるかのどっちかが確定したRTAはーじまーってるー。

というわけで今回が最終回となります。最終回ですが、やることはいつもと何も変わりません。ウルルくとオーラから我が魔王たち外に出ている組にライドウオッチが壊れていることの連絡が来たところからスタートです。これも全部常磐SUGOが出現したことが悪いよー。これからあいつが活躍するシーンはないのが唯一の罰です。

とはいえ今はたった一瞬の登場で世界を滅ぼしたあれを気にしている余裕はありません。アナザーデイケイドを探します。ゲイツくとウオズと湊ミハルと常磐SUGOが。戦えないウルルくとオーラにはおじさんのライドウオッチ修復の手伝いしてもらって、その間に我が魔王はツクヨミさんと一緒に門矢士にツクヨミさんの生家に連れていってもらいましょう。

そこでスウォルツの目的を聞いた後に門矢士がスウォルツによって殺されるので、どこからともなくオーロラで出現した海東大樹がアナザージオウIIの力で蘇生させるのを見てからアナザージオウII戦です。デイケイドライドウオッチを渡したことで復活したデイケイドが変身した仮面ライダーデイケイドジオウオーマフォームとともにボコリましょう。しれっと劇場版限定究極フォームになるな。アナザージオウIIの戦闘法はこれまでと変わりありませんので、ザンバットソード召喚からのトレーラー砲で簡単に撃破できます。

元の世界に戻ってくるとライドウオッチが破損したことによって壊れたライドウオッチに対応する仮面ライダーの敵たちが復活しています。これらに関しては我が魔王が倒すほどの敵でもないので他の面子に任せましょう。

どうすればいいのかはまだ我が魔王にはわかっていないので一旦

退くことになります。退いた後はクジゴジ堂で門矢士に話を聞きましょう。これをしてはいけない限り、フラグが立たないのでバッドエンドにかたどり着けません。

今回の話はこの状況をどうにかするための作戦です。ツクヨミくんをライダーにすることでスウォルツの世界にも仮面ライダーを生み出して世界の崩壊を止めるといふ作戦ですね。この作戦の決行フラグを立てたら我が魔王には未来に向かって……って、ん？

なんか門矢士までタイムマジン
ンに乗っているんですがあ？？？？

……なんでこいつまで乗っているんです？ いや、真面目に。ここでさらに新ルート発覚とか嫌すぎるんですけど。とりあえず、門矢士の初タイムマジン搭乗です。彼は一体なぜついて来たのか。アナザーデイケイドを相手にしていて欲しいんですけどね。まあ、ついて来た以上は仕方ありません。ツクヨミの懐にブランクライドウォッチを忍ばせてオーマジオウ相手に足止めをしましょう。ここで忍ばせることを失敗すると最初からやり直すことになります。

ちなみに、この時代では我が魔王が我が魔王を足止めに戻ってくるなんてこと、我が魔王の記憶にはございません。なので相手は困惑します。とりあえず、レジスタンスの皆が退くまでの時間稼ぎというところで今回はデイケイドをサポートに入れてのオーマジオウ戦ですね。って、うん？

——ファイナルフォームライド

え、ちよつと待ってください。

——Z I Z I Z I Z I Z I——O

が初のデイケイド操作でのオーマジオウ戦ですから。なので負けられません。頑張つて勝ちましょう。我が魔王を殺しには来ないというだけでわかつているので、我が魔王を盾にしながら頑張つて戦ってもらいます。さすが我が魔王、本来なら死ぬような戦いにも生存ルートを作るとは（白目）。

というわけでデイケイドを操作してオーマジオウと戦いましょう。勝利条件……あるいは戦闘終了条件とでも呼ぶべきものはわかりませんが、とりあえず真面目に戦っていれば負けることはないはずです。我が魔王を盾にして搦んでいる以上、異次元放逐も現実的ではないでしょうね。

………

………

……

はい、どうにかなりました。いやー、やればどうにかなるものですね。さて、ここで一旦門矢士は戻るようです。ここからは我が魔王にトリニティになつてもらつて戦つてもらおうみたいですね。オーマジオウの能力について確かめるためでしょうか。まあ、確かにアクアがいるとは言つてもアナザーデイケイドに特攻を持つデイケイドの代わりになるかと言うとちよつと口を噤みます。ついでにエターナルもいますしね。いくらバールクスがいるとはいえザコ敵の数を考えればこの選択は間違いではないでしょう。代わりにゲイツくんとウオズが来るのでそこまで無茶な戦いではないと思います。ようやくチャートに戻つてきました。

オーマジオウ戦ですが、トリニティでの戦いならばそこまで悩む必要はありません。いつも通り、チャートに沿つて華麗に勝つだけのことですよ。最初からキングギリギリスラッシュで叩き切りましょう。ここはハメ技を使用すれば勝てます。……はい、勝てましたね。

ハメ技を使用しての勝利になりましたが物語的には関係ありません。我が魔王はオーマジオウの倒し方を聞き届け、元の時代に戻るようになります。元の時代に戻ったら、エターナルとチェイスとアクアがアナザーデイケイド相手に善戦しているので、そのタイミングでツクヨミくんをライドウオッチを投げ渡ししましょう。早くしないとバールクスとなんか一緒に戦ってくれているエターナル以外が死にます。その直後に肉体が限界を迎えたエターナルも死にます。

エターナルに関しても、アナザーデイケイドの必殺技を受けたことが原因となるので、それを放つよりも先に仮面ライダーツクヨミを誕生させましょう。

さて、ここからは結構面倒な事態になります。ツクヨミの裏切りとスウォルツごときの顔芸。それを見送ったらエターナルこと大道克己と湊ミハル、さらには同姓同名の常磐S O U G Oも含めて皆でクジゴジ堂に戻りましょう。どんどんクジゴジ堂が魔境になっていきます。エターナルの勧誘に関しては『自分だけを復活させたあの男に一矢報いることができる』と言えばまあどうにかかります。この世界も滅びかけているという事実と我が魔王のカリスマでこの世界の住人も全員死人判定が出るでしょうし。お前の死人判定ガバガバすぎませんか？

さて、ラストバトルの朝がやってきました。ここを越えればついにエンディングです。思えばここまで長かった。ガバも一切なく、チャートに沿って誰一人文句のつけようのない我が魔王が仲間との絆で掴み取ったエンディングにまで突き進んできました。ようやく報われます。

皆はずでに外に出ています。さすがに一晩中戦い続けるのは頭おかしいので皆休みを入れています。我が魔王が一番最後ですね。ここには『我が魔王だけはどうしても助からない』という事実もあるもので皆からの選別のようなものでしょう。特に、順一郎さんには『こいつラスボスだ』なんてひどい言いがかりをつけてしまいましたし、彼にも家族と過ごす時間は必要ですからね。

ゲイツくん、ウオズ、門矢士、いつのまにか生えてきて戦いに参戦

していた海東大樹、湊ミハル、大道克己らが戦っているところにツクヨミくんが乱入してきました。バールクスに関しては数で圧殺することにしたようで、そもそもここにはたどり着かせないようにしているようです。ここでたまにライドウオッチが壊れたことで復活した仮面ライダーがやってきたりするんですが今回はないようですね。もしもダブルが復活していたならエターナルがそっちに行ってしまうようなのでよかったです。

ところで。

なんで、バールクスは巨大化からの液化化をして胸からミサイル発射しているんですか？

なんで、ミサイルが爆発して、液化化しているミサイルが爆発したことで、超巨大ミサイルを構成していた液体が破裂して、街が海に沈んでいるんです？

え、もしかして今回のループする原因、これの影響でもう人が暮らせる地域なくなったから？

いや、さすがに数千の怪人に動きを邪魔されてイラつときたからって、そんな短気を発揮するとは……。

……………

……………

……………

よし！ 見なかったことにしましょう！

さて、ここからはツクヨミくんを邪魔されてアナザーデイケイドを補佐して、我が魔王がハイパームテキ、クローズビルド、ムゲン魂、タipesペシャルを召喚してアナザーデイケイドをボコります。その

直後にグランドジオウに変身です。ここの変身は一見の価値がありますので、決して見逃さないようにしましょう。ロス……？ そんな言葉は逢魔降臨曆の中にはありません。そしてこの工程はちゃんと加わっているのです。これはロスではありません。

ここからが最後のリセットポイント二連続ですね。我が魔王が召喚する仮面ライダーをミスしないようにしましょう。召喚するべきは相手に対応しているライダー……ではなく攻撃力が高い面子です。アナザーデイケイドを相手にするので、他のラスボスたちが出て来るよりも先に倒せるほどの戦力……と言いたいところですがそれは今の我が魔王のステータスでは無理です。なんで召喚に我が魔王のステータスが関係あるのか。

召喚するべきは仮面ライダーウイザードインフィニティードラゴンゴールド、仮面ライダーダブルサイクロンジョーカーゴールドエクストリーム、仮面ライダーオーズスーパータトバコンボ、仮面ライダークローズビルド、仮面ライダー鎧武極アームズで……あ。

ああああああああああああああああああ(ソイヤ！ パインアームズ 粉碎・デストロイー！)
!!!!!!

ミスしたあ。……仕方ありません。ここはリセットポイントではなかった。あるいは最初からパインアームズを召喚する予定だった。いいね？

さて、気を取り直してここからリセットポイントです。アナザーデイケイドが召喚する敵が何かを確かめましょう。

ふむふむ……。今回はン・ダグバ・ゼバ、サジタリウス・ノヴァ、ユートピアドーパント、ゲムデウスクロノス、エボルト怪人態、ロードバロン、仮面ライダーハート、グレートアイザーですね。運が良いのか悪いのか。正直な話、今回の召喚される怪人のリセットポイントは『召喚された怪人が6体以上』『エボルトが仮面ライダーエボルブラックホールフォーム以上で召喚されている』『各種ボスが最強の状態である』のどれかが起きていた場合です。もう全部見事に踏み抜きまし

た。そして同時にここで起きるとラツキーだったイベントが『ロードバロンがいる』『相手側に仮面ライダーがいる』の二種類でした。今回は両方踏み抜いています。全部同時に踏み抜いたのは初めてです。

うーん。……うーん。……うーん。

……………

……………

……

よし、続行！

バールクスもやってきたし、そのままオーマジオウの脅威を見せつけてあげましょう！

ロードバロンは向こうを裏切りましたが、それでもこちらが勝てるような戦力ではありません。ここら辺のイベントはスキップしますが、召喚したライダーたちは強制的に負けになります。あるいは我が魔王の変身が解除されて強制返還です。

そこでゲイツくんが我が魔王を庇って死んでしまいました。嘆きましょう。嘆いたらオーマジオウになります。オーマジオウになると我が魔王の力を吸収しようとはしますが、もちろんスウォルツごときには無理です。ここで宣言してあげましょう。

——俺の力は、全てのライダーの力だ！

もうロスなんて関係ないだろ、祝え！

今は君たちがウオズです！ 集まるライドウオツチたちも我が魔王を祝っています！

……………

……
……

ふう……祝ったことで気分がとても良いです。もうこれで終わり
で……え、だめ？ まだスウォルツがやられていないって？ 正直に
言えばオーマジオウになったところですのでこれは勝利確定のただ
のイベントに変化してしまいました。スキップできるのでスキップ
します。そうするとスウォルツ氏がやられていますので、ここでタイ
マーストップとなります。タイムは1470分0秒。結構長かったですね（白目）。

ちなみに、スウォルツ氏がやられるまでの間に、もしも相手が仮面
ライダーを召喚していた場合はそれらを全てライドウオツチに変換
して吸収しているので敵が減るイベントが発生したり、それに伴って
相手の能力に干渉したわけなのでアナザーワールドに捕まった小和
田を助けたりと色々ありますが、それもスキップしました。相手に仮
面ライダーがいることの良さとはつまりこれですね。これがない場
合は小和田は世界の再生で復活させるしかありませんでした。

では、エンディングに追加されたウオズと、消えかけている常磐S
OUGOが水没した街を見ながら会話をしている光景を見ながら完
走した感想を語るとしましょう。ちゃんとエターナルもこの水に
よって流されてすでにこの世界から消失していますから安心してく
ださいね。

やはり、チャート通りに綺麗に走ることができたというのはとても
気持ちがいいことです。我が魔王は『瞬瞬必生』という言葉を使って
いましたし私もそれにはとてもわかりみが深いわけですが、やはり綺
麗な舗装された道というのも捨てがたいものです。とはいえそれも、
無理矢理に過去から書き換えて行くつもりなんてありませんが。

今回のチャートではガバはもちろんのことロスも存在せず、まさに
理想的な舗装された道だったと言えるでしょう。とはいえ、ガチガチ
に固めておくと予想外の隆起があった時に対応に困ってしまいます

から多少の遊びを残しておいたほうがいいとも、ちゃんと次走る走者のためにも記述を残しておきましょう。

はい、そういうわけで我が魔王を最高最善の魔王に最速最短で導くRTAはここまでとなります。これまでご静聴、ありがとうございます。

私の逢魔降臨曆にはここから先の未来は何も載ってません。どうせなら私の記録がいつ抜かれることになるのかを知らればよかったですけどね。

では、ウオズと常磐SOUGOがなんかいい感じに我が魔王の言葉を認めた風な会話をしながら次の新世界に行ったところで、この動画シリーズは終わりとなります。

本当に、ご視聴ありがとうございます。

.....

.....

.....

あ、ちなみに我が魔王のカリスマが最高値だとこのエンディングで常磐SOUGOが仲間になります。彼が仲間になった状態を引き継いで”Over Quarter”ルートをクリアするとQuarterzerの全員が仲間になりますので、そちらも一見の価値ありますよ。ウオズとの最後の会話の内容で我が魔王のことを認めるような感じのツンデレ的な何かを言っていたら仲間フラグが達成されています。

おまけ

「ここから先には行かせない」

「お前からしたら厄介なだけのレジスタンスかもしれないが、今の俺たちからしたら希望でな」

倒させるわけにはいかない、と背後に庇うレジスタンスには目もくれず門矢士は宣言した。

常磐ソウゴと門矢士はライドウオッチが壊れ始め、世界が亡ぼうとしている最中、それを食い止めるために明光院ゲイツとツクヨミがやってきた2068年の世界にまでタイムマジンに乗ってやってきていた。

無論、門矢士のオーロラがある以上タイムマジンを使用する意味など無いに等しいのだが、オーマジオウ側にタイムマジンが無いとは断言できなかったために、もしもの場合を考えて。

今のところは、タイムマジンで迎撃しなければならぬ相手はない。

それ故に、二人は己が仮面の戦士へと変身するためのベルトをすでに装着していた。

「若き日の私よ。お前がこの時代に再び来るなど、私の記憶には無い」

50年後の常磐ソウゴの困惑気味の声。

それは、これまで超然としていた王者の風格を持つ者が人間であることを理解させる。

常磐ソウゴは50年という月日を経ても王という機構に成り果てたわけでは無い。

「それならよかった」

ただ、それは今を生きる、2018年に仮面ライダーとなった常磐ソウゴには関係ない。

むしろ、2068年のオーマジオウが知らないのは彼にとっても都合が良かった。

「俺は、オーマジオウにはならない」

オーマジオウ本人が知らないと保証する、常磐ソウゴが行った出来

事が存在する。

オーマジオウの辿った道筋とは、まるで違う出来事が発生している。

最低最悪の魔王ではなく、最高最善の魔王を目指す常磐ソウゴにとつてそれ以上の朗報はない。

けれど、今はそれは置いておかなければならない。

やらないといけないことは二人とも理解している。

“ツクヨミとゲイツを守る”

ブランクライドウォッチをツクヨミの懐に忍び込ませた以上、あとは“二人の生存”を達成しなければならない。

そのために、今二人はオーマジオウに立ちふさがっている。

「行くよ」

「ああ」

取り出したライドウォッチの能力解放である『ウエイクベゼル』を回しジオウの顔を模したレジエンダリーフェイスが表出しているアクティブ状態へ移行。

そして起動スイッチである『ライドオンスターター』を押すことで起動させる。

《ジオウ》

起動によって光を放つウォッチをすでに装着したジクウドライバーのD'9スロットに装填。

それに伴って背後に巨大な時計が出現。その中央には『ライダー』の文字が浮かんでいる。

ベルト上部に存在する入力承認キー『ライドオンリニューザー』にライドウォッチを承認させた後、腰を落とし左腕を右肩の方へと上げた。

同時に、門矢士もライドブツカーから一枚のライダーカードを取り出す。

そこに描かれているのは世界の破壊者、仮面ライダーディケイド。彼が腰に装着しているネオディケイドライバーの起動スイッチ、ディヴァインサイドハンドルはすでに左右に引かれているため、カー

事実に思わずジオウは戸惑いの声を上げ、オーマジオウも衝撃波を放つために上げかけていた腕を下ろしてしまう。

ほんの数瞬、たったそれだけの時間が過ぎ去った後にはその場にジオウの姿はない。

残っていたのは変形した後の人間大のサイズのジオウライドウオツチだけ。

「え、なにこれ、どうなってんの!？」

「騒ぐな。行くぞ、魔王!」

剣モードにしたライドブツカーを右手に、ライドウオツチの形になったことでディケイドをすっぽり覆う盾として機能するようになったジオウを左手に。

まるで剣と盾を携えたかのような姿になった世界の破壊者は最低最悪の魔王に向かって駆ける。

そうなれば、困惑するのはオーマジオウの方だ。

(あれは、本当にディケイドか?)

仮面ライダーディケイドに見えるのは間違いない。

だが、あれはオーマジオウが力を受け継いだディケイドとはまるで違っ見える。

とはいえそれもディケイドがやってきた経緯を考えれば当然の話なのだが。

そもそもこのディケイドは『オーマジオウが存在する未来からやってきた明光院ゲイツが逢魔降臨暦に記載されたことで、未来からやってきたウオズが呼び寄せた』門矢士が変身している。

つまり、オーマジオウがオーマジオウに至る物語においてはやってきていない。

『平成一期の仮面ライダーに変身できる』仮面ライダーディケイドの力は受け継いだだろうが、『平成二期にまで変身できる』門矢士が変身した仮面ライダーディケイドについて知らないのはそこまでおかしなことではなかった。

そして、見知らぬライダーだからこそ、そのライダーが仮面^通ライダー^自ジオウを^分変形させて盾としながら突っ込んでくるがゆ

えに、いつもレジスタンスを撃破するように衝撃波を放つわけにはいかない。

この状態のジオウの耐久力が彼にはわからないのだ。どれだけの力ならばこの状態のジオウでも『殺す』ではなく『倒す』で済ませられるのか、それがわからないからこそ下手な手出しはできない。

「ふっ！」

なので、とりあえず殴ってみた。

無論、力はそこまで込めていない。

オーマシグナルによって必ず敵対している者の力を上回ることが可能なオーマジオウだが、ディケイドであつてもジオウであつてもオーマジオウのスペックには届いていないため、その効果が発揮されてスペックが変動することはない。

今の彼にわかつているのは『この二人のスペックは自分よりも下』という事実だけである。

「痛っ！」

本来のライドウォッチにおけるレジエンダリーフェイス部分に拳を当てるとジオウの声が響く。

痛いという程度で済んでいるため、この程度の威力であれば出しても問題ないということはわかった。

その代償としてライドウォッチの影から迫り来る剣状態のライドブッカーを相手にすることにはなったが、その程度ならば『オーマコーザリティーハンド』が持つ因果律操作能力でどうとでもなる。

それがなくとも、ソレムアームアーマーで受け止めれば極限の防御力を持つそれをただの一撃で抜くことなどできず、例え通つたとしても『オーマラディアントアーマー』が纏う特殊エネルギーフィールド『アブソリュートスロウワン』によるダメージの軽減と、『ノーブルアジヤストライクスーツ』の持つ最高レベルの自己修復機能によってダメージの蓄積はない。

「面倒だな」

そして、相手にダメージが通らないことは今の一撃でディケイドも理解した。

相手が出せる実力に制限がかかろうと、こちらが出せる全力が相手の防御を抜けないのであれば意味がない。

ジオウライドウォッチを盾として扱っていることで『メリディアンサツシユ』から放たれる絶対境界波動『セパレートサージ』による異次元への放逐は免れている。

ジオウライドウォッチを盾として扱っていることで相手の持つほとんどの力を封じて『戦い』という状況にまで落とし込むことができている。

だが、それだけでは勝利などできるはずもない。
ライドブッカーを突き出したことでその剣先をオーマジオウが掴もうとする。

ジオウライドウォッチの影からデイケイドを引きずり出そうとする動きではあるが、ライドブッカーをガンモードに変形させ銃撃を連射することで、ダメージを望めなくともノックバックで無理矢理に距離を取らせる。

「なるほど」

開いた距離をどちらも埋めることはなく、遠距離戦が始まるわけでもなく、そんな中で門矢士は呟いた。

何が「なるほど」なのかは常磐ソウゴにはわからないが、全く役に立たない情報がわかったというわけではないのだろう、ということだけは想像がつく。

「何がなるほど、なのさ」

なので、真正面から尋ねる。

今は世界崩壊が迫っている現状。

デイケイドを失うわけにも、ジオウが死ぬわけにもいかない。

「どうやらこの戦い、俺は参戦しないほうがいいらしい」

だから、その言葉は常磐ソウゴにとってはかなり謎な発言だった。

「そういうわけだ、魔王。あとは任せるぞ」

「え、ちょ……」

その言葉とともに門矢士はオーロラを展開してその場から消える。
おそらく2019年に戻ったのだらうと推測はできるし、ジオウも

ライドウォッチから本来の形に戻っている。

ジオウがライドウォッチに変形したことに気を取られて未だに退避できていないレジスタンスの姿も見える以上、ここでジオウが退くという選択肢はない。

グランドジオウライドウォッチがない以上、今の状況で確実に変身できる中で最も強いのは仮面ライダージオウⅡ。

だが、それはオーマジオウにとって過去の自分でしかない。

「やれるか……う？」

だから、それを取り出した。

ジオウ、ゲイツ、ウオズ、三人の力を一つにするジオウトリニティライドウォッチ。

失敗するかもしれないという焦りはあれど、仲間を信じる気持ちを胸にジオウはそのライドウォッチを起動してD，3スロットに差し込んだ。